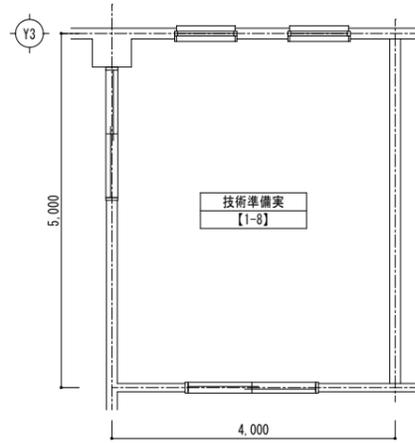


技術準備室【1-8】

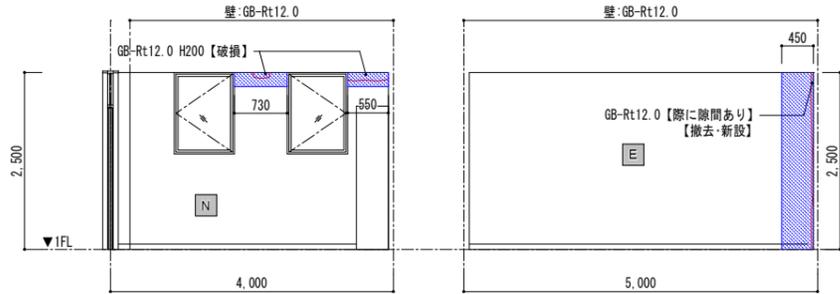
室名	技術準備室【1-8】	
床	長尺塩ビ床シート2.0貼	【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装	【既存のまま】
壁	N面: ショイトGB-Rt12.0 (GL工法) AEP塗装	【破損部復旧】
	W面・柱型: 合板型枠コンクリート打放し AEP塗装	【既存のまま】
	合板t6.0目透かし貼 SOP塗装	【既存のまま】
天井	LGS下地 GB-D t9.0	【既存のまま】 【破損部復旧】
備考		



技術教室準備室平面図 S=1/50

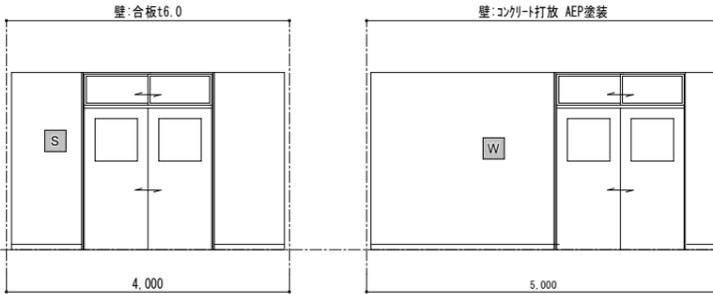
- 凡例
- 浮き・破損箇所を示す。
 - 浮き・破損箇所を示す。
- ※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

復旧方法	
①クラック	ひび割れ部、E*樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
②浮き・破損箇所	浮き・破損部撤去後、E*樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
③壁・天井隙間	新設の際、隙間分を大きめに加工とする。(寸法は現場合わせ)
※トリアコート仕上げはクラックから100mmの範囲で行うこととする。	
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。	



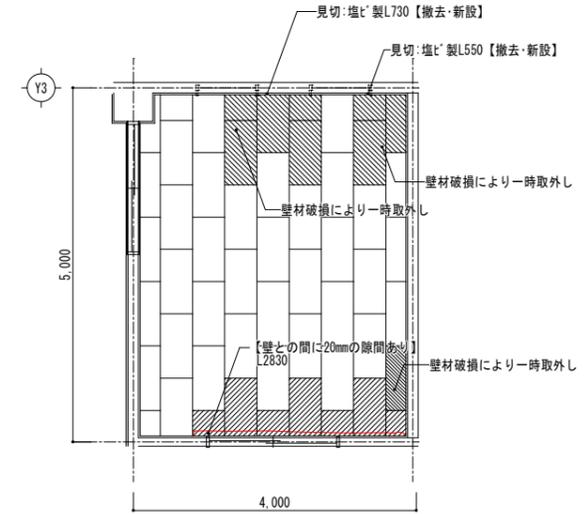
N方向展開図

E方向展開図



S方向展開図

W方向展開図

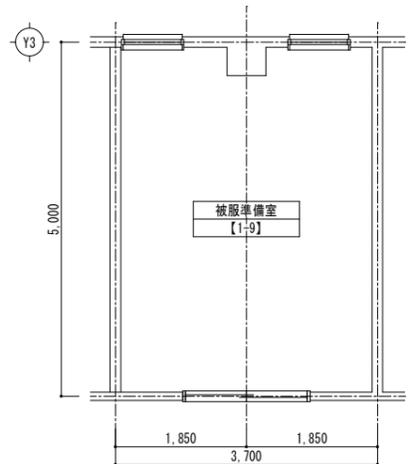


技術準備室天井伏図 S=1/50

- 凡例
- ▨ LGS下地【既存のまま】
 - ▨ GB-Dt9.0【撤去・新設】
 - ▨ LGS下地【既存のまま】
 - ▨ GB-Dt9.0【一時取外し・再取付】

被服準備室【1-9】

室名	被服準備室【1-9】	
床	フローリングPVC貼15.0直貼(特殊貼)PU3	【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装	【既存のまま】
壁	柱・梁型: 合板型枠コンクリート打放し AEP塗装	【クラック補修・破損部復旧】
	N・W面: ショイトGB-Rt12.0 (GL工法) AEP塗装	【破損部復旧】
	合板t6.0目透かし貼 SOP塗装	【既存のまま】
天井	LGS下地 GB-D t9.0	【既存のまま】 【破損部復旧】
備考		

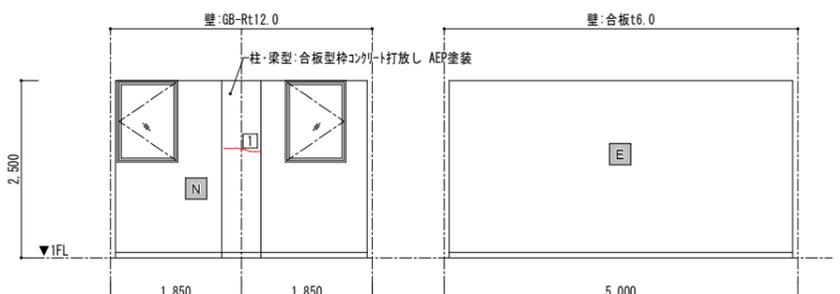


被服教室準備室平面図 S=1/50

- 凡例
- クラックを示す。
 - 浮き・破損箇所を示す。
- ※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

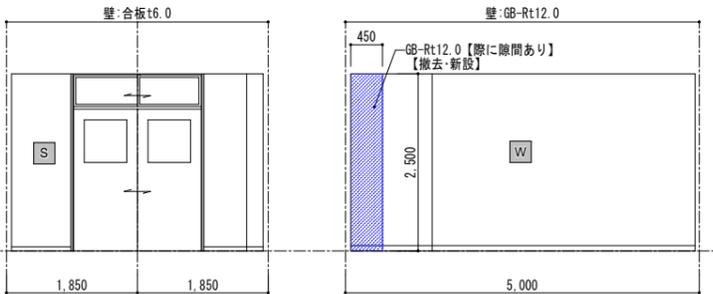
クラック・破損リスト			
棟名	南校舎棟		
階数	1階		
室名	被服準備室	室番号	1-9
壁面方位	N(北面)		
クラック	浮き・破損範囲		
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]
□	L 480	□	
計	480	計	

復旧方法	
①クラック	ひび割れ部、E*樹脂注入後、EP-G仕上
②浮き・破損箇所	浮き・破損部撤去後、E*樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
③壁・天井隙間	新設の際、隙間分を大きめに加工とする。(寸法は現場合わせ)
※トリアコート仕上げはクラックから100mmの範囲で行うこととする。	
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。	



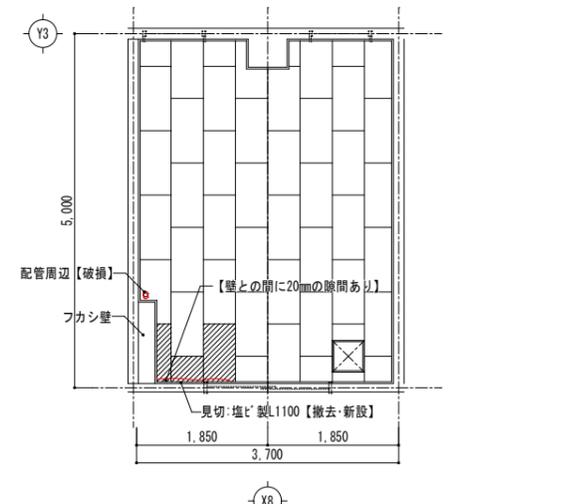
N方向展開図

E方向展開図



S方向展開図

W方向展開図



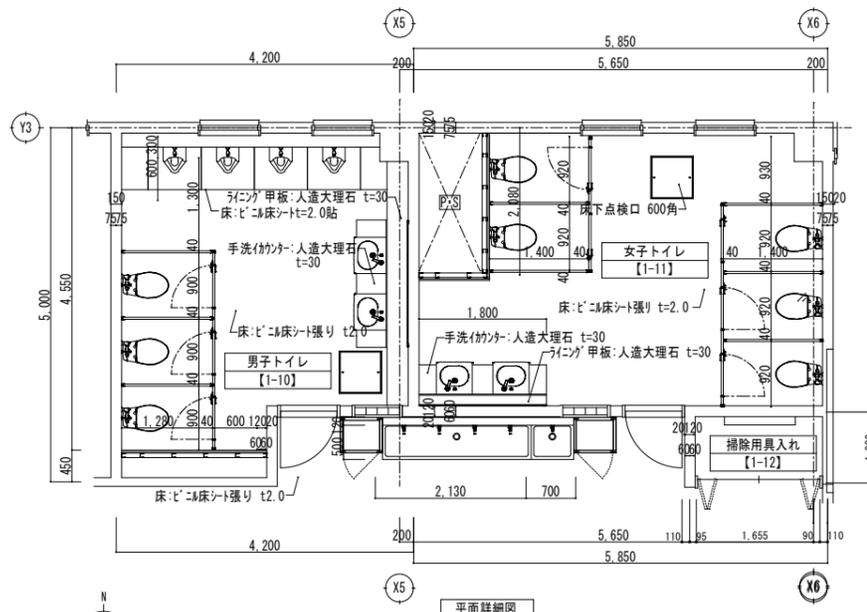
被服準備室天井伏図 S=1/50

- 凡例
- ▨ LGS下地【既存のまま】
 - ▨ GB-Dt9.0【撤去・新設】
 - 天井点検口450角【既存のまま】

令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名 南校舎棟 技術準備室、被服準備室復旧図【1-8、1-9】
縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)

図面種類 A
図面番号 34



室名	男子トイレ【1-10】
床	ビニル床シート張り t2.0 【既存のまま】
巾木(腰)	ビニル巾木 H100 【既存のまま】
壁	コンクリート打放し 複層仕上塗材E 【クラック補修】
柱型	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 GB-D t9.5 【既存のまま】
備考	

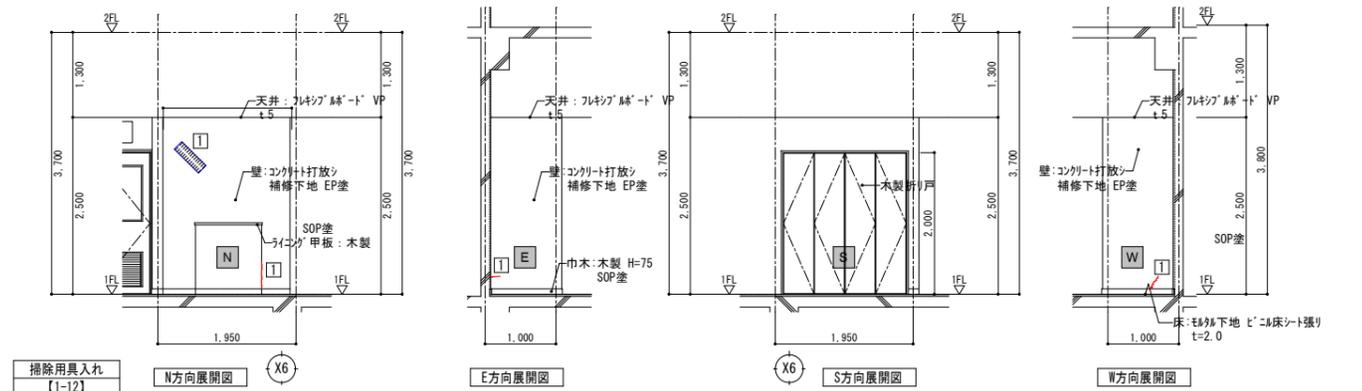
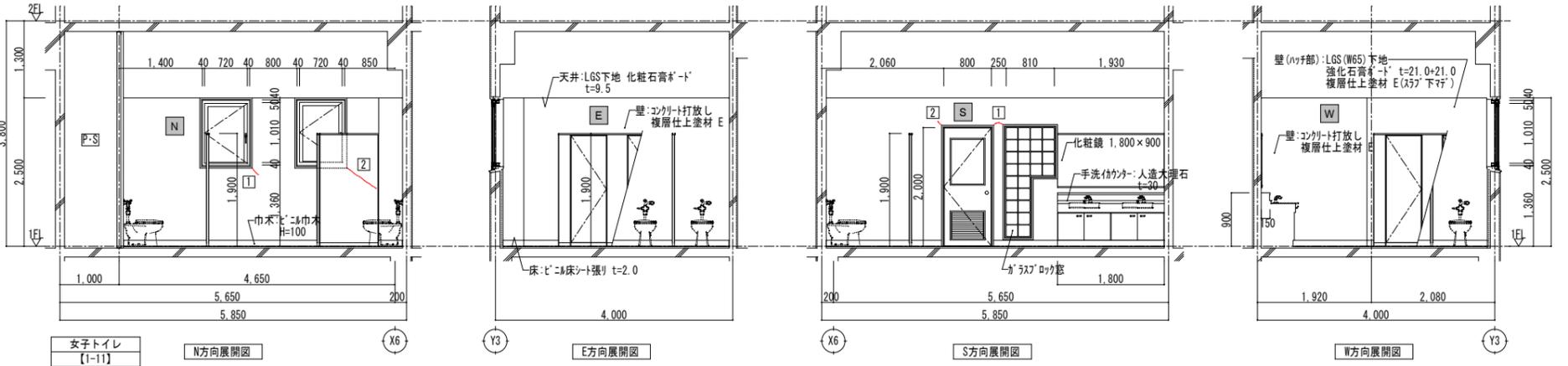
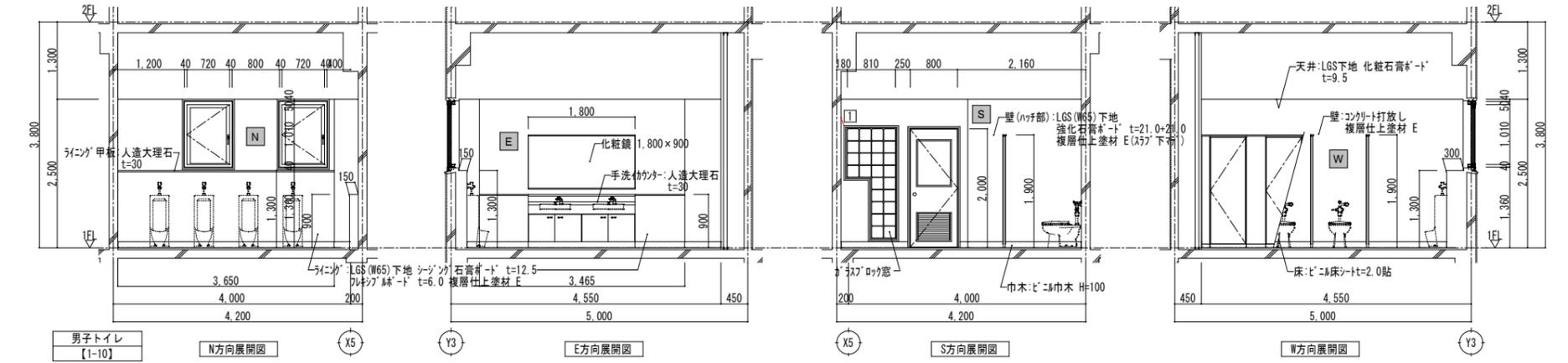
室名	女子トイレ【1-11】
床	ビニル床シート張り t2.0 【既存のまま】
巾木(腰)	ビニル巾木 H100 【既存のまま】
壁	コンクリート打放し 複層仕上塗材E 【クラック補修】
	LGS下地 シンク 石膏ボード t12.5 【既存のまま】
	フラッシュパネル t6.0 複層仕上塗材E 【既存のまま】
天井	LGS下地 GB-D t9.5 【既存のまま】
備考	

室名	掃除用具入れ【1-12】
床	ビニル床シート張り t2.0 【既存のまま】
巾木(腰)	木製巾木 H75 【既存のまま】
壁	コンクリート打放し 複層仕上塗材E 【破損部復旧】
天井	LGS下地 フラッシュパネル t5.0貼 VP塗装 【既存のまま】
備考	

クラック・破損リスト			
棟名	南棟	階数	1階
室名	男子トイレ	室番号	1-10
壁面方位	S(南面)	クラック	浮き・損壊範囲
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]
[1]	L 150		
小計	150		0

クラック・破損リスト			
棟名	南棟	階数	1階
室名	女子トイレ	室番号	1-11
壁面方位	S(南面)	クラック	浮き・損壊範囲
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]
[1]	L 130		
[2]	L 90		
小計	220		0
壁面方位	N(北面)	クラック	浮き・損壊範囲
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]
[1]	L 150		
[2]	L 600		
小計	750		0
合計	970		0

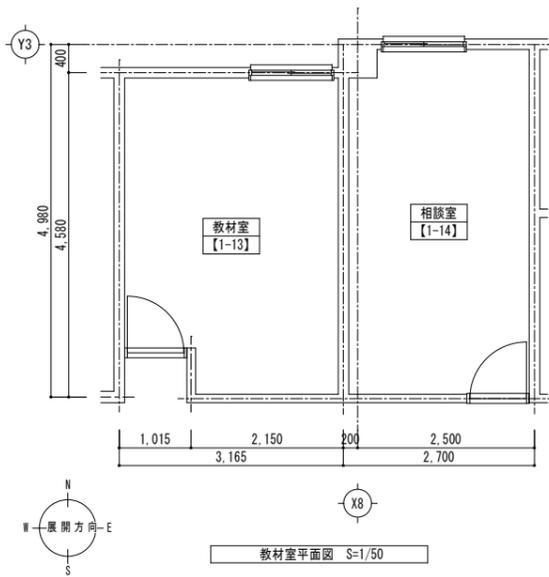
クラック・破損リスト			
棟名	南棟	階数	1階
室名	掃除用具入れ	室番号	1-12
壁面方位	N(北面)	クラック	浮き・損壊範囲
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]
[1]	L 470		
小計	470		0.072
壁面方位	E(東面)	クラック	浮き・損壊範囲
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]
[1]	L 70		
小計	70		0
壁面方位	W(西面)	クラック	浮き・損壊範囲
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]
[1]	L 200		
小計	200		0
合計	740		0.072



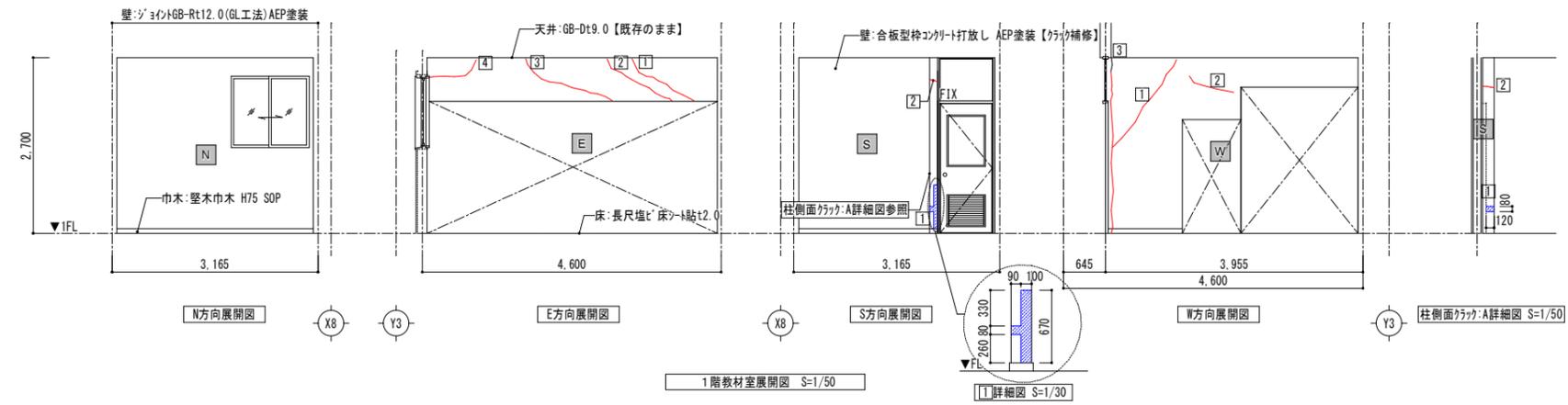
凡例
 [] クラックを示す。
 [] 浮き・破損箇所を示す。

復旧方法	
①クラック	ひび割れ部、Eポキシ樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
②浮き・破損箇所	浮き・破損部撤去後、Eポキシ樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
	※EP-G塗装はクラックより両端100mmの範囲とする。
	※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

教材室【1-13】



室名	教材室【1-13】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装(柱型共) 【クラック補修・破損部復旧】 N面:ゾイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 GB-Dt9.0 【既存のまま】
備考	

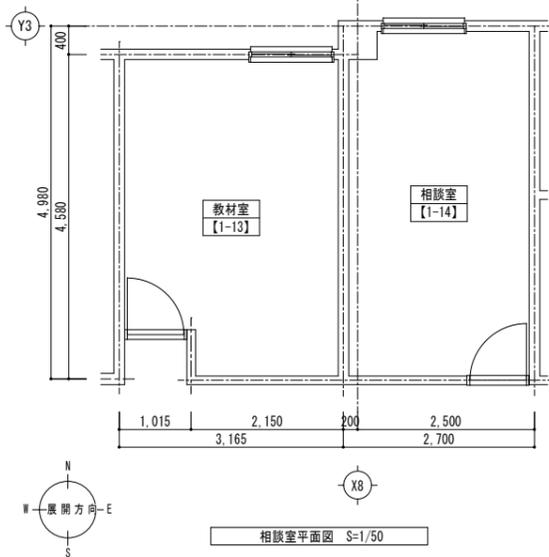


クラック・破損リスト				
棟名	南校舎棟			
階数	1階			
室名	教材室	室番号	1-13	
壁面方位	E(東面)			
クラック		浮き・破損範囲		
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]	面積[mm ²]
[1]	L 880	[1]		
[2]	L 920	[2]		
[3]	L 1,280	[3]		
[4]	L 920	[4]		
計	4,000	計		
壁面方位	S(南面)			
[1]		[1]	寸法は詳細図参照	= 0.0838
[2]	L 340	[2]		
計	340	計		0.08
壁面方位	W(西面)			
[1]	L 1,700	[1]		
[2]	L 800	[2]		
[3]	L 2,700	[3]		
計	5,200	計		
総合計	9,540	総合計		0.08

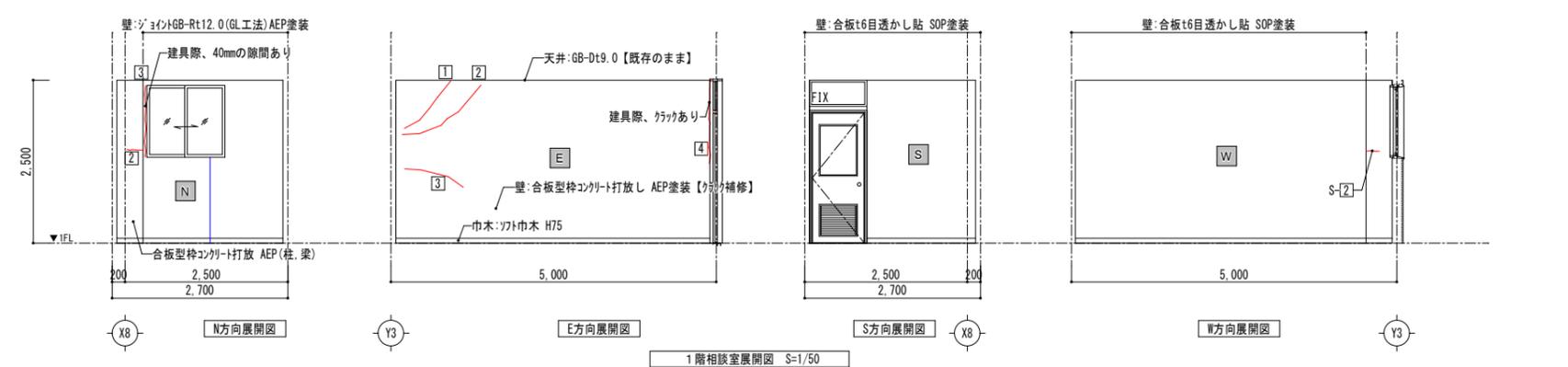
復旧方法	
①クラック	ひび割れ部、Eポリウレタン樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
②浮き・破損箇所	浮き・破損部撤去後、Eポリウレタン樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
	※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
	※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

凡例
 [1] クラックを示す。
 [2] 浮き・破損箇所を示す。
 ※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

相談室【1-14】



室名	相談室【1-14】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	ソト巾木 H75 【既存のまま】
壁	柱型-E面:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 N面:ゾイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【確認】 S面・W面:合板t6目透かし貼 SOP塗装 【確認】
天井	LGS下地 GB-Dt9.0 【既存のまま】
備考	



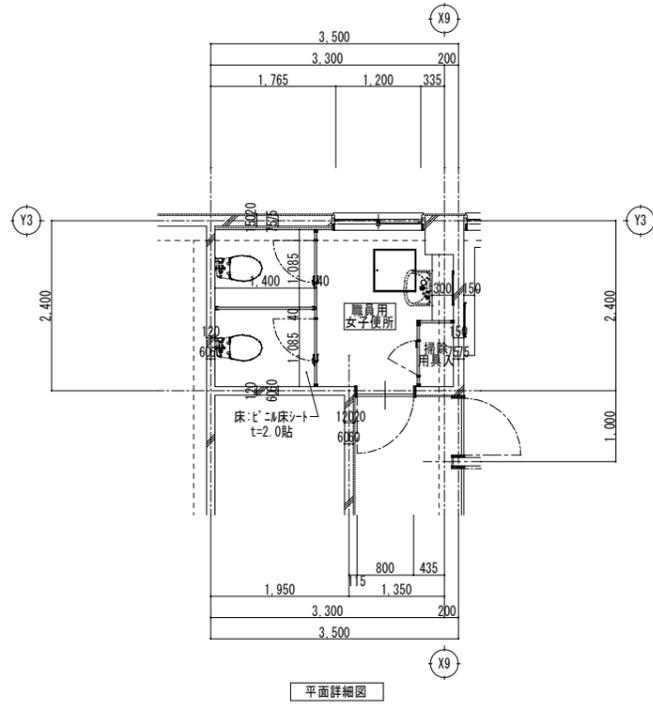
クラック・破損リスト				
棟名	南校舎棟			
階数	1階			
室名	相談室	室番号	1-14	
壁面方位	N(北面)			
クラック		浮き・破損範囲		
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]	面積[mm ²]
[1]		[1]		
[2]	L 230	[2]		
[3]	L 1,000	[3]		
計	1,230	計		
壁面方位	E(東面)			
[1]	L 680	[1]		
[2]	L 970	[2]		
[3]	L 810	[3]		
[4]	L 800	[4]		
計	3,260	計		
総合計	4,490	総合計		

復旧方法	
①クラック	ひび割れ部、Eポリウレタン樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
②浮き・破損箇所	浮き・破損部撤去後、Eポリウレタン樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
	※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
	※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

凡例
 [1] クラックを示す。
 [2] 浮き・破損箇所を示す。
 ※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

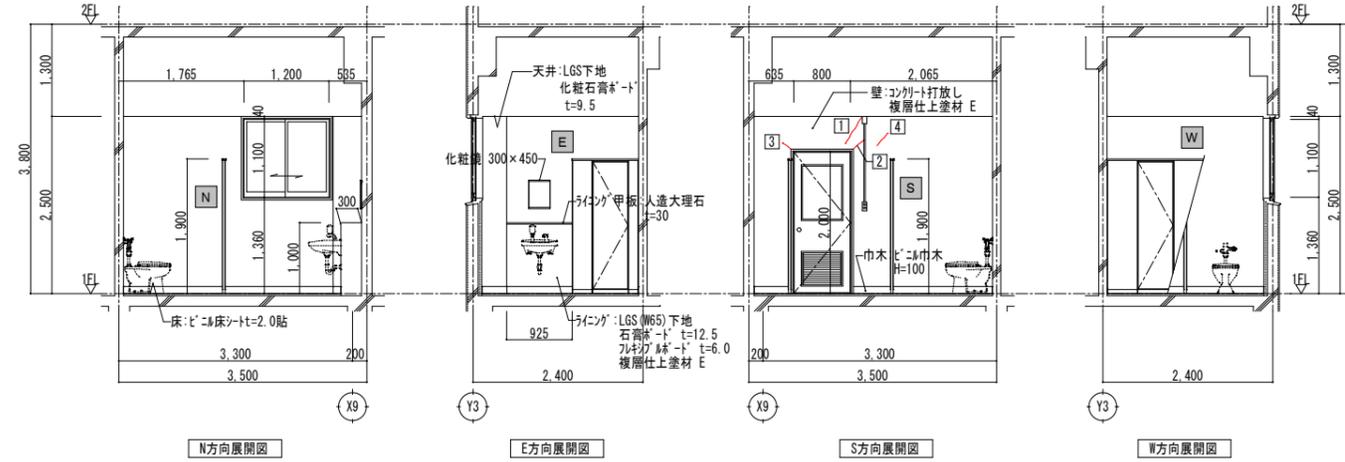
令和3年2月13日
 福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

職員用女子トイレ復旧図【1-15】



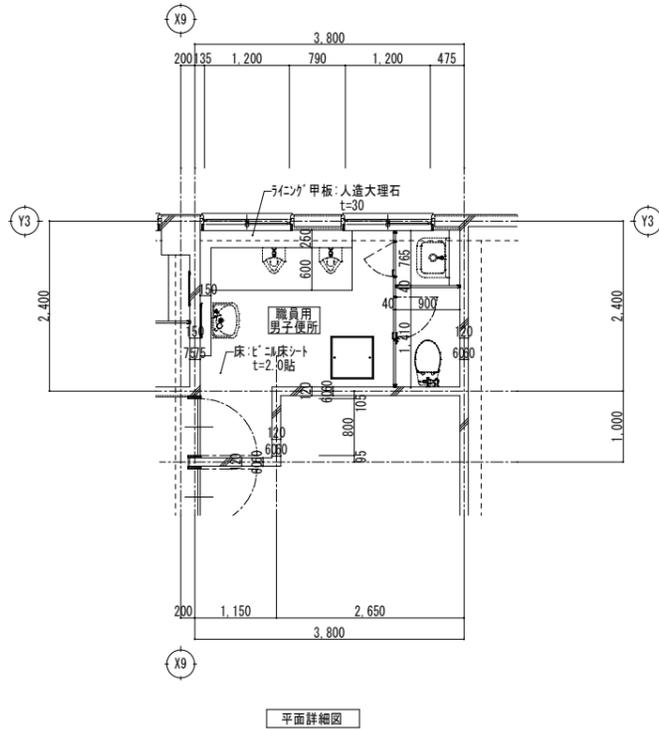
室名	職員用女子トイレ【1-15】	
床	ビニル床シート2.0貼	【既存のまま】
巾木(腰)	ビニル巾木 H100	【既存のまま】
壁	コンクリート打放し 複層仕上塗材E	【クラック補修】
天井	LGS下地 GB-D t9.5	【既存のまま】
備考		

クラック・破損リスト			
棟名	南棟		
階数	1階		
室名	職員用女子便所	室番号	1-15
壁面方位	S(南面)		
クラック		浮き・損壊範囲	
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm] 面積[m2]
1	L 450		
2	L 190		
3	L 150		
4	L 230		
小計	1,020		0



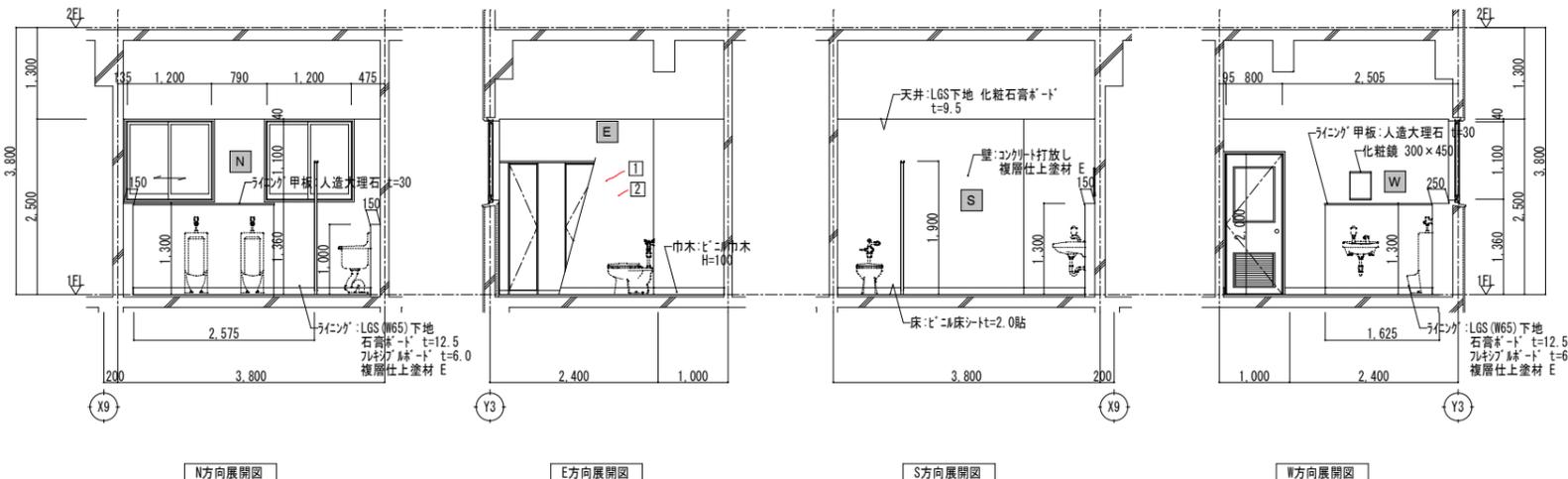
- 凡例
- 1 クラックを示す。
 - 2 浮き・破損箇所を示す。
- ※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照
- 復旧方法
- ①クラック
 - ひび割れ部、Eポキシ樹脂モルタルを充填後、下地調整の上、EP-G塗装
 - ②浮き・破損箇所
 - 浮き・破損部撤去後、Eポキシ樹脂モルタルを充填後、下地調整の上、EP-G塗装
- ※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

職員用男子トイレ復旧図【1-16】



室名	職員用男子トイレ【1-16】	
床	ビニル床シート2.0貼	【既存のまま】
巾木(腰)	ビニル巾木 H100	【既存のまま】
壁	コンクリート打放し 複層仕上塗材E	【クラック補修】
天井	LGS下地 GB-D t9.5	【既存のまま】
備考		

クラック・破損リスト			
棟名	南棟		
階数	1階		
室名	職員用男子便所	室番号	1-16
壁面方位	E(東面)		
クラック		浮き・損壊範囲	
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm] 面積[m2]
1	L 300		
2	L 160		
小計	460		0



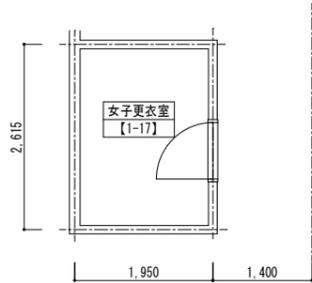
- 凡例
- 1 クラックを示す。
 - 2 浮き・破損箇所を示す。
- ※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照
- 復旧方法
- ①クラック
 - ひび割れ部、Eポキシ樹脂モルタルを充填後、下地調整の上、EP-G塗装
 - ②浮き・破損箇所
 - 浮き・破損部撤去後、Eポキシ樹脂モルタルを充填後、下地調整の上、EP-G塗装
- ※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。



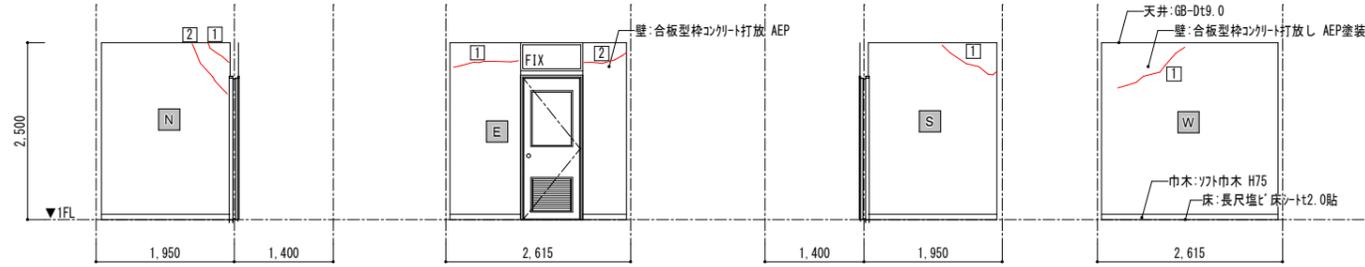
令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名	南校舎棟 職員用女子・男子トイレ復旧図 【1-15、1-16】	図面種別	A
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号	37

女子更衣室【1-17】



室名	女子更衣室【1-17】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	ワト巾木 H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・損壊部復旧】
天井	LGS下地 GB-Rt9.0 【既存のまま】
備考	



クラック・損壊リスト				
棟名	南校舎棟	階数	1階	
室名	女子更衣室	室番号	1-17	
クラック		浮き・損壊箇所		
壁面方位	N (北面)	記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	L	380	1	
2	L	810	2	
壁面方位	E (東面)			
1	L	930	1	
2	L	630	2	
壁面方位	S (南面)			
1	L	800	1	
壁面方位	W (西面)			
1	L	680	1	
計		4,230	計	

凡例

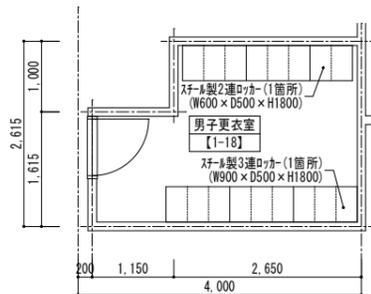
1 クラックを示す。

2 浮き・損壊箇所を示す。

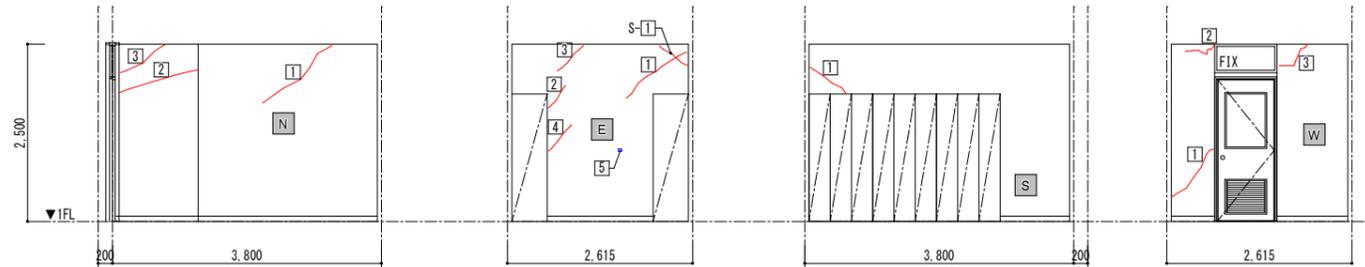
※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

復旧方法	
①クラック	ひび割れ部、エポキシ樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
②浮き・損壊箇所	浮き・破損部撤去後、エポキシ樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
※トップコート仕上げはクラックから100mmの範囲で行うこととする。	
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。	

男子更衣室【1-18】



室名	男子更衣室【1-18】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	ワト巾木 H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・損壊部復旧】
天井	LGS下地 GB-Rt9.0 【既存のまま】
備考	スチール製ロッカー(2箇所)(男子更衣室のみ) 【既存のまま】
	※スチール製ロッカーの移動は工事対象外



クラック・損壊リスト				
棟名	南校舎棟	階数	1階	
室名	男子更衣室	室番号	1-18	
クラック		浮き・損壊箇所		
壁面方位	N (北面)	記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	L	1,340	1	
2	L	1,160	2	
3	L	700	3	
壁面方位	E (東面)			
1	L	850	1	
2	L	210	2	
3	L	250	3	
4	L	290	4	
5	L	40 × H 30 = 0.0012	5	
壁面方位	S (南面)			
5	L	840	5	
壁面方位	W (西面)			
1	L	1,000	1	
2	L	380	2	
3	L	620	3	
計		7,640	計	0.0012

凡例

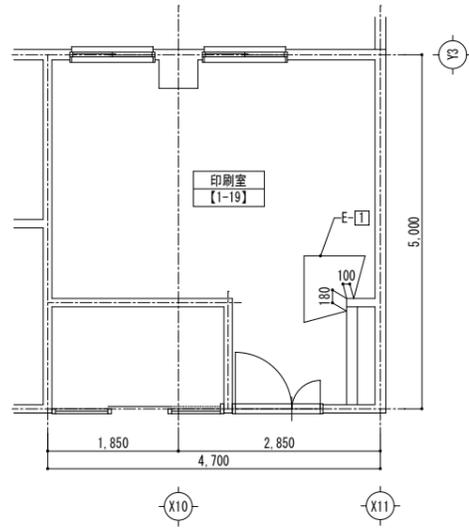
1 クラックを示す。

2 浮き・損壊箇所を示す。

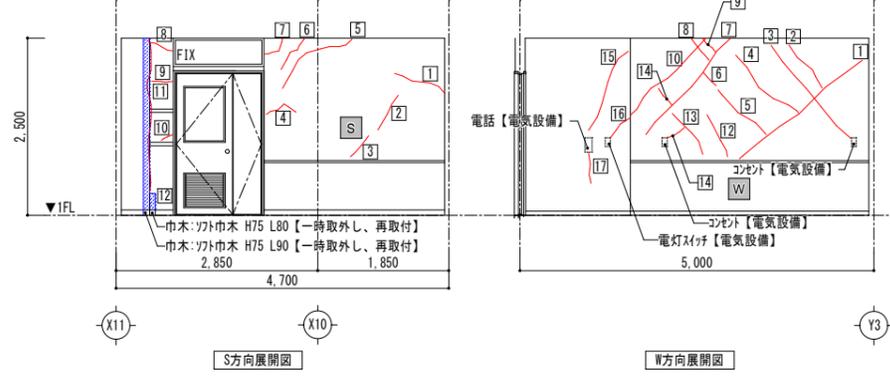
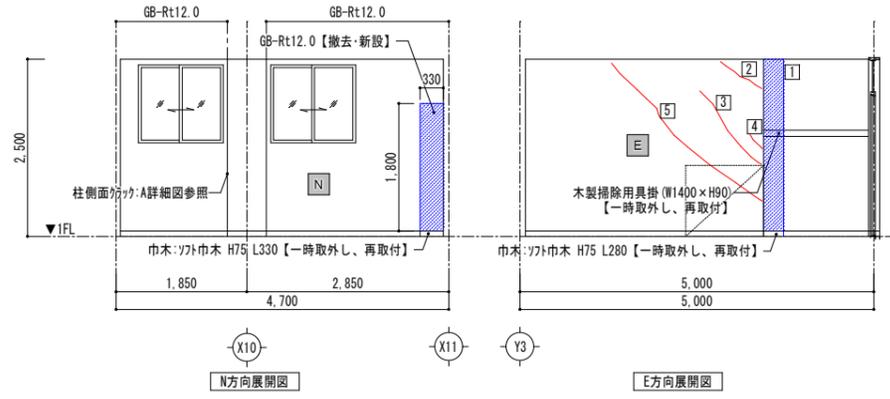
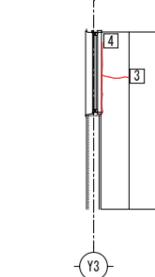
※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

復旧方法	
①クラック	ひび割れ部、エポキシ樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
②浮き・損壊箇所	浮き・破損部撤去後、エポキシ樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
※トップコート仕上げはクラックから100mmの範囲で行うこととする。	
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。	

印刷室【1-19】



室名	印刷室【1-19】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(壁)	ワト巾木 H75 【一部一時取外し】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】 N面:ジョイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Rt9.0 【既存のまま】
備考	



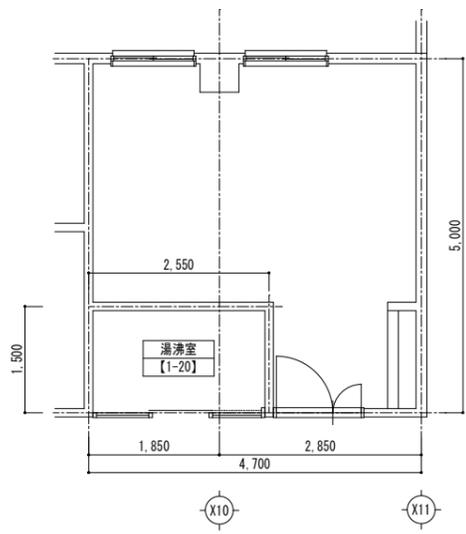
クラック・損壊リスト			
棟名 南校舎棟			
階数 1階			
室名 印刷室		室番号 1-19	
壁面方位 N (北面)			
クラック		浮き・損壊範囲	
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]
[1]		[1]	
[2]		[2]	
[3]	L 350	[3]	
[4]	L 950	[4]	
計	1,300		
壁面方位 E (東面)			
[1]		[1]	W 280 × H 2,500 = 0.7
[2]	L 500	[2]	
[3]	L 1,150	[3]	
[4]	L 250	[4]	
[5]	L 2,850	[5]	
計	4,750	計	0.7
壁面方位 S (南面)			
[1]	L 750	[1]	
[2]	L 500	[2]	
[3]	L 350	[3]	
[4]	L 280	[4]	
[5]	L 650	[5]	
[6]	L 300	[6]	
[7]	L 250	[7]	
[8]	L 450	[8]	
[9]	L 450	[9]	
[10]	L 250	[10]	
[11]	L 2,100	[11]	
[12]		[12]	W 80 × H 230 = 0.0184
計	6,330	計	0.02

壁面方位 W (西面)			
[1]	L 2,400	[1]	
[2]	L 850	[2]	
[3]	L 2,200	[3]	
[4]	L 1,200	[4]	
[5]	L 1,130	[5]	
[6]	L 300	[6]	
[7]	L 1,350	[7]	
[8]	L 450	[8]	
[9]	L 370	[9]	
[10]	L 1,150	[10]	
[11]	L 200	[11]	
[12]	L 500	[12]	
[13]	L 700	[13]	
[14]	L 500	[14]	
[15]	L 1,100	[15]	
[16]	L 400	[16]	
[17]	L 400	[17]	
計	15,200		
総合計	27,580	総合計	0.72

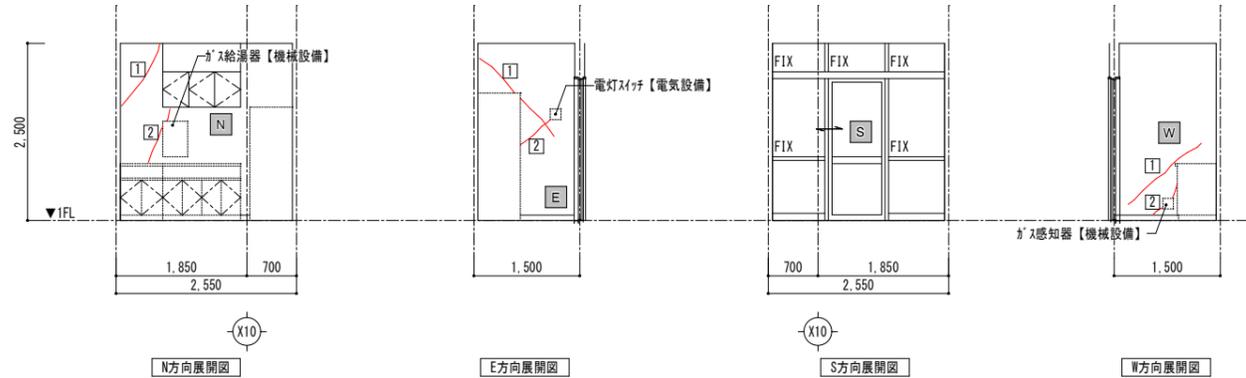
- 凡例
- [1] クラックを示す。
 - [2] 浮き・損壊箇所を示す。
- ※せつこうボード・巾木の大きさは寸法参照

復旧方法	
①クラック	ひび割れ部、Eポリウレタン樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
②浮き・損壊箇所	浮き・欠損部撤去後、Eポリウレタン樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
	※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
	※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

湯沸室【1-20】



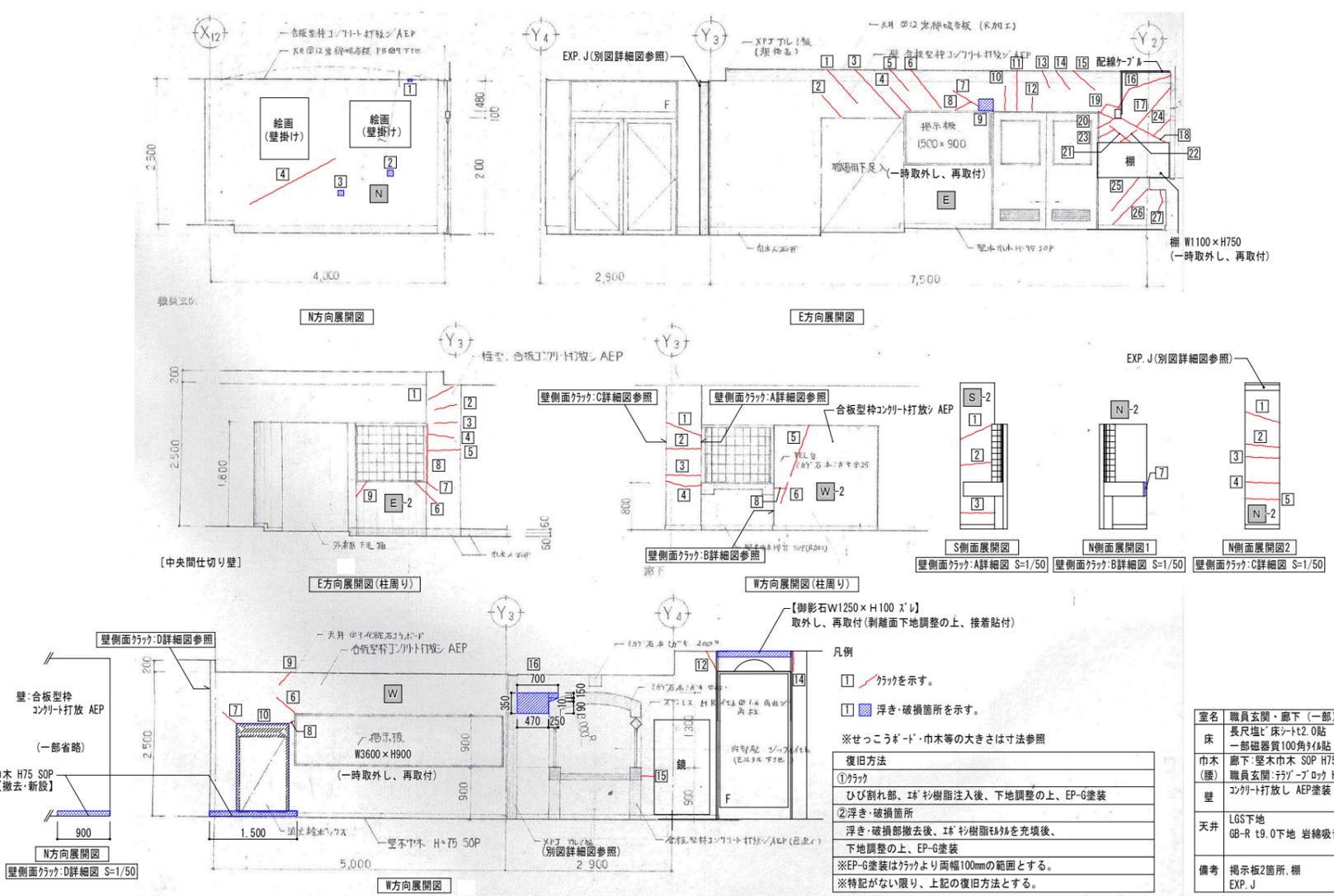
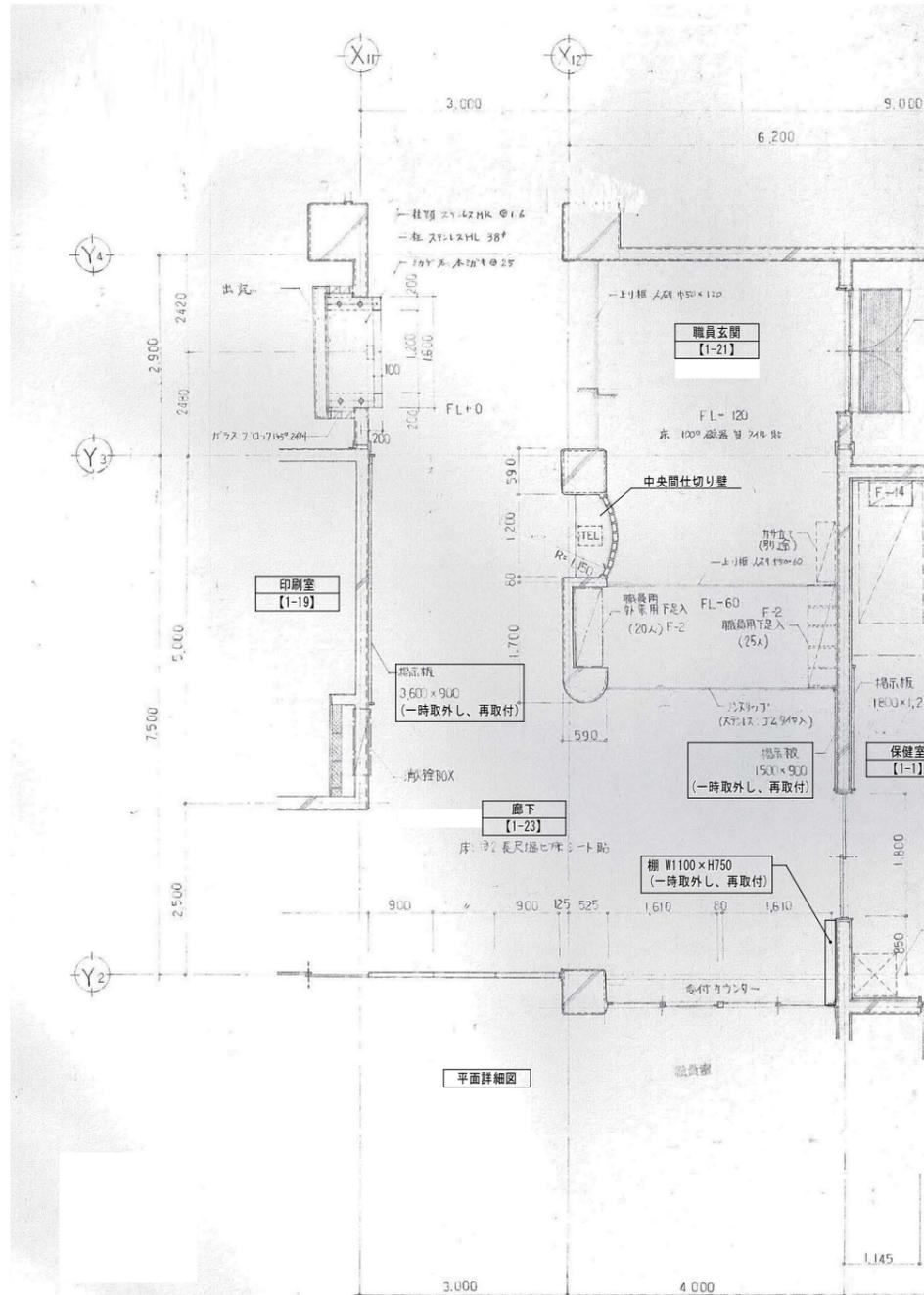
室名	湯沸室【1-20】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(壁)	ワト巾木 H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 ルキジノボードt=5.0貼★VP塗装 【既存のまま】
備考	



クラック・損壊リスト			
棟名 南校舎棟			
階数 1階			
室名 湯沸室		室番号 1-20	
壁面方位 N (北面)			
クラック		浮き・損壊範囲	
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]
[1]	L 950	[1]	
[2]	L 700	[2]	
計	1,650		
壁面方位 E (東面)			
[1]	L 1,400	[1]	
[2]	L 500	[2]	
計	1,900		
壁面方位 W (西面)			
[1]	L 950	[1]	
[2]	L 550	[2]	
計	1,500		
総合計	5,050		

- 凡例
- [1] クラックを示す。
 - [2] 浮き・損壊箇所を示す。
- ※せつこうボード・巾木の大きさは寸法参照

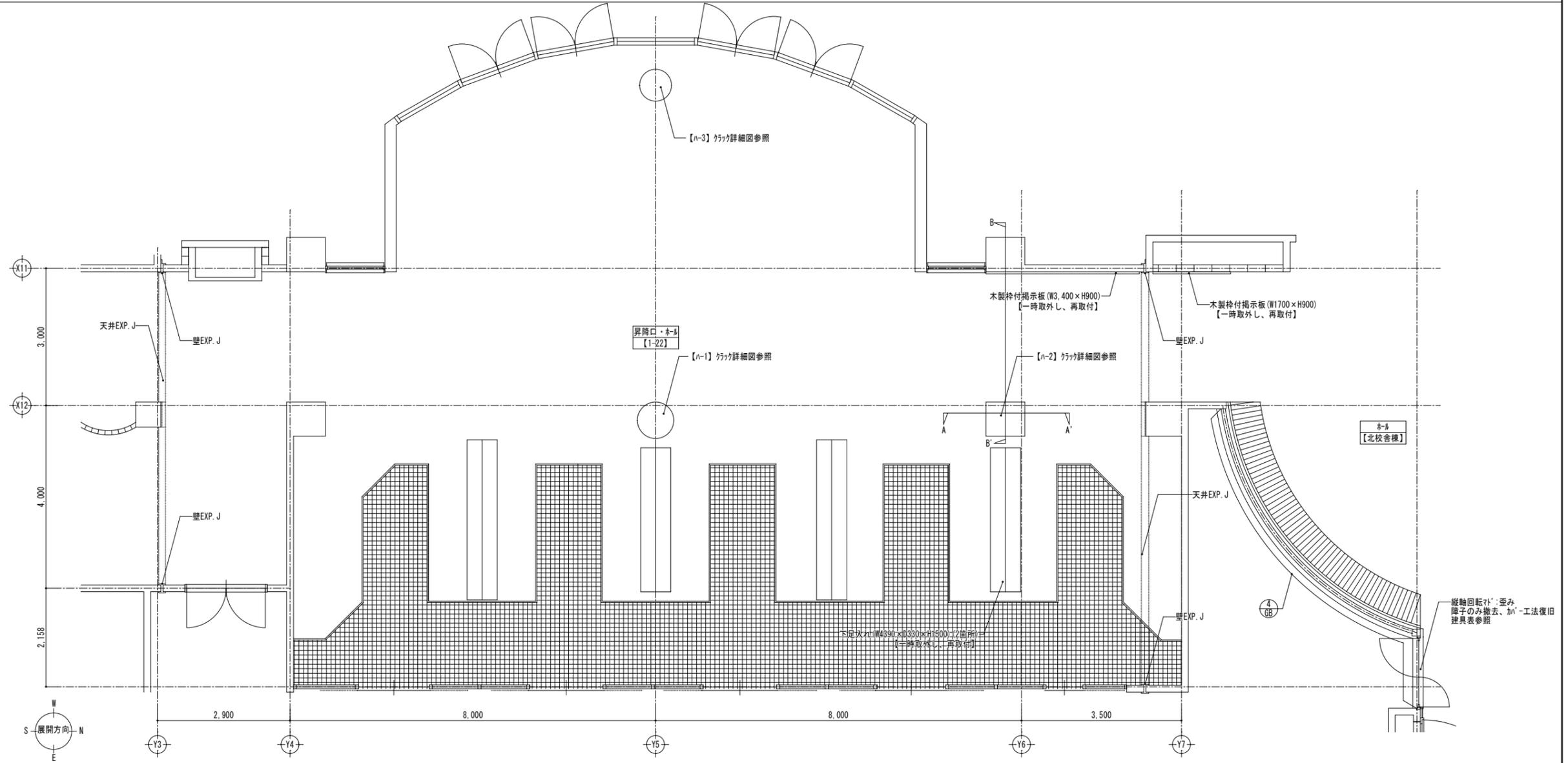
復旧方法	
①クラック	ひび割れ部、Eポリウレタン樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
②浮き・損壊箇所	浮き・欠損部撤去後、Eポリウレタン樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
	※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
	※特記がない限り、上記の復旧方法とする。



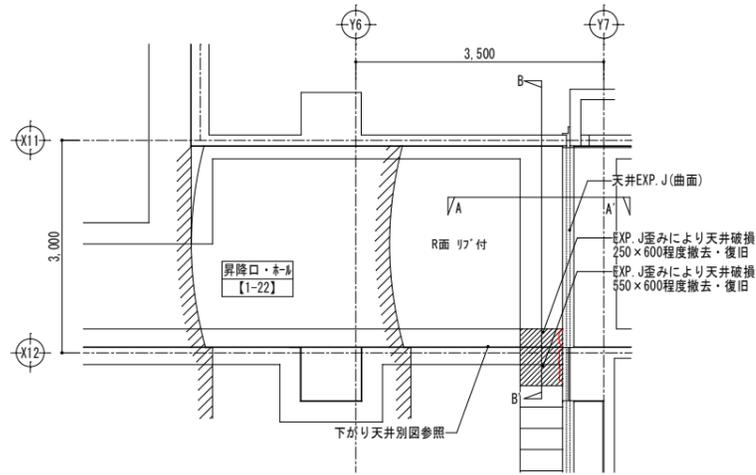
室名	職員玄関・廊下(一部)【1-21】	備考
床	長尺塩ビ床シート貼	【既存のまま】
一部磁器質100角材貼		【既存のまま】
巾木	廊下・堅木巾木 SOP H75	【既存のまま】
(壁)	職員玄関・テラゾー・ロウ H120~150	【既存のまま】
壁	コンクリート打放し AEP塗装	【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地	【既存のまま】
	GB-R t9.0下地 岩綿吸音板 $\alpha=0.7$ 貼	【既存のまま】
備考	掲示板2箇所・棚	【一時取外し、再取付】
	EXP. J	【撤去、新設】

クラック・破損リスト				壁面方位 W(西面)				壁面方位 E-2(東側面)(間仕切り壁)						
棟名	南棟	クラック		浮き・損壊範囲		クラック		浮き・損壊範囲		クラック		浮き・損壊範囲		
階数	1階	記号	長さ[mm]	長さ[mm]	面積[m ²]	記号	長さ[mm]	長さ[mm]	面積[m ²]	記号	長さ[mm]	長さ[mm]	面積[m ²]	
室名	職員玄関(一部廊下)	室番号	1-21											
壁面方位	E(東面)	記号	長さ[mm]	長さ[mm]	面積[m ²]	記号	長さ[mm]	長さ[mm]	面積[m ²]	記号	長さ[mm]	長さ[mm]	面積[m ²]	
1	L	850				1	L	580						
2	L	700				2	L	660						
3	L	1,000				3	L	600						
4	L	450				4	L	550						
5	L	350				5	L	600						
6	L	520				6	L	500						
7	L	400				7	L	300						
8	L	200				8	L	1,000						
						9	L	300						
						小計		5,090					0	
						壁面方位 N-2(北側面)(角柱)								
						クラック								
10	L	350				1	L	620						
11	L	450				2	L	600						
12	L	180				3	L	500						
13	L	150				4	L	600						
14	L	300				5	L	600						
15	L	400				小計		2,920					0	
16	L	950				壁面方位 S-2(南側面)(角柱)								
17	L	800				クラック								
18	L	1,150				1	L	500						
19	L	230				2	L	520						
20	L	190				3	L	460						
21	L	450				小計		1,480					0	
22	L	350				合計		29,500					0.66	
23	L	270												
24	L	400												
25	L	500												
26	L	800												
27	L	450												
小計			12,840		0.05									
						壁面方位 W(西面)								
						クラック								
						記号	長さ[mm]	長さ[mm]	面積[m ²]					
						1	L	140						
						7	W	30 x H	240 =					0.0072
						小計								0.0072

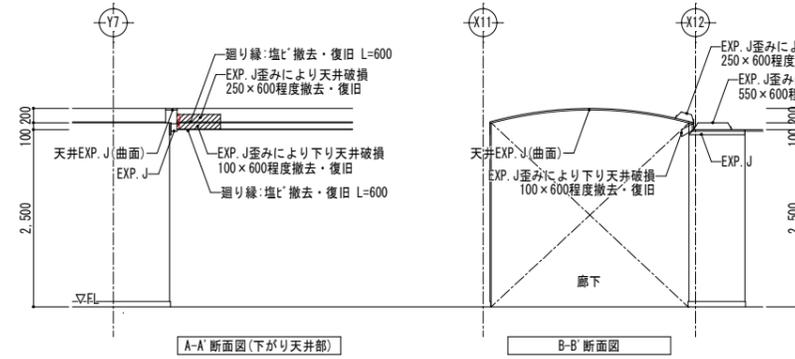
令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図



天井伏図 S=1/50

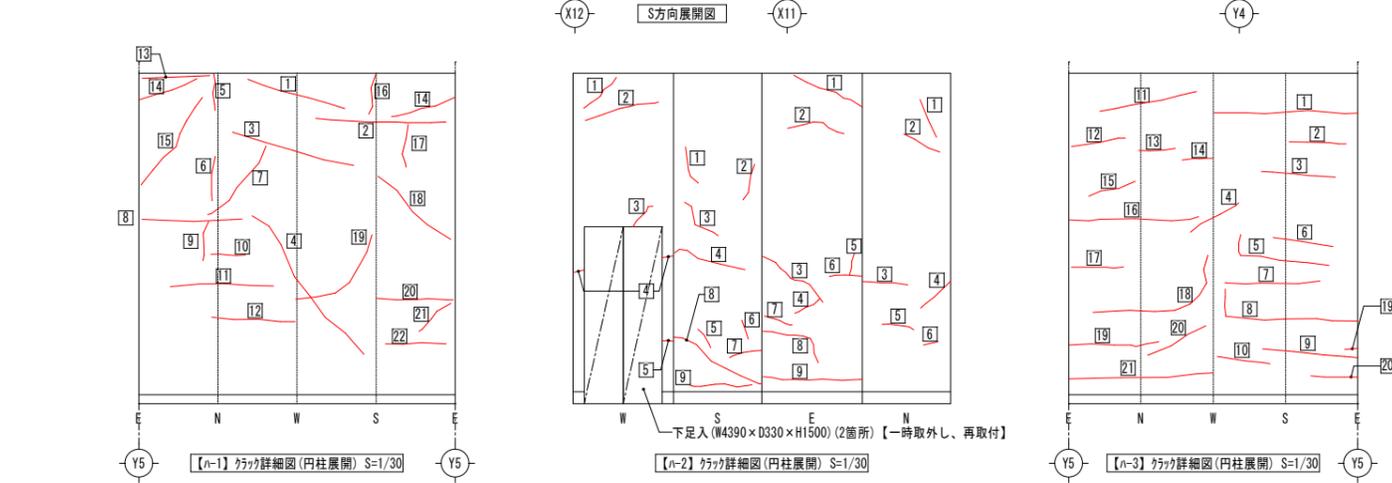
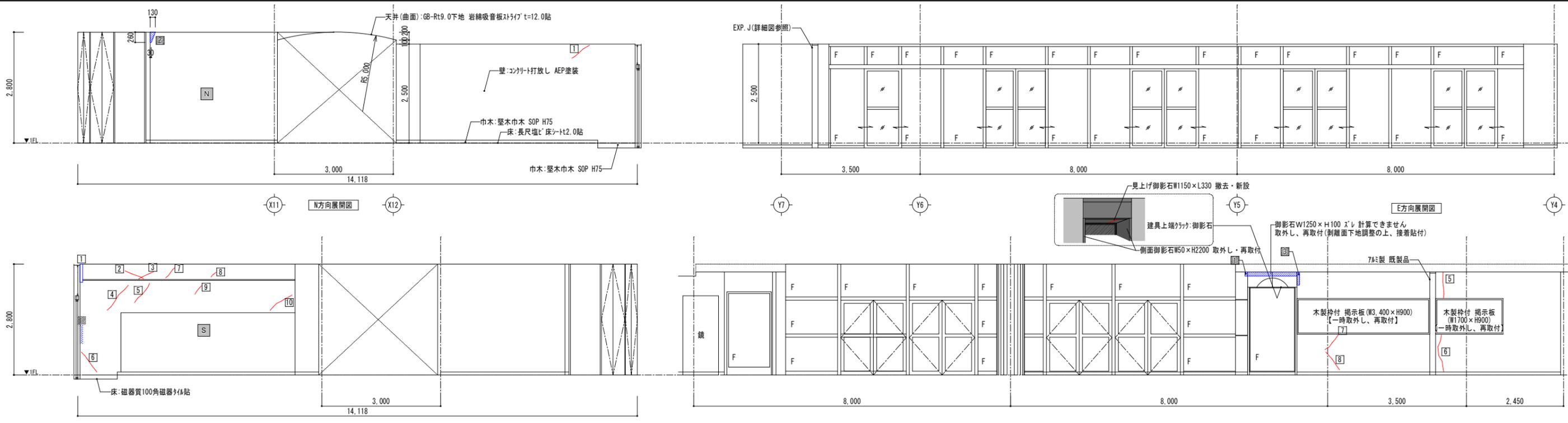


凡例
 LGS下地【既存のまま】
 GB-R9.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼



建具表 S=1/50

断面	復旧前		復旧後	
	断面	障子及びガラス【撤去】 7ö方立て【存置】 ガラスロック【存置】	障子及びガラス【撤去】 7ö方立て【存置】 ガラスロック【存置】	障子及びガラス【新設】 7ö方立て【既存】 ガラスロック【既存】
形式	ガラスロック及び縦軸回転窓	ガラスロック及び縦軸回転窓	ガラスロック及び縦軸回転窓	ガラスロック及び縦軸回転窓
見込/材料	7ö	7ö	7ö	7ö
ガラス	ガラスロック:190×190×95【存置】/網入磨き板ガラスt6.8【撤去】	ガラスロック:190×190×95【存置】/網入磨き板ガラスt6.8【撤去】	ガラスロック:190×190×95【存置】/網入磨き板ガラスt6.8【新設】	ガラスロック:190×190×95【存置】/網入磨き板ガラスt6.8【新設】
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	縦軸回転窓障子【撤去】	縦軸回転窓障子【撤去】	縦軸回転窓障子【加工-工法新設】	縦軸回転窓障子【加工-工法新設】



クラック・破損リスト			
棟名	南校舎棟		
階数	1階		
室名	昇降口・玄関ホール	室番号	1-23.1-24
壁面方位 N (北面)			
クラック			
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
①	L 540	①	
②		②	
計	540	計	0.02
壁面方位 S (南面)			
①		①	W 70 × H 460 = 0.0322
②	L 700	②	
③	L 550	③	
④	L 400	④	
⑤	L 700	⑤	
⑥	L 300	⑥	
⑦	L 300	⑦	
⑧	L 100	⑧	
⑨	L 100	⑨	
⑩	L 350	⑩	
計	3,500	計	0.03
壁面方位 W (西面)			
①		①	W 50 × H 100 = 0.005
②		②	欠番
③		③	W 60 × H 330 = 0.0198
④		④	欠番
⑤	L 660	⑤	
⑥	L 940	⑥	
⑦	L 300	⑦	
⑧	L 800	⑧	
計	2,700	計	0.02
壁面方位 n-1			
①	L 550	①	
②	L 740	②	
③	L 800	③	
④	L 1,000	④	
⑤	L 400	⑤	
⑥	L 300	⑥	

⑦	L 800	⑦	
⑧	L 580	⑧	
⑨	L 340	⑨	
⑩	L 120	⑩	
⑪	L 330	⑪	
⑫	L 370	⑫	
⑬	L 350	⑬	
⑭	L 960	⑭	
⑮	L 1,000	⑮	
⑯	L 500	⑯	
⑰	L 500	⑰	
⑱	L 670	⑱	
⑲	L 800	⑲	
⑳	L 500	⑳	
㉑	L 300	㉑	
㉒	L 100	㉒	
計	12,010	計	
壁面方位 n-2 [W (西面)]			
①	L 400	①	
②	L 550	②	
③	L 200	③	
④	L 160	④	
⑤	L 160	⑤	
計	1,470	計	
壁面方位 n-2 [E (東面)]			
①	L 700	①	
②	L 440	②	
③	L 600	③	
④	L 200	④	
⑤	L 200	⑤	
⑥	L 400	⑥	
⑦	L 250	⑦	
⑧	L 600	⑧	
⑨	L 760	⑨	
計	4,150	計	
壁面方位 n-2 [S (南面)]			
①	L 150	①	
②	L 250	②	
③	L 300	③	

④	L 500	④	
⑤	L 100	⑤	
⑥	L 180	⑥	
⑦	L 230	⑦	
⑧	L 700	⑧	
⑨	L 440	⑨	
計	2,850	計	
壁面方位 n-2 [N (北面)]			
①	L 200	①	
②	L 350	②	
③	L 320	③	
④	L 400	④	
⑤	L 200	⑤	
⑥	L 100	⑥	
計	1,570	計	
壁面方位 n-3			
①	L 1,300	①	
②	L 300	②	
③	L 500	③	
④	L 460	④	
⑤	L 1,000	⑤	
⑥	L 400	⑥	
⑦	L 400	⑦	
⑧	L 1,150	⑧	
⑨	L 600	⑨	
⑩	L 400	⑩	
⑪	L 700	⑪	
⑫	L 300	⑫	
⑬	L 200	⑬	
⑭	L 200	⑭	
⑮	L 250	⑮	
⑯	L 850	⑯	
⑰	L 400	⑰	
⑱	L 1,030	⑱	
⑲	L 800	⑲	
⑳	L 450	⑳	
㉑	L 1,470	㉑	
計	13,160	計	
総合計	41,950	総合計	0.08

室名	昇降口・ホール【1-22】	
床	磁器質100角磁器タイル貼	【既存のまま】
	一部長尺塩ビ床シート2.0貼	【既存のまま】
巾木(腰)	昇降口・ラジックタック H120~150	【既存のまま】
	ホ-ル:堅木巾木 SOP H75	【既存のまま】
壁	コンクリート打放し VP塗装	【クラック補修・破損部復旧】
	コンクリート打放し AEP塗装	【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地	【既存のまま】
	GB-Rt9.0下地 岩綿吸音板 t=12.0貼	【既存のまま】
備考	下足入れ、掲示板 【一時取外し、再取付】	

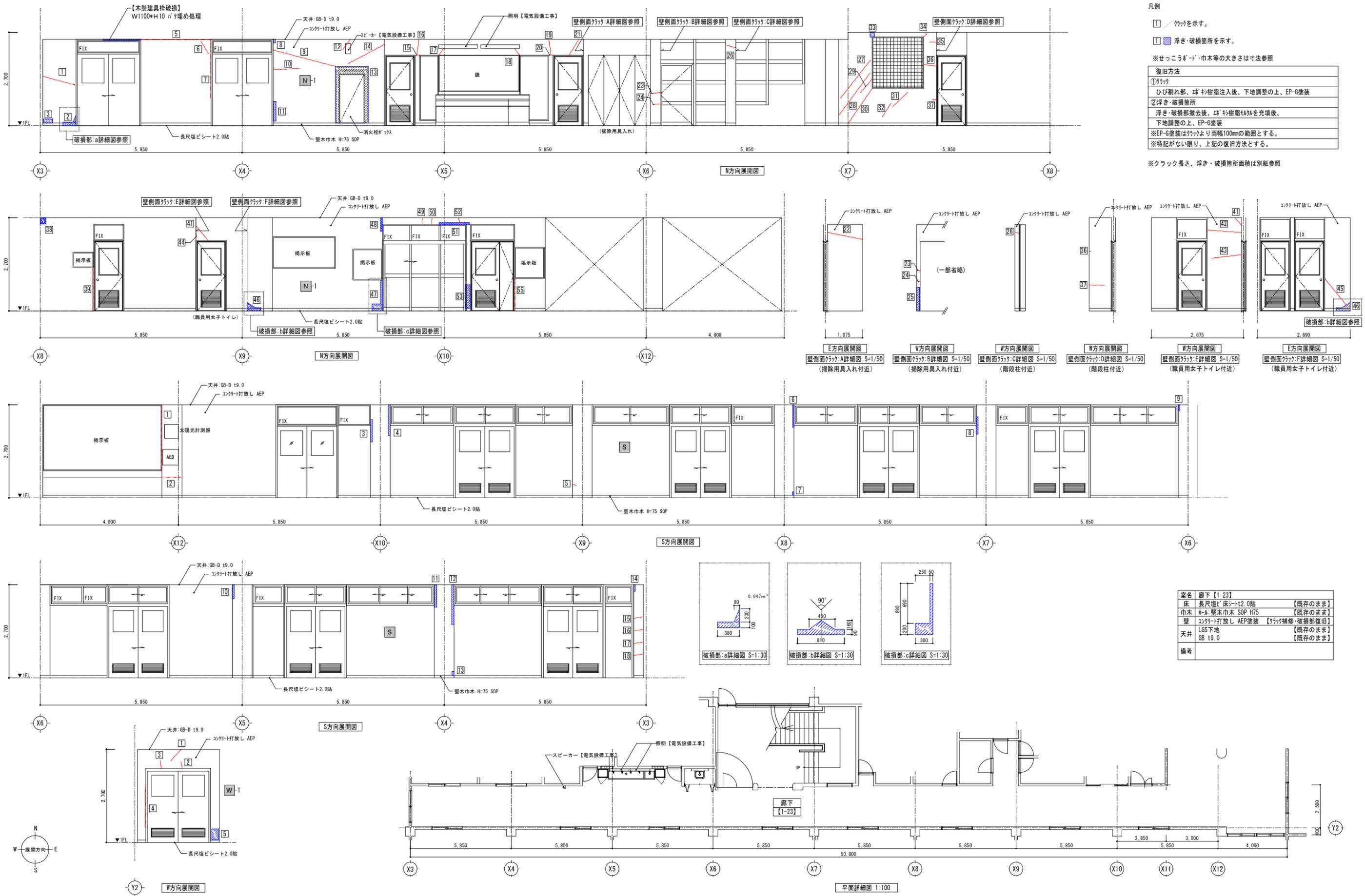
凡例

① クラックを示す。

② 浮き・破損箇所を示す。

※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

復旧方法	
① クラック	ひび割れ部、Eポキシ樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
② 浮き・破損箇所	浮き・破損部撤去後、Eポキシ樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。	
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。	



凡例

① クラックを示す。

② 浮き・破損箇所を示す。

※せっこうボード・巾木の大きさは寸法参照

復旧方法

① クラック
ひび割れ部、エポキシ樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装

② 浮き・破損箇所
浮き・破損部撤去後、エポキシ樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装

※EP-G塗装はクラックより両側100mmの範囲とする。

※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

※クラック長さ、浮き・破損箇所面積は別紙参照

室名	廊下【1-23】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼
巾木	ホル 堅木巾木 SOP H75
壁	コンクリート打放し AEP塗装
天井	GB t9.0
備考	

令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

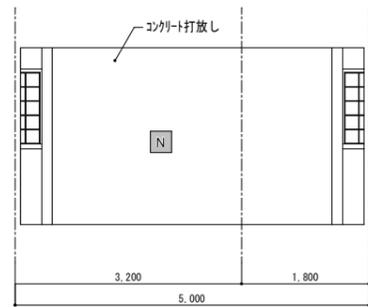
図面名	南校舎棟 1階廊下復旧図(1)【1-23】	図面種別	A
縮尺	S=1:30, 50, 100 (A3版 50%縮小)	図面番号	43

クラック・損壊リスト				壁面方位 N(北面)			
棟名	南棟			クラック		浮き・損壊範囲	
階数	1階			記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]
室名	廊下			面積[m2]			
壁面方位	W(西面)			室番号 1-23			
クラック				浮き・損壊範囲			
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]	面積[m2]	記号	長さ[mm]	面積[m2]
[1]	L 500				[2]	(380×100)+(80×230÷2) =	0.0472
[2]	L 150				[3]	W 250 × H 120 =	0.0300
[3]	L 130				[4]	欠番	
[4]	L 1,000				[5]	W 230 × H 320 =	0.0736
					[6]	L 1,900	
					[7]	L 350	
					[8]	W 60 × H 110 =	0.0066
					[9]	L 1,400	
小計	1,780			0.0736	[10]	L 770	
					[11]	W 80 × H 570 =	0.0456
壁面方位 S(南面)				壁面方位 N(北面)			
クラック				クラック			
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm]	面積[m2]	記号	長さ[mm]	面積[m2]
[1]	L 1,900				[12]	L 370	
[2]	L 580				[13]	W950×H1640-W750×H1300 =	0.5830
		[3]	W 50 × H 650 =	0.0325	[14]	L 1,150	
		[4]	W 50 × H 900 =	0.0450	[15]	L 200	
[5]	L 100				[16]	L 430	
		[6]	W 40 × H 650 =	0.0260	[17]	L 80	
		[7]	W 50 × H 100 =	0.0050	[18]	L 100	
		[8]	W 50 × H 500 =	0.0250	[19]	L 430	
		[9]	W 40 × H 170 =	0.0068	[20]	L 800	
		[10]	W 50 × H 400 =	0.0200	[21]	L 540	
		[11]	W 70 × H 650 =	0.0455	[22]	L 1,000	
		[12]	W 50 × H 1,150 =	0.0575	[23]	L 400	
		[13]	W 60 × H 110 =	0.0066	[24]	L 340	
		[14]	W 40 × H 190 =	0.0076	[25]	W 80 × H 580 =	0.0464
[15]	L 190				[26]	L 420	
[16]	L 190				[27]	L 1,400	
[17]	L 190				[28]	L 1,500	
[18]	L 190				[29]	L 530	
小計	3,340			0.2775	[30]	L 1,220	
					[31]	L 520	
					[32]	L 400	
					[33]	W 120 × H 140 =	0.0168
					[34]	L 200	
					[35]	L 200	
					[36]	L 400	
					[37]	L 600	
					[38]	W 160 × H 180 =	0.0288
					[39]	L 1,250	
					[40]	欠番	
					[41]	L 950	
					[42]	L 920	
					[43]	L 600	
					[44]	L 140	
					[45]	L 980	
					[46]	W810×H90+W450×H160 =	0.1449
					[47]	W300×H200+W50×H890 =	0.1045
					[48]	W 50 × H 400 =	0.0200
[49]	L 190				[49]	L 190	
[50]	L 190				[50]	L 190	
[51]	L 160				[51]	W 880 × H 60 =	0.0528
[52]	L 160				[52]	L 160	
[53]	L 160				[53]	W 150 × H 680 =	0.1020
[54]	L 160				[54]	欠番	
[55]	L 940				[55]	L 940	
小計	26,750			1.2286	小計	26,750	1.2286
合計	31,870			1.58	合計	31,870	1.58

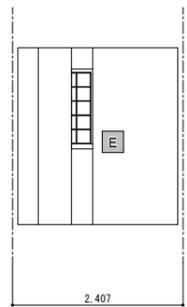
令和3年2月13日
 福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名 南校舎棟
 1階廊下復旧図(2)【1-23】
 縮尺 S=1:100.50(A3版 50%縮小)

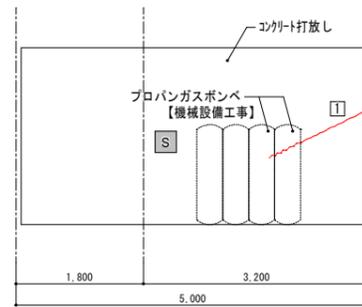
図面種別 A
 図面番号 44



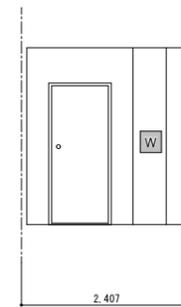
N方向展開図



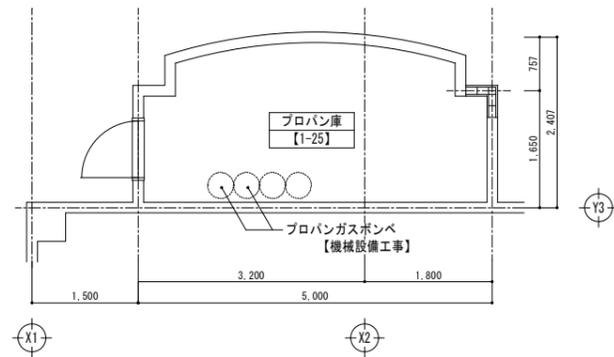
E方向展開図



S方向展開図



W方向展開図



平面図



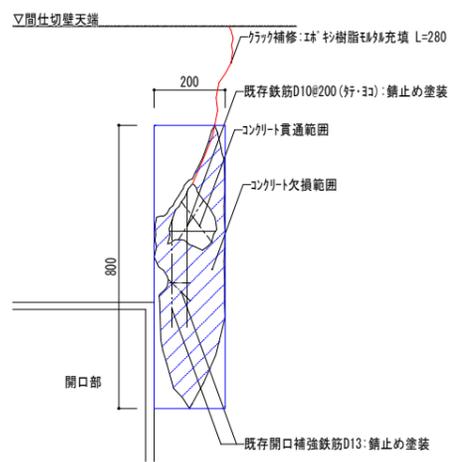
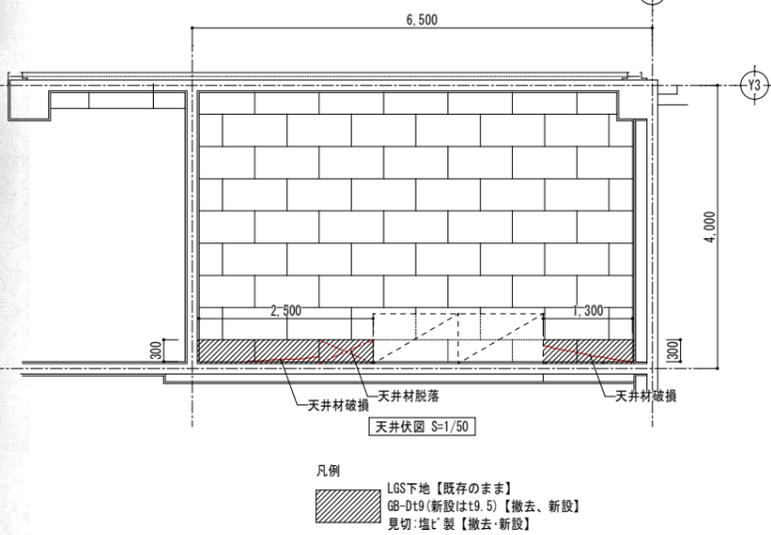
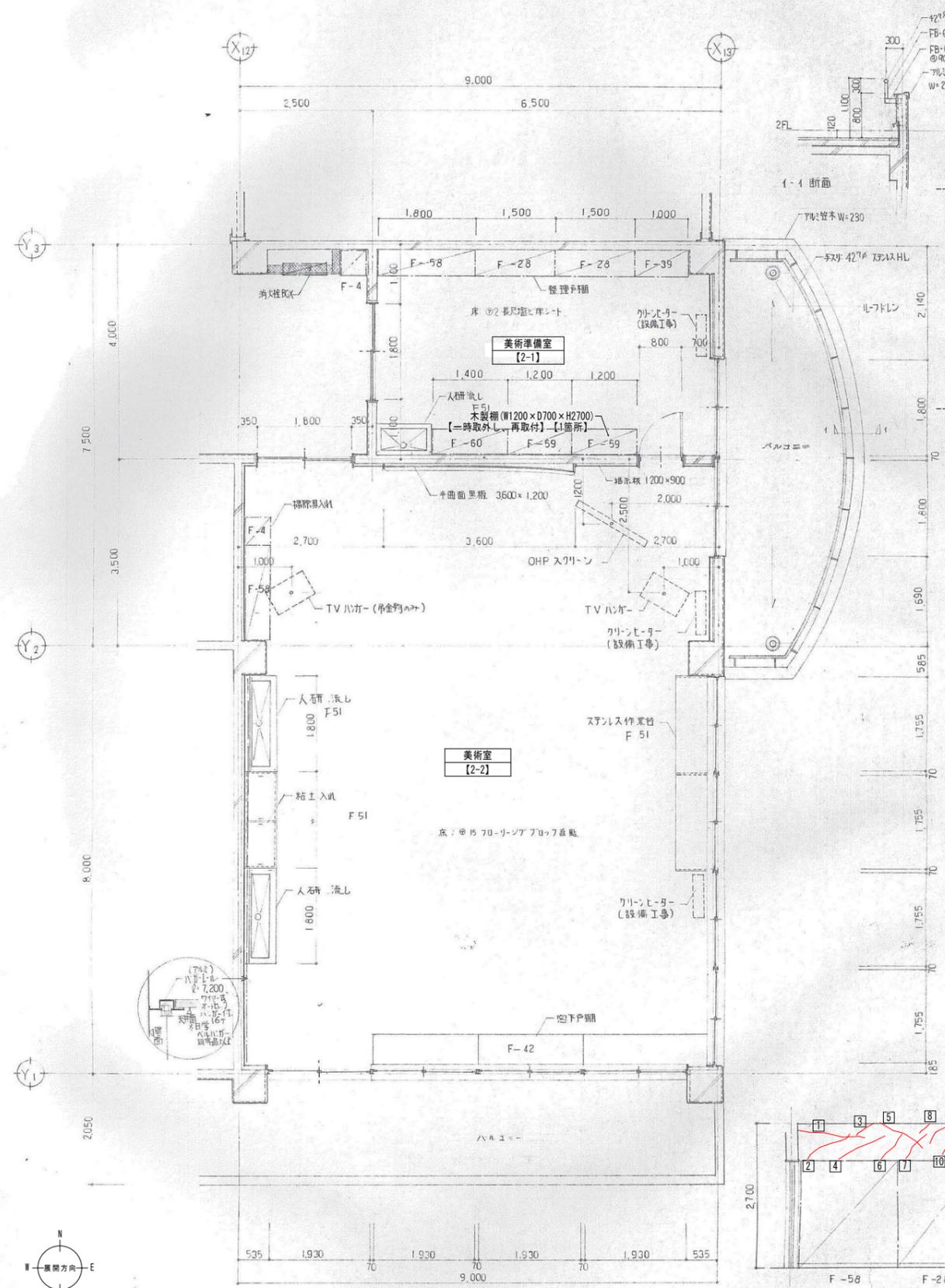
クラック・破損リスト			
棟名	南棟		
階数	1階		
室名	プロパン庫(内部)	室番号	1-25
壁面方位	S(南面)		
クラック		浮き・損壊範囲	
記号	長さ[mm]	記号	長さ[mm] 面積[m2]
I	L 1,500		
合計	1,500		0

室名	プロパン庫(内部)【1-25】	
床	コンクリート打放し	【既存のまま】
巾木(壁)	-	
壁	コンクリート打放し	【クラック補修】
天井	コンクリート打放し	【既存のまま】
備考		

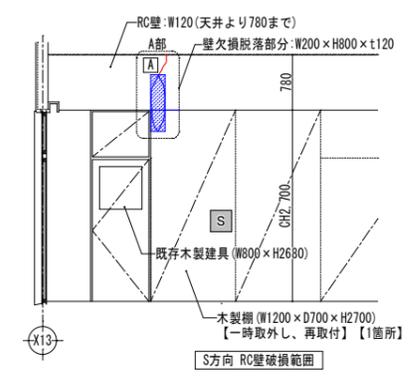
凡例

- I クラックを示す。
 - II 浮き・破損箇所を示す。
- ※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

復旧方法
①クラック
ひび割れ部、I※ 杉樹脂注入
②浮き・破損箇所
浮き・欠損部撤去後、I※ 杉樹脂モルタルを充填
※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。



壁欠損脱落部復旧特記
 ①脆弱部はつり除去、鉄筋露出部は除去。
 ②既存鉄筋錆止め塗装及び補修用プライヤー塗布。
 ③型枠設置。
 ④無収縮モルタル注入。
 ⑤既存木製建具養生。
 無収縮モルタルは、 $f_m = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上とする。



室名	美術準備室 [2-1]
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木	壁木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 E面: ショウインHG-Rt12.0 (GL工法) AEP塗装 【既存のまま】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0 (新設はt9.5) 【撤去・新設】
備考	木製棚【一時取外し、再取付】

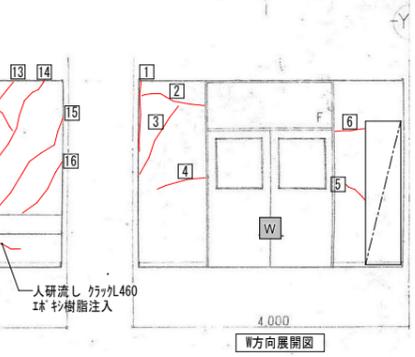
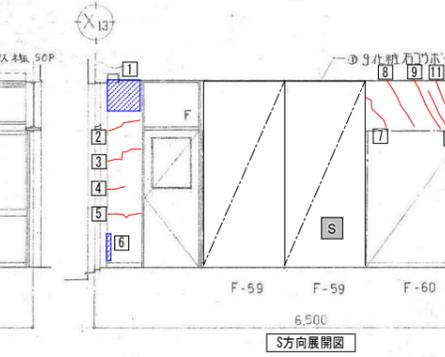
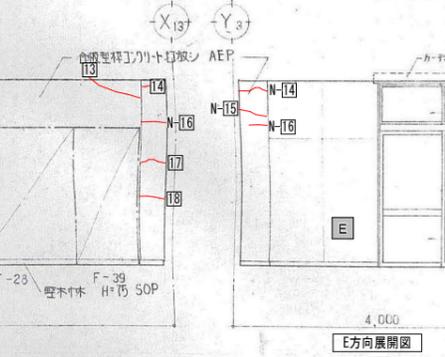
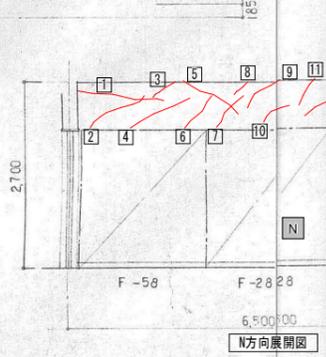
クワック・破損リスト			
棟名	南校舎棟	階数	2階
室名	美術準備室	室番号	2-1
壁面方位 N (北面)			
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
1	L 740	1	
2	L 730	2	
3	L 380	3	
4	L 850	4	
5	L 780	5	
6	L 630	6	
7	L 680	7	
8	L 220	8	
9	L 520	9	
10	L 520	10	
11	L 370	11	
12	L 550	12	
13	L 800	13	
14	L 470	14	
15	L 330	15	
16	L 630	16	
17	L 360	17	
18	L 360	18	
計	9,920	計	

壁面方位 S (南面)			
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
1	L 350	1	
2	L 370	2	
3	L 160	3	
4	L 340	4	
5	L 660	5	
6	L 800	6	
7	L 700	7	
8	L 640	8	
9	L 350	9	
10	L 750	10	
11	L 450	11	
12	L 1,790	12	
13	L 2,020	13	
14	L 1,220	14	
15	L 1,220	15	
16	L 1,220	16	
計	10,600	計	0.176

壁面方位 W (西面)			
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
1	L 970	1	
2	L 980	2	
3	L 1,150	3	
4	L 630	4	
5	L 400	5	
6	L 470	6	
計	4,600	計	
総合計	25,120	総合計	0.19

復旧方法
 ①クワック
 ひび割れ部、Eモルタル樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
 ②浮き・破損箇所
 浮き・破損部撤去後、Eモルタル樹脂を充填後、
 下地調整の上、EP-G塗装
 ※EP-G塗装はクワックより両幅100mmの範囲とする。
 ※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

凡例
 ① クワックを示す。
 ② 浮き・破損箇所を示す。
 ※せつこうボード・巾木の大きさは寸法参照



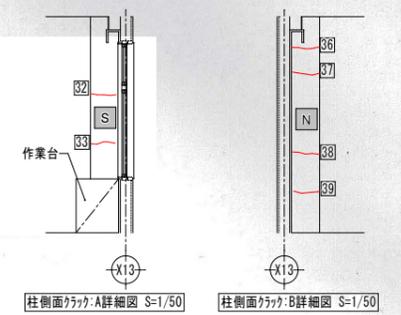
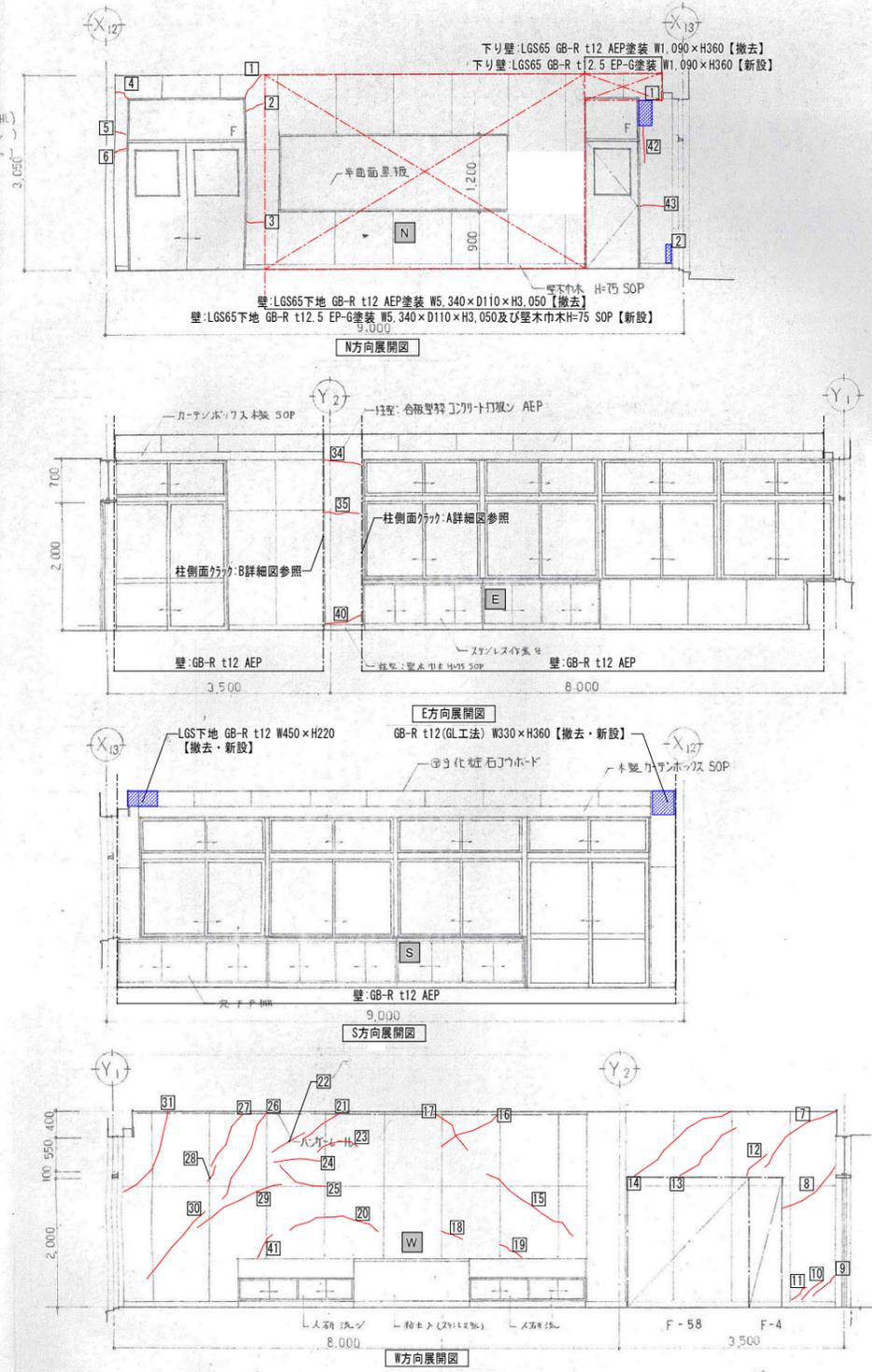
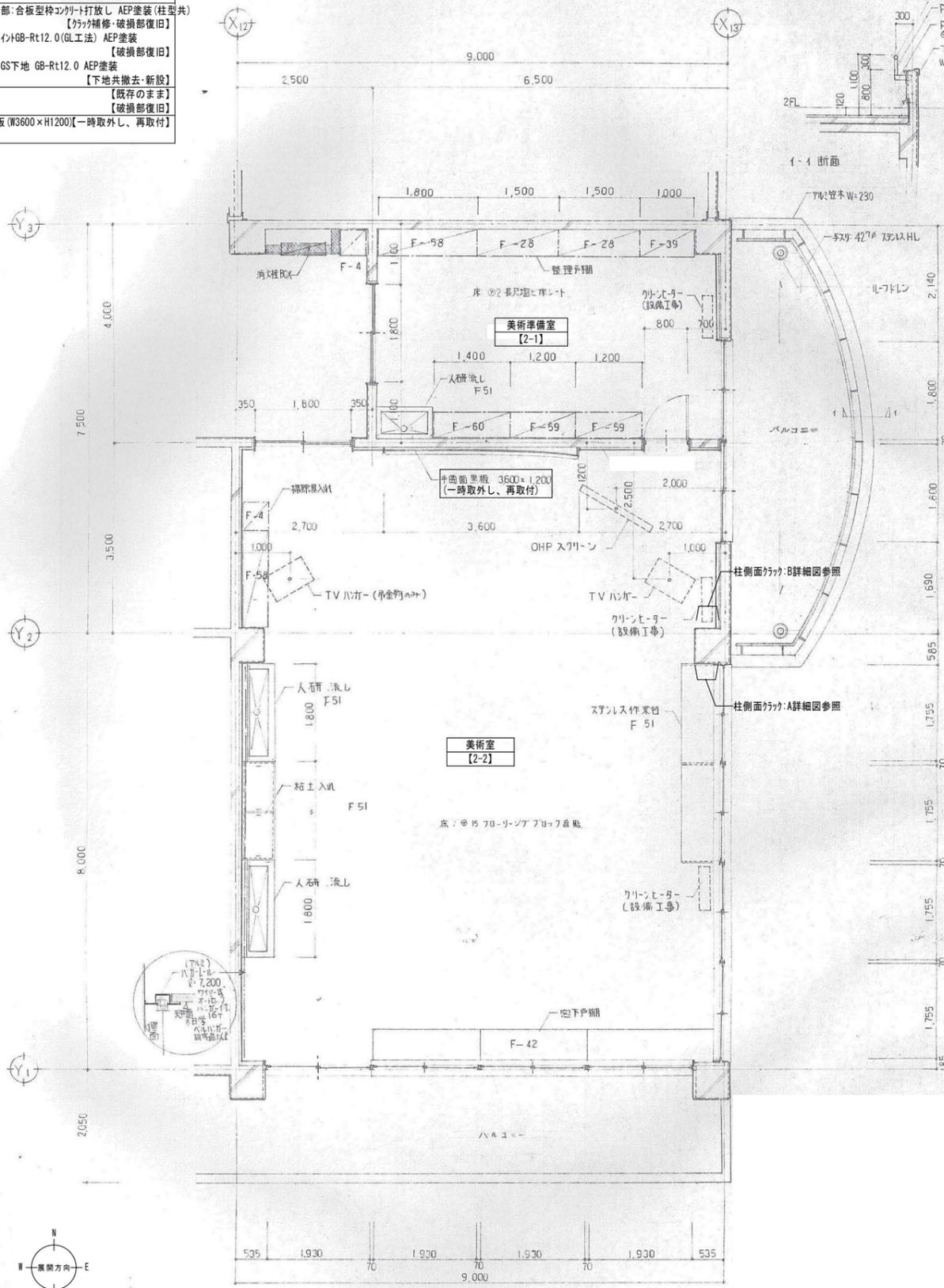
令和3年2月13日
 福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名 南校舎棟
 美術準備室復旧図【2-1】

縮尺 S=1:30, 50 (A3版 50%縮小)

図面種類 A
 図面番号 46

室名	美術室 [2-2]
床	70-リソアフロック15.0直貼(特殊貼) PU3 【既存のまま】
巾木(壁)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	N面・N面一部:合板型枠コンクリート打放し AEP塗装(柱型共) 【タガ補修・破損部復旧】 S-E面:ジョイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】 N面一部:LGS下地 GB-Rt12.0 AEP塗装 【下地共撤去・新設】
天井	LGS下地 GB-Dt9.0 【既存のまま】 【破損部復旧】
備考	半曲面黒板(W3600×H1200)[一時取外し、再取付]



タガ・破損リスト				
種名	南校舎棟	室番号 2-2		
階数	2階	浮き・破損範囲		
壁面方位	タガ			
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	L 320	1	W 200 × H 380	0.076
2	L 90	2	W 80 × H 280	0.0224
3	L 90			
4	L 450			
5	L 460			
6	L 450			
42	L 200			
43	L 340			
計	2,400	計		0.10
壁面方位 E (東面)				
32	L 360			
33	L 360			
34	L 500			
35	L 580			
36	L 300			
37	L 345			
38	L 350			
39	L 350			
40	L 590			
計	3,735			
壁面方位 W (西面)				
7	L 1,330			
8	L 1,340			
9	L 340			
10	L 350			
11	L 300			
12	L 400			
13	L 800			
14	L 1,500			
15	L 800			
16	L 770			
17	L 480			
18	L 250			
19	L 360			
20	L 1,000			
21	L 320			
22	L 540			
23	L 490			
24	L 400			
25	L 430			
26	L 1,130			
27	L 670			
28	L 380			
29	L 1,750			
30	L 1,360			
31	L 1,460			
41	L 410			
計	19,360			
総合計	25,495	総合計		0.10

凡例
 ① タガを示す。
 ② 浮き・破損箇所を示す。
 ※せっこう・巾木の大きさは寸法参照

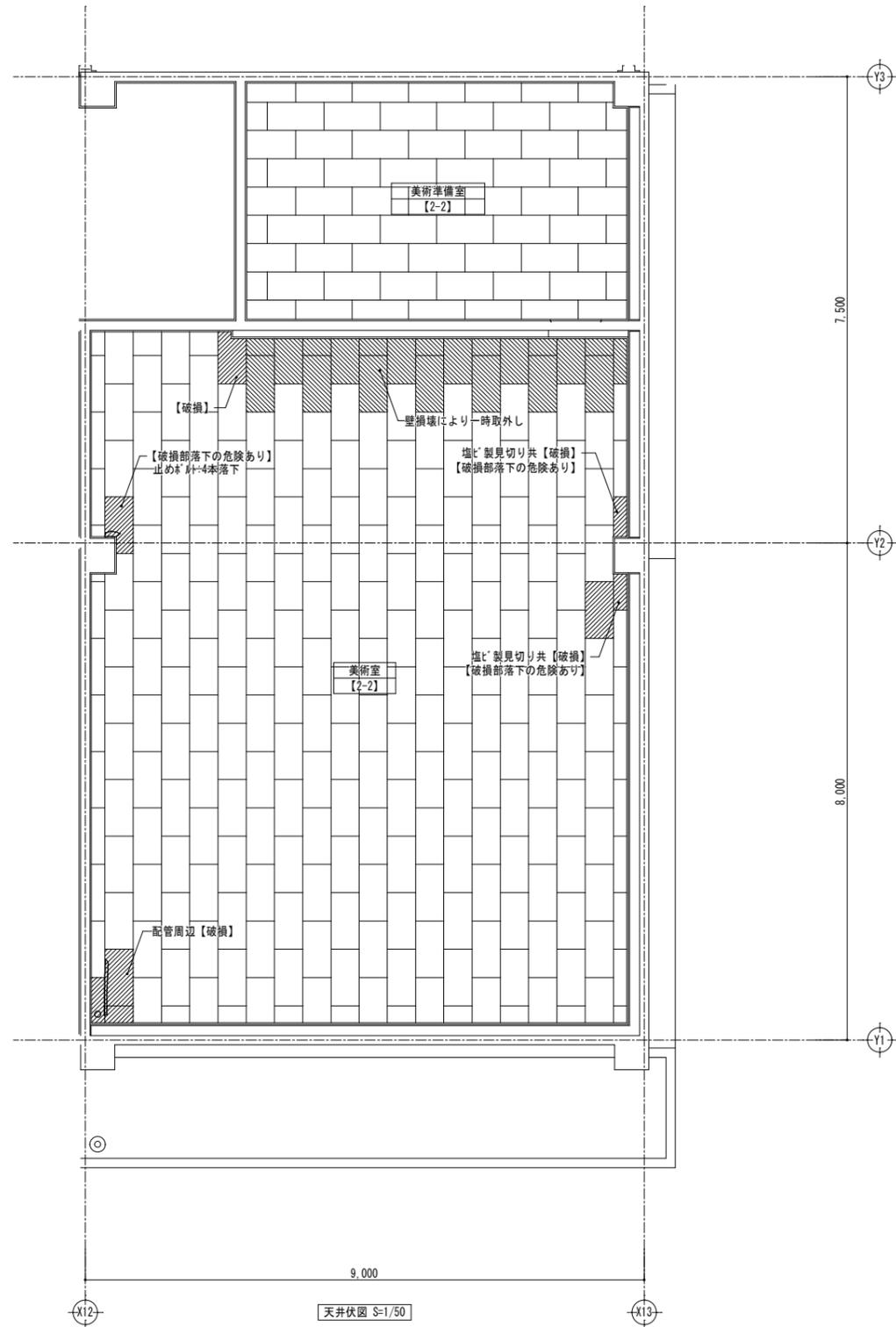
復旧方法	
① タガ	ひび割れ部、珪矽樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
② 浮き・破損箇所	浮き・破損部撤去後、珪矽樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
※EP-G塗装はタガより両幅100mmの範囲とする。	
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。	

令和3年2月13日
 福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名
 南校舎棟
 美術室復旧図(1) [2-2]

縮尺
 S=1:50 (A3版 50%縮小)

図面種類
 A
 図面番号
 47



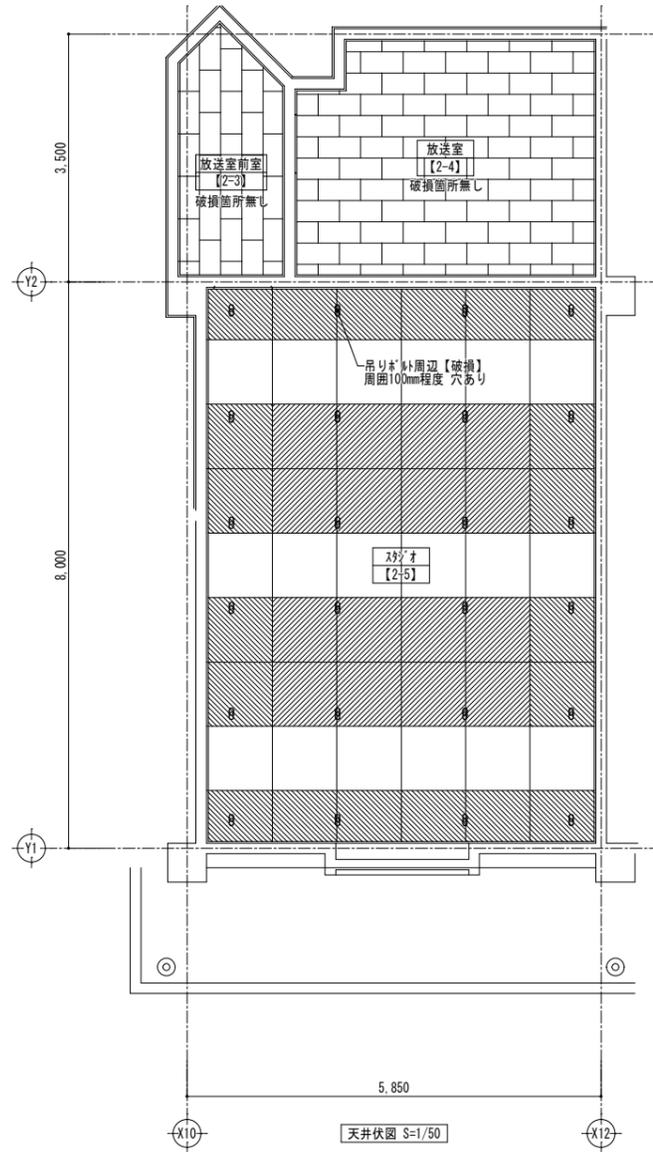
- 凡例
- LGS下地【既存のまま】
せっこう*⁺t9+岩綿吸音板t12【撤去、新設】【8枚】
 - LGS下地【既存のまま】
せっこう*⁺t9+岩綿吸音板t12【一時取外し、再取付】【21枚】

--

令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

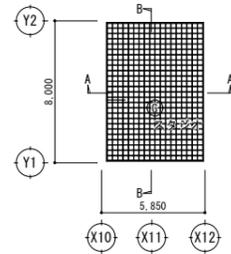
図面名 南校舎棟
美術室(2)【2-2】
縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)

図面種別
A
図面番号
48

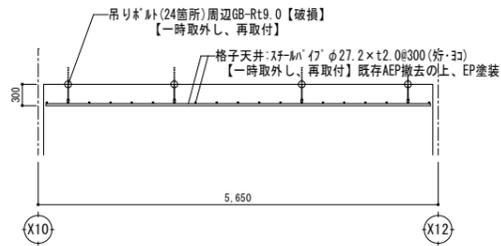


凡例

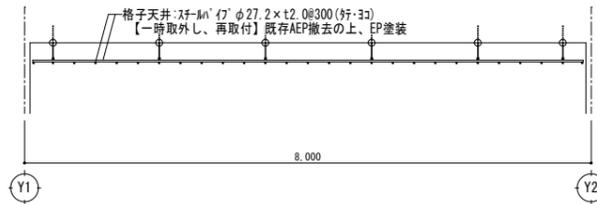
- LGS下地【既存のまま】
吸音(穴開)GB-Rt9.0(7'50×t50充填) 既存AEP撤去の上、EP塗装【撤去、新設】【16枚】
- LGS下地【既存のまま】
GB-Rt9.0(7'50×t50) 既存AEP撤去の上、EP塗装【撤去、新設】【20枚】



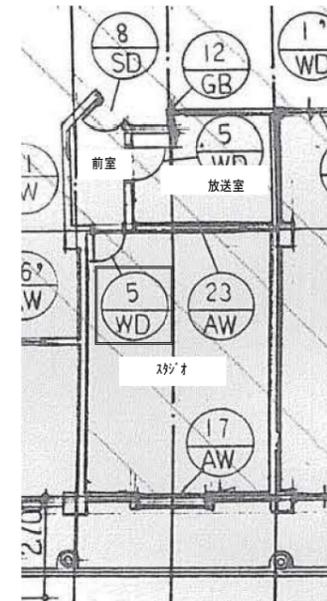
スリット天井伏図 キープラン S=1/200



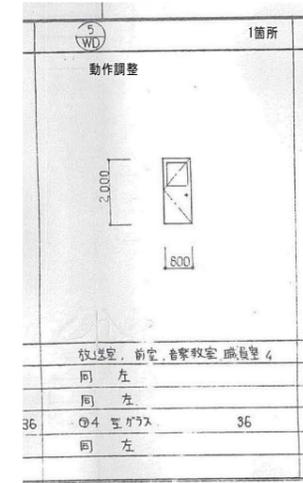
A-A断面図 S=1/50



B-B断面図 S=1/50

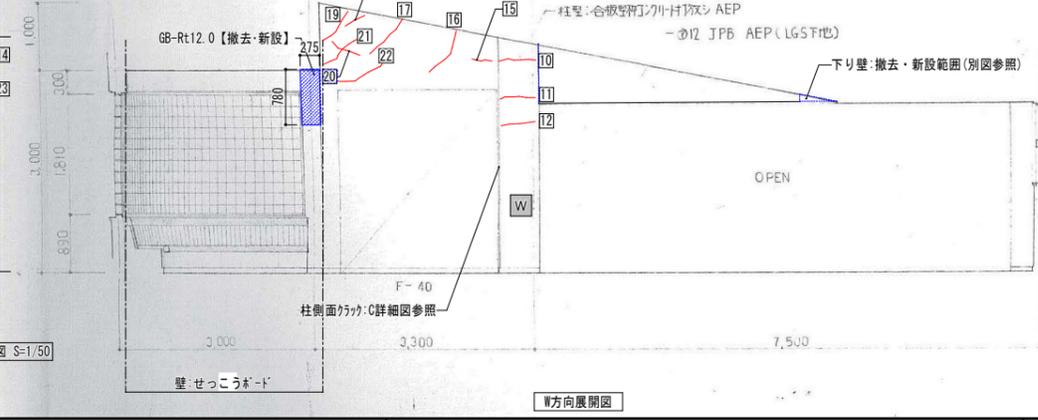
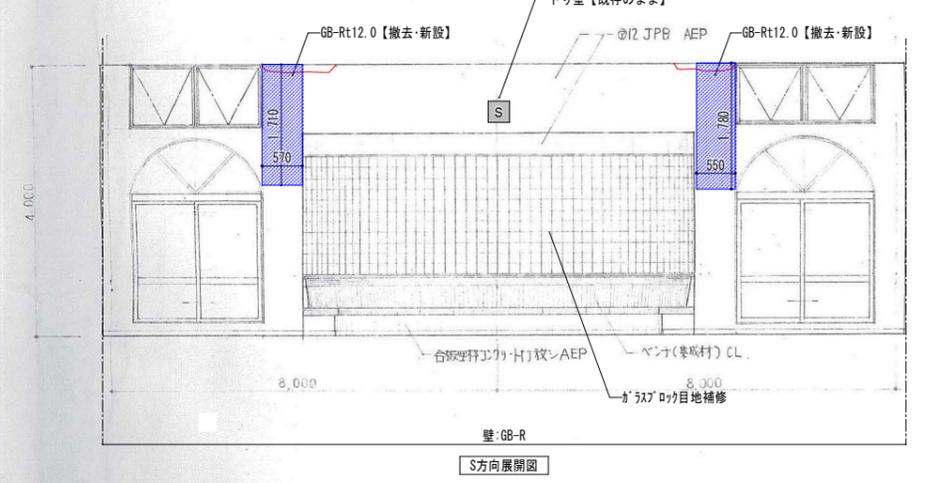
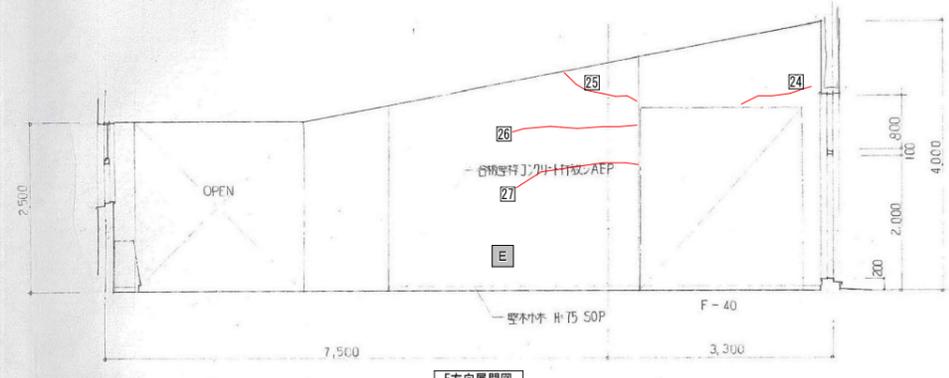
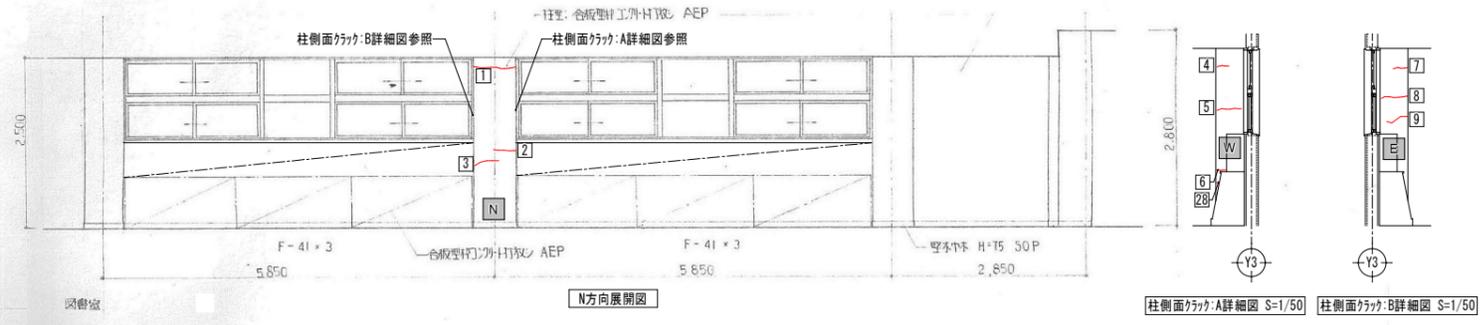
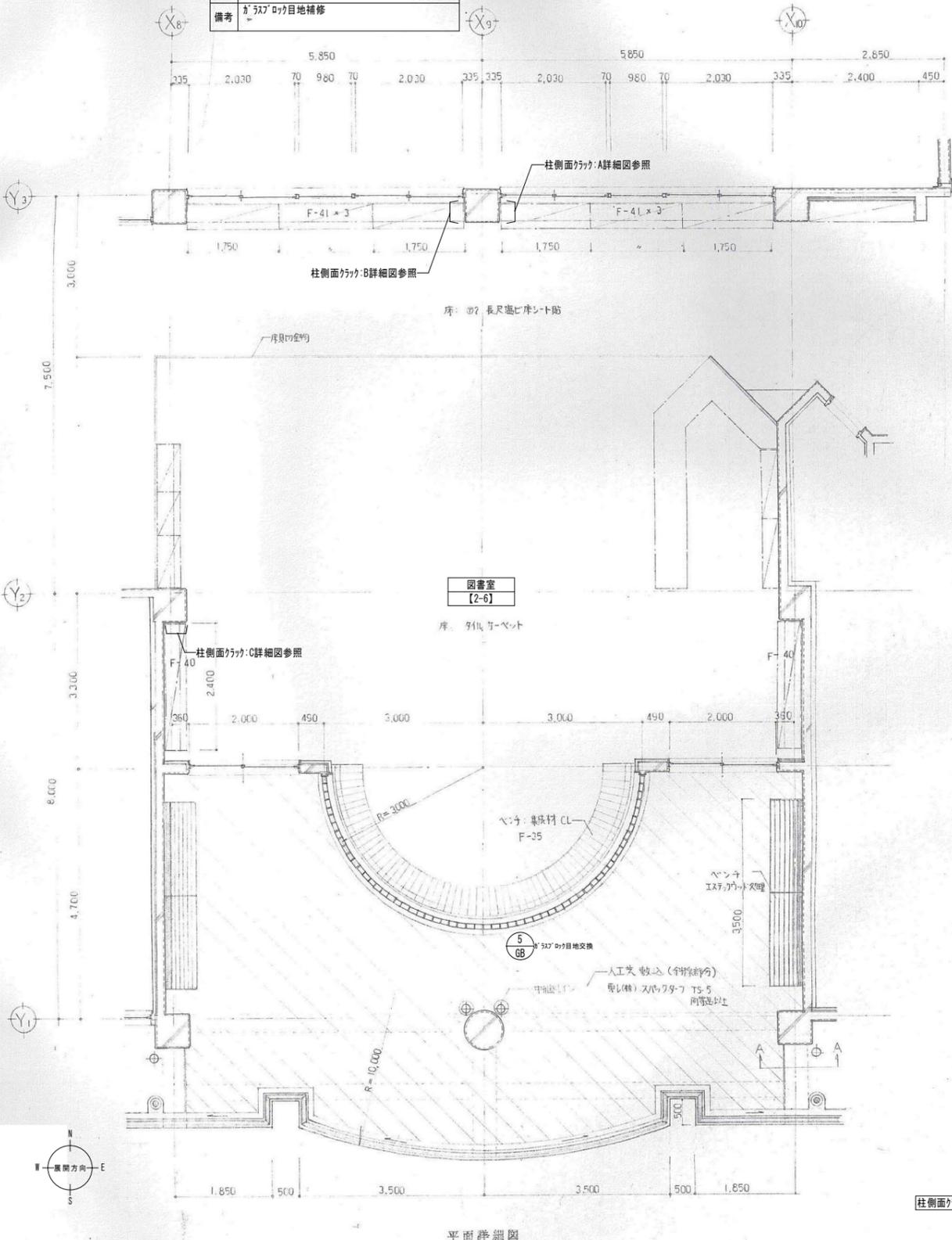


建具キープラン・建具表 S=1/100



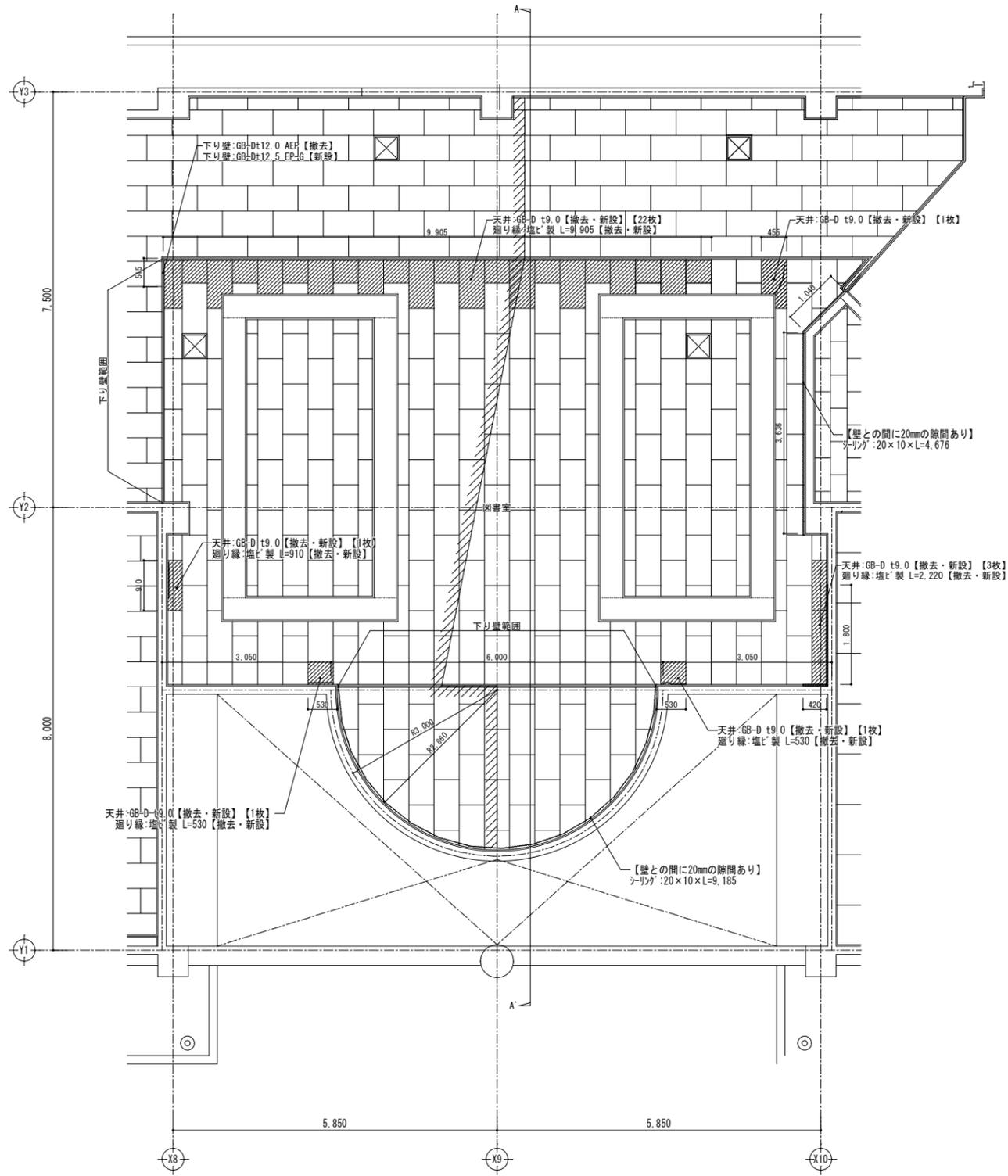
室名	図書室【2-6】	
床	タタキベイト8.0貼	【既存のまま】
	通路部分:長尺塩ビ床シート2.0貼	【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75	【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打ちし AEP塗装	
	【クラック補修・破損部復旧】	
	S面:ジョイントGB-Rt12.0 (GL工法) AEP塗装	【破損部復旧】
		【撤去・新設】
天井	LGS下地(標1.5m以上)	【撤去・新設】
	GB-Dt9.0	【撤去・新設】
備考	ガラスロケ目地補修	

復旧方法
①クラック
ひび割れ部、珪矽樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
②浮き・破損箇所
浮き・破損部撤去後、珪矽樹脂を充填後、
下地調整の上、EP-G塗装
※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。



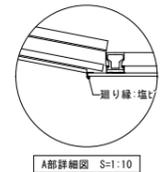
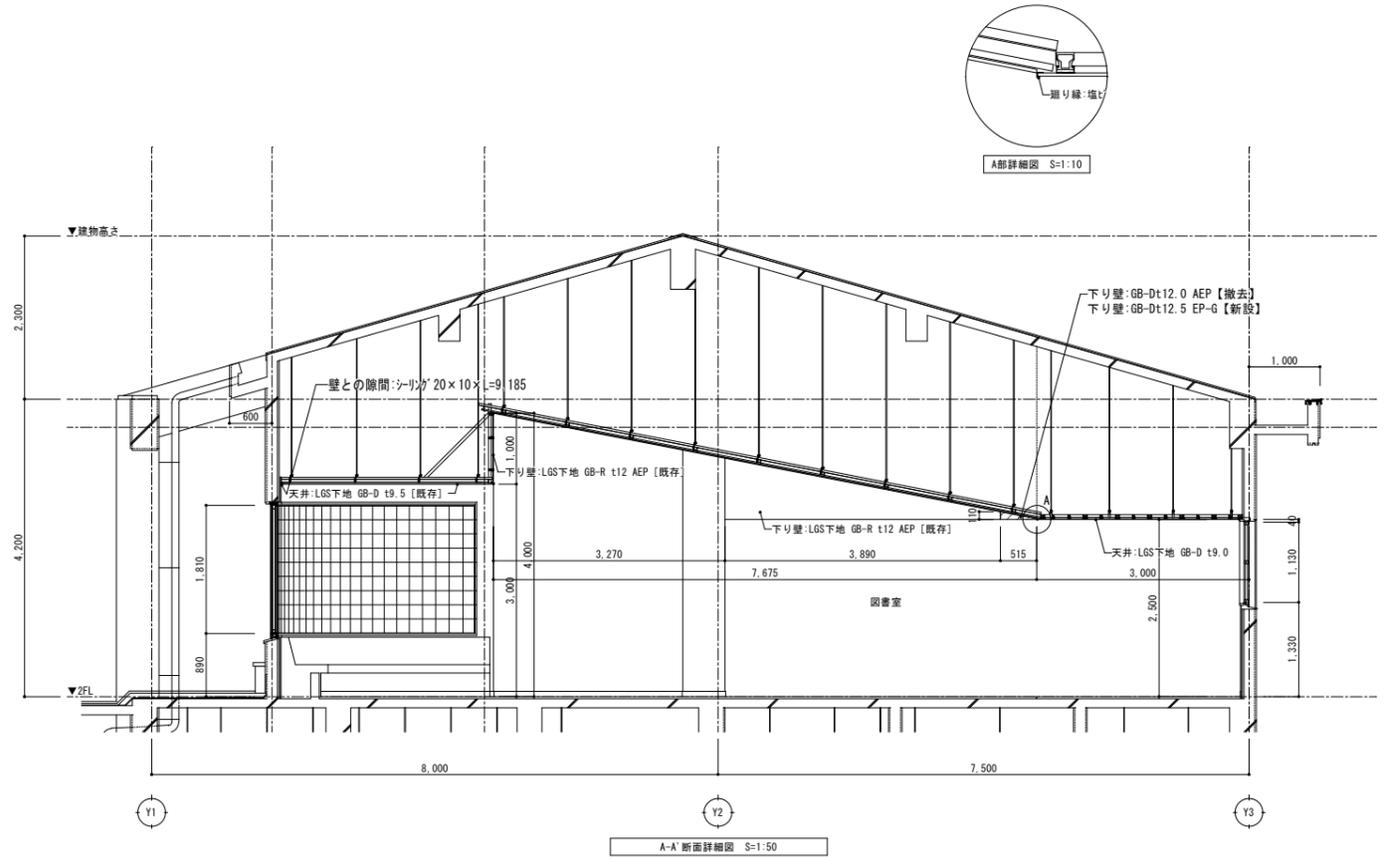
クラック・破損リスト				
種名	南校舎棟	階数	1階	室番号
室名	図書室	室番号	2-6	
クラック 浮き・破損範囲				
壁面方位 N (北面)				
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	L 600			
2	L 225			
3	L 315			
4	L 130			
5	L 370			
6	L 370			
7	L 230			
8	L 350			
9	L 360			
28	L 360			
計	3,310			
壁面方位 E (東面)				
24	L 600			
25	L 860			
26	L 770			
27	L 640			
計	2,870			
壁面方位 W (西面)				
10	L 590			
11	L 590			
12	L 590			
13	L 300			
14	L 200			
15	L 60			
16	L 770			
17	L 820			
18	L 280			
19	L 560			
20	L 790			
21	L 880			
22	L 830			
23	L 280			
計	7,540			
総合計	13,720			

凡例
 ① クラックを示す。
 ② 浮き・破損箇所を示す。
 ※せっこうボード・巾木の大きさは寸法参照



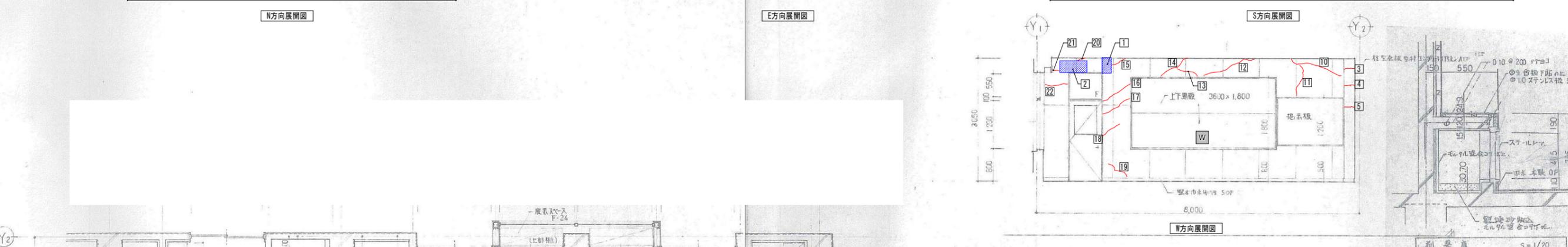
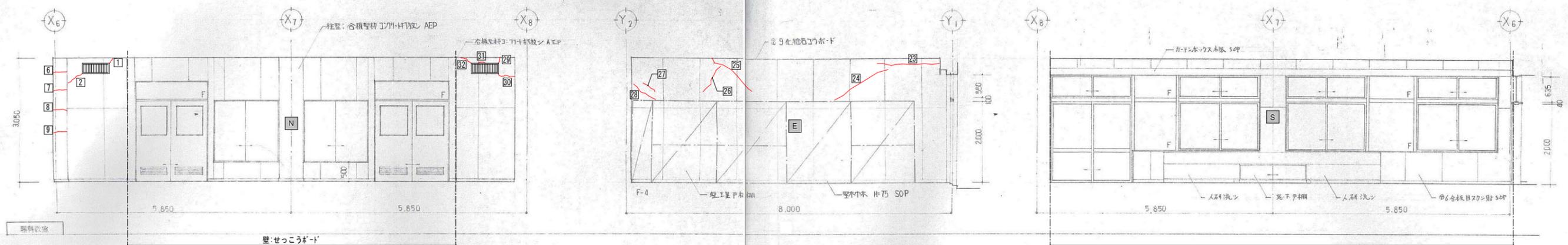
天井伏図 S=1/50

- 凡例
- LGS下地【既存のまま】
 - GB-D t9.0貼【撤去・新設】【28枚】
 - 通り縁・塩ビ製【撤去・新設】
 - 天井点検口: 7x7 製450角-2ヶ所【既存のまま】



符号	5 GB (キープランはA54の平面詳細図を参照)
形状	ガラスフロア ガラスフロア目地交換
使用箇所 / 個所数	図書室 1
型式 / 見込寸法	ガラスフロア 190 x 95 70-tt5 / 7x7x110
硝子 / 仕上	附属金物一式
建具金具	
備考	(R植)

建具表 S=1/100



室名	理科室Ⅱ【2-8】
床	長尺塩ビ床シート貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 S面・N面一部:ジョイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0 【既存のまま】
備考	

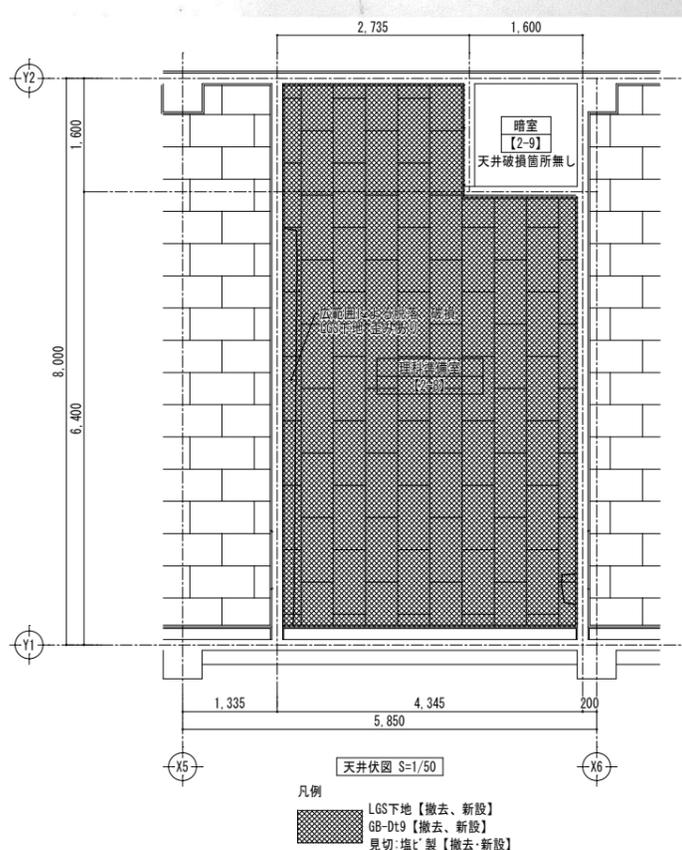
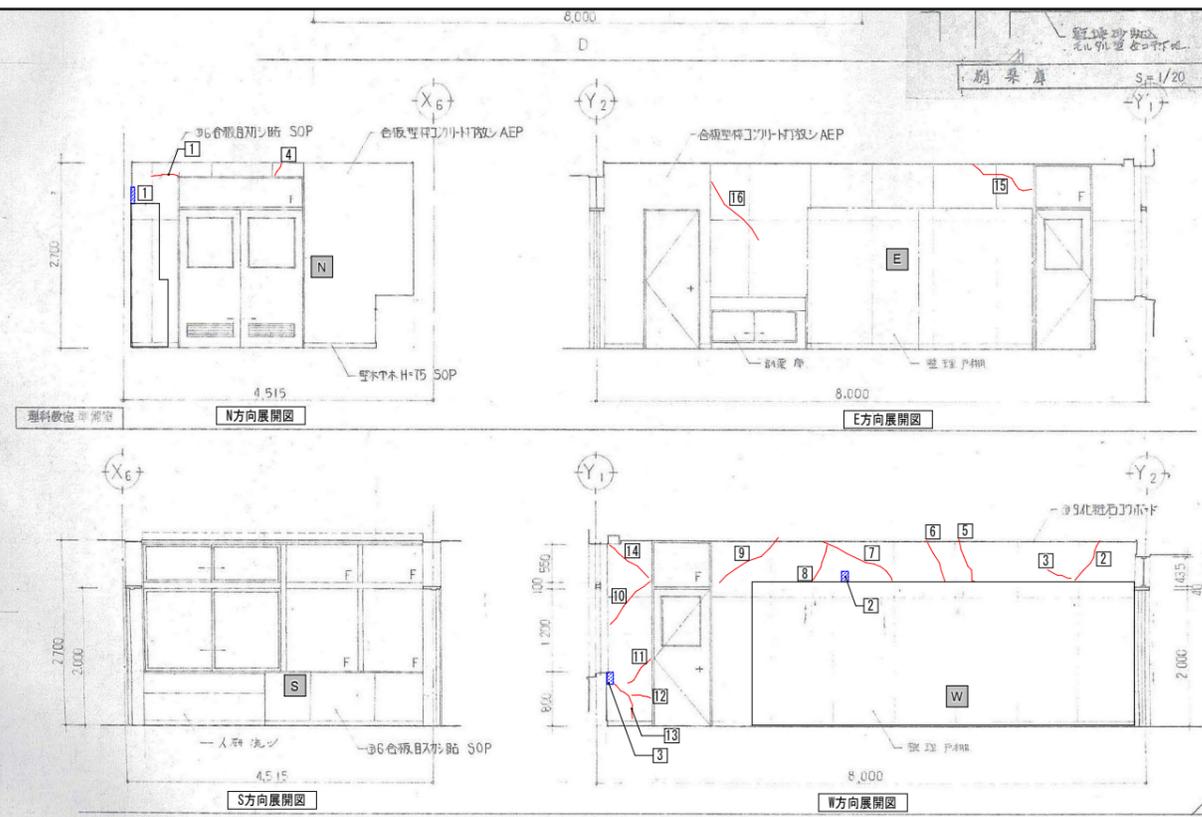
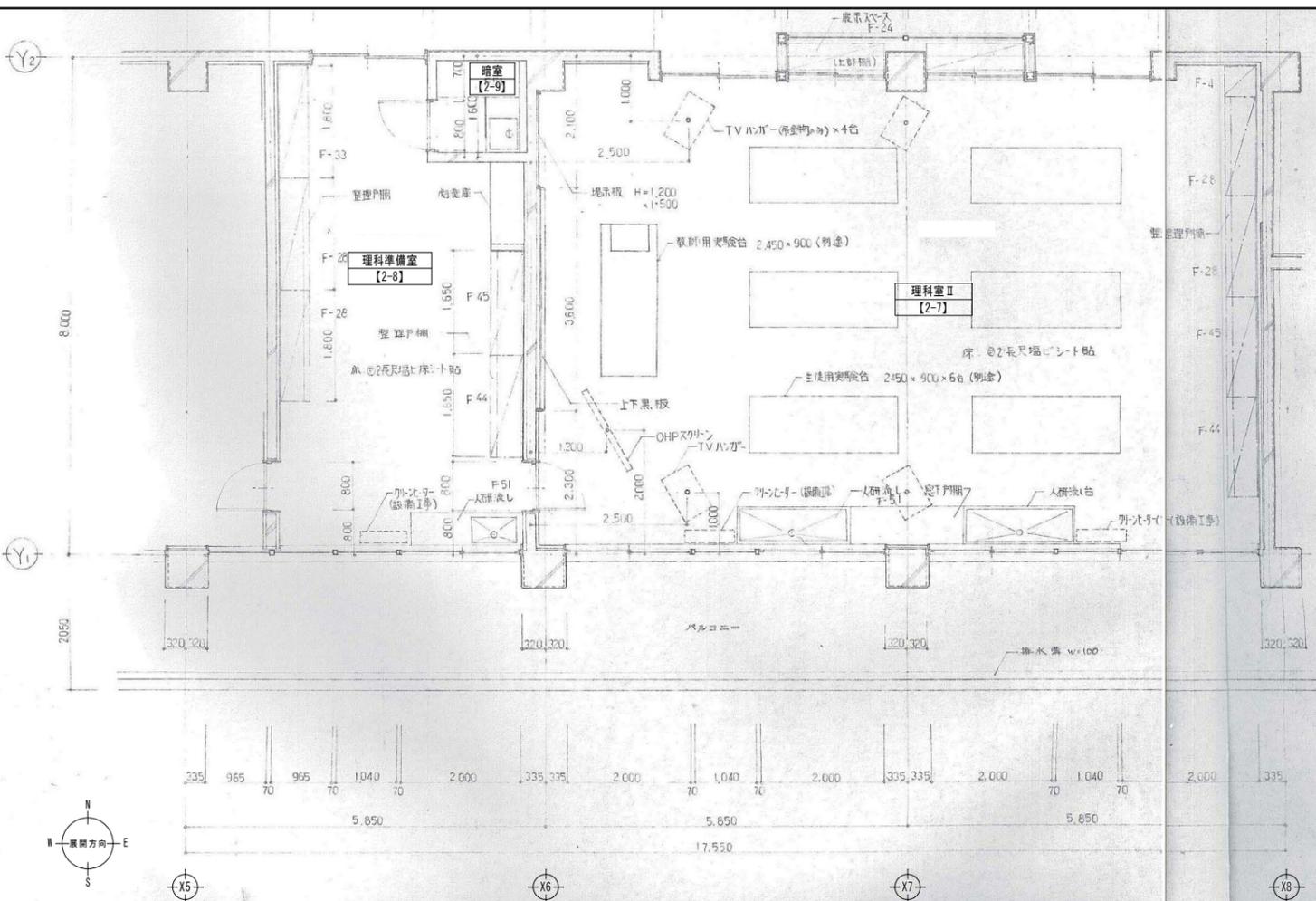
クラック・破損リスト			
棟名	南校舎棟	階数	2階
室名	理科室Ⅱ	室番号	2-8
クラック			
浮き・破損箇所			
壁面方位 N (北面)			
記号	長さ [mm]	記号	面積 [m2]
1	L 450		
2	L 410		
6	L 400		
7	L 400		
8	L 380		
9	L 370		
29	L 90		
30	L 190		
31	L 120		
32	L 220		
計	3,030		
壁面方位 E (東面)			
23	L 1,120		
24	L 1,150		
25	L 580		
26	L 670		
27	L 370		
28	L 840		
計	4,730		
壁面方位 W (西面)			
3	L 300	1	W 220 × H 370 = 0.0814
4	L 80	2	W 650 × H 280 = 0.182
5	L 400		
10	L 1,000		
11	L 955		
12	L 1,090		
13	L 480		
14	L 500		
15	L 220		
16	L 760		
17	L 390		
18	L 400		
19	L 550		
20	L 140		
21	L 230		
22	L 620		
計	8,115	計	0.26
総合計	15,875	総合計	0.26

- 凡例
- ① クラックを示す。
 - ② 浮き・破損箇所を示す。
 - ③ せっこうボード交換範囲を示す。

復旧方法

- ①クラック
ひび割れ部、I*杉樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
- ②浮き・破損箇所
浮き・破損部撤去後、I*杉樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装

※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。



室名	理科準備室【2-8】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 SOP H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【タガ補修・破損部復旧】 S面:ジョイントGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地(標1.5m以上) 【撤去・新設】 GB-Dt9.0 【撤去・新設】
備考	

室名	暗室【2-9】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼 【既存のまま】
巾木(腰)	ワト巾木 H75 【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【破損部復旧】
天井	LGS下地 【既存のまま】 GB-Dt9.0 【既存のまま】
備考	

クラック・破損リスト				
棟名	南校舎棟	階数	2階	室名
室名	理科準備室	室番号	2-8	クラック
クラック				
浮き・破損範囲				
壁面方位 N (北面)				
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	L 365	1	W 50 × H 230 = 0.0115	
4	L 200			
計	565	計		0.01
壁面方位 E (東面)				
15	L 930			
16	L 1,200			
計	2,130			
壁面方位 W (西面)				
2	L 740	2	W 100 × H 150 = 0.015	
3	L 320	3	W 90 × H 170 = 0.0153	
5	L 780			
6	L 800			
7	L 1,130			
8	L 830			
9	L 740			
10	L 810			
11	L 350			
12	L 350			
13	L 650			
14	L 800			
計	8,300	計		0.03
総合計	10,995	総合計		0.04

クラック・破損リスト				
棟名	南校舎棟	階数	2階	室名
室名	暗室	室番号	2-9	クラック
クラック				
浮き・破損範囲				
壁面方位 N (北面)				
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	L 530			
2	L 830			
3	L 1,170			
計	2,530			
壁面方位 E (東面)				
1	L 1,300			
2	L 500			
3	L 700			
計	2,500			
壁面方位 S (南面)				
1	L 840			
2	L 1,150			
計	1,990			
壁面方位 W (西面)				
1	L 780			
計	780			
総合計	7,800			

凡例

① クラックを示す。

② 浮き・破損箇所を示す。

※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

復旧方法

① クラック

ひび割れ部、E* 杉樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装

② 浮き・破損箇所

浮き・破損部撤去後、E* 杉樹脂注入を充填後、下地調整の上、EP-G塗装

※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。

※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

※天井標1.5mを超えているため、下地復旧はA-63図、下地補強詳細図参照のこと。

凡例

LGS下地【撤去・新設】

GB-Dt9【撤去・新設】

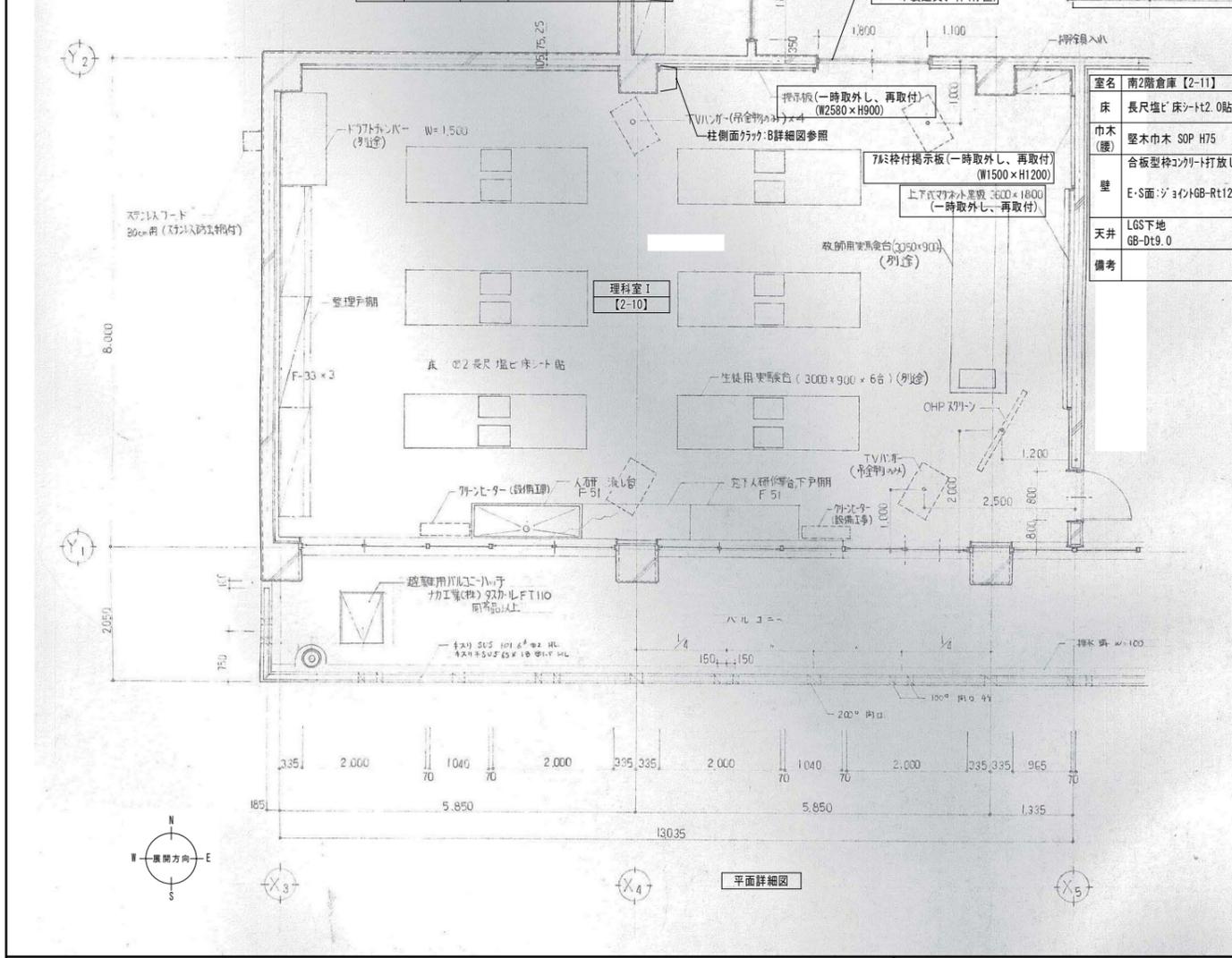
見切塩ビ製【撤去・新設】

クラック・破損リスト			
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
37	L 960	3	W 220 × H 260 = 0.0572
38	L 1,030		
39	L 420		
40	L 250		
41	L1 400		
42	L2 110		
43	L 140		
44	L 110		
45	L 320		
46	L 420		
47	L 110		
48	L 600		
49	L 3,600	4	W 70 × H 110 = 0.0077
	L 410	5	W 60 × H 510 = 0.0306
		6	W 60 × H 180 = 0.0108
計	5,470	計	0.04

記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
12	L 120		
13	L 700		
14	L 350		
15	L 340		
16	L1 280		
17	L2 190		
18	L 400		
19	L 160		
20	L 310		
21	L 700		
22	L 780		
23	L 240		
24	L 330		
25	L 400		
26	L 350		
27	L1 360		
28	L2 240		
29	L 180		
30	L 420		
31	L 1,700		
32	L 1,300		
33	L 350		
34	L 780		
35	L 1,020		
36	L 660		
37	L 650		
計	18,965	計	0.0291

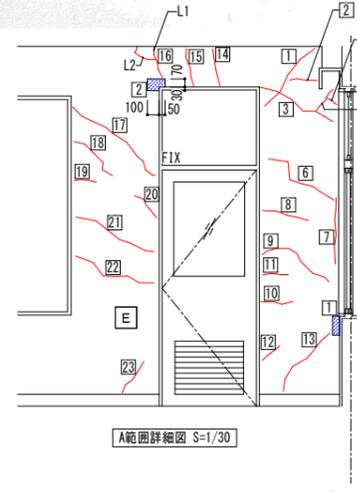
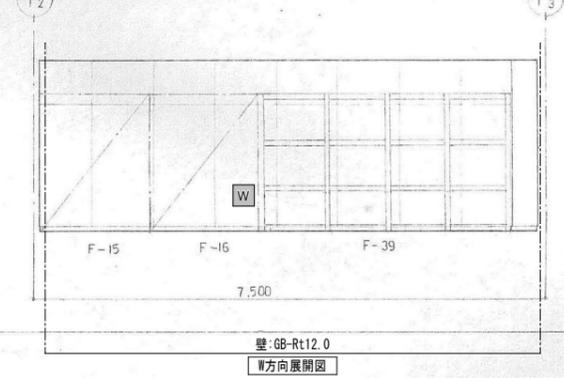
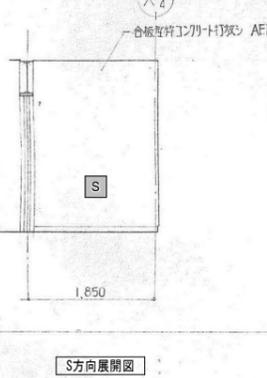
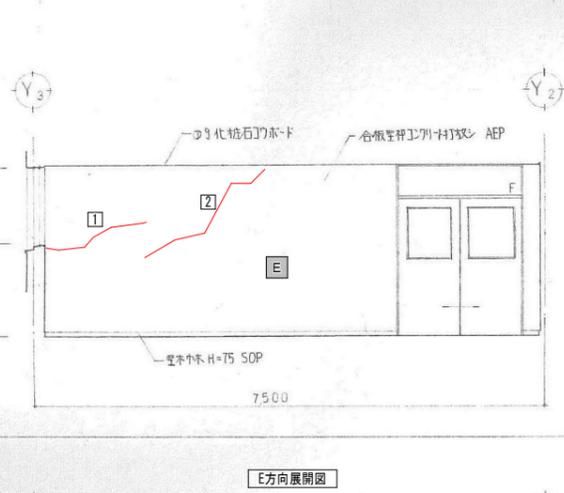
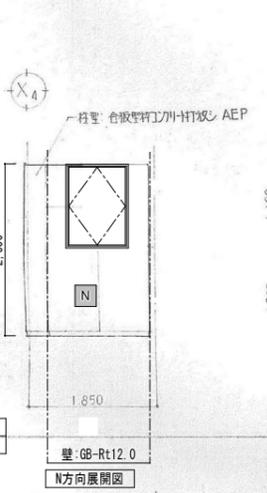
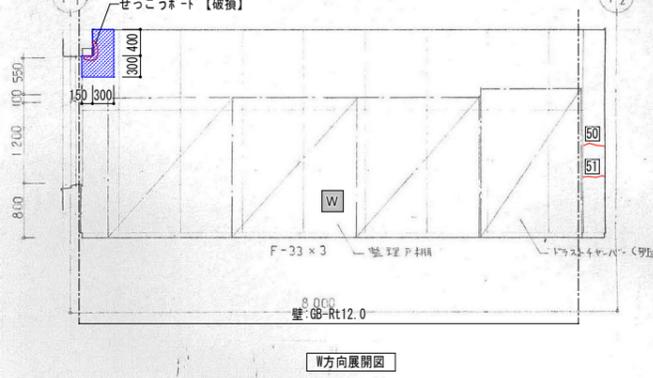
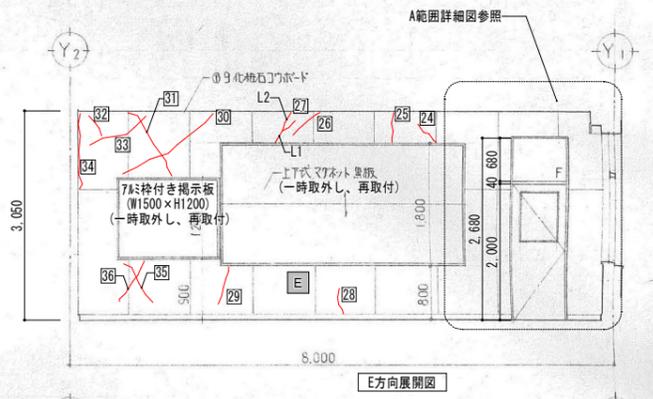
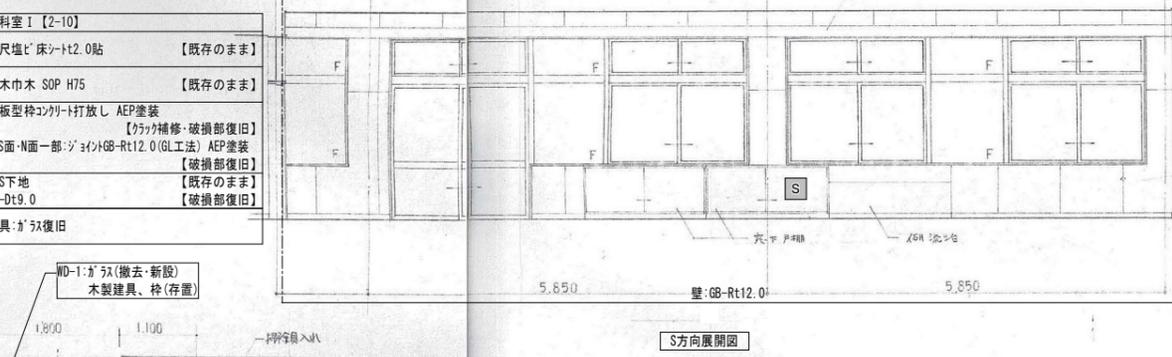
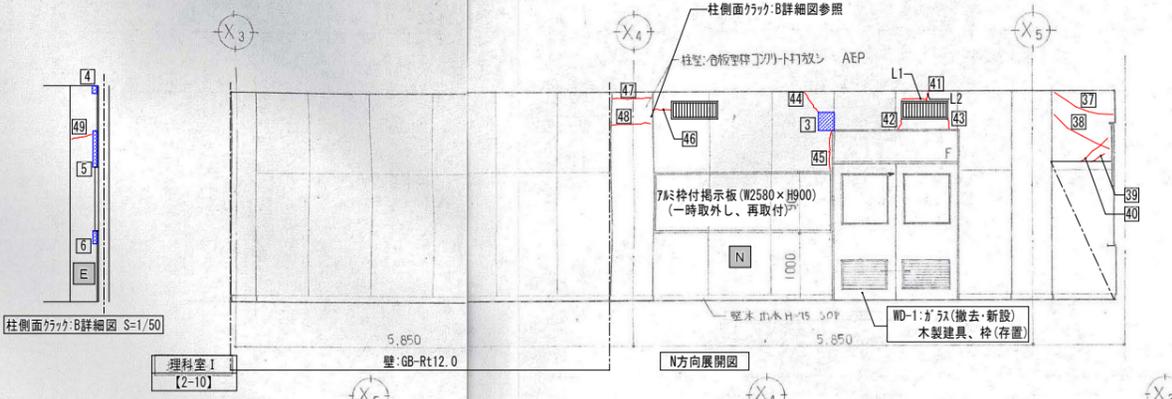
クラック・破損リスト			
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
1	L 1,050		
2	L 1,200		
計	2,250		

クラック・破損リスト			
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]
1	L 580	1	W 60 × H 160 = 0.0096
2	L 260	2	W 150 × H 130 = 0.0195
3	L 750		
4	L 250		
5	L 80		
6	L 780		
7	L 500		
8	L 410		
9	L 760		
10	L 185		
11	L 190		



室名	床	巾木(腰)	壁	天井	備考
理科室 I [2-10]	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木 SOP H75	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 クラック補修・破損部復旧	LGS下地 GB-Dt9.0	【既存のまま】 【既存のまま】 【破損部復旧】 【既存のまま】 【破損部復旧】
南2階倉庫 [2-11]	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木 SOP H75	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 クラック補修・破損部復旧	LGS下地 GB-Dt9.0	【既存のまま】 【既存のまま】 【既存のまま】 【既存のまま】

室名	床	巾木(腰)	壁	天井	備考
南2階倉庫 [2-11]	長尺塩ビ床シート2.0貼	堅木巾木 SOP H75	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 クラック補修・破損部復旧	LGS下地 GB-Dt9.0	【既存のまま】 【既存のまま】 【既存のまま】 【既存のまま】



復旧方法

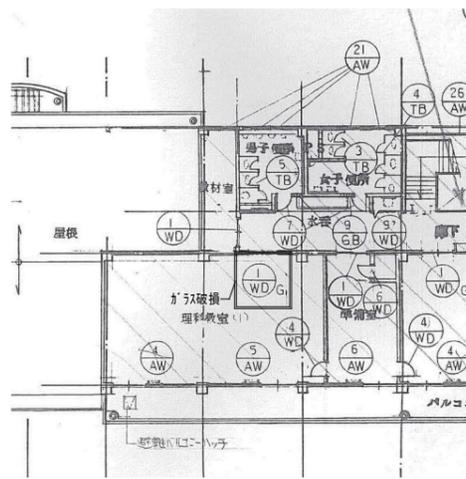
- ①クラック
ひび割れ部、I# 杉樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
- ②浮き・破損箇所
浮き・破損部撤去後、I# 杉樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装

※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

凡例

① クラックを示す。
② 浮き・破損箇所を示す。

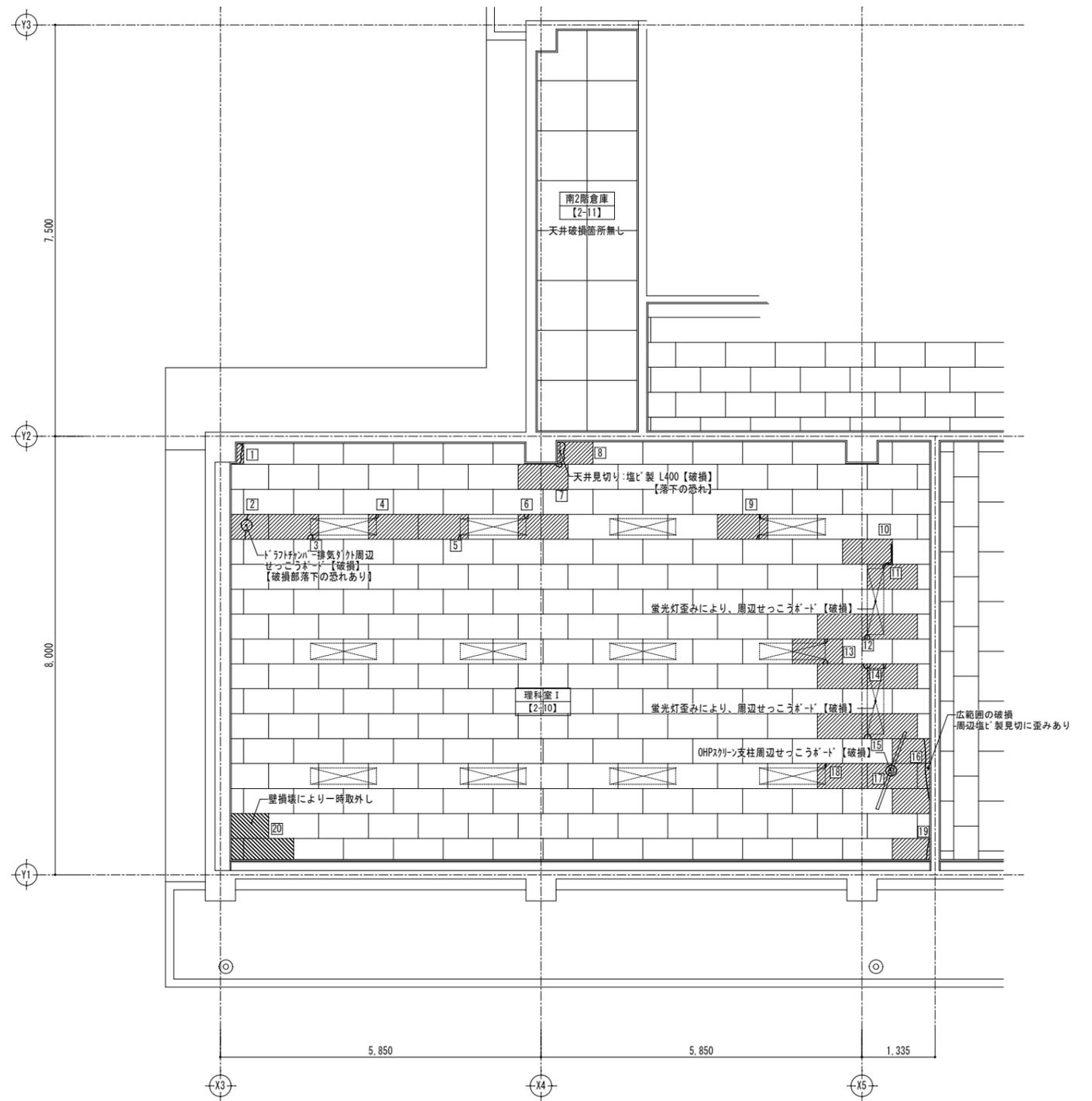
※せっこうボード・巾木の大きさは寸法参照



キープラン S=1/200

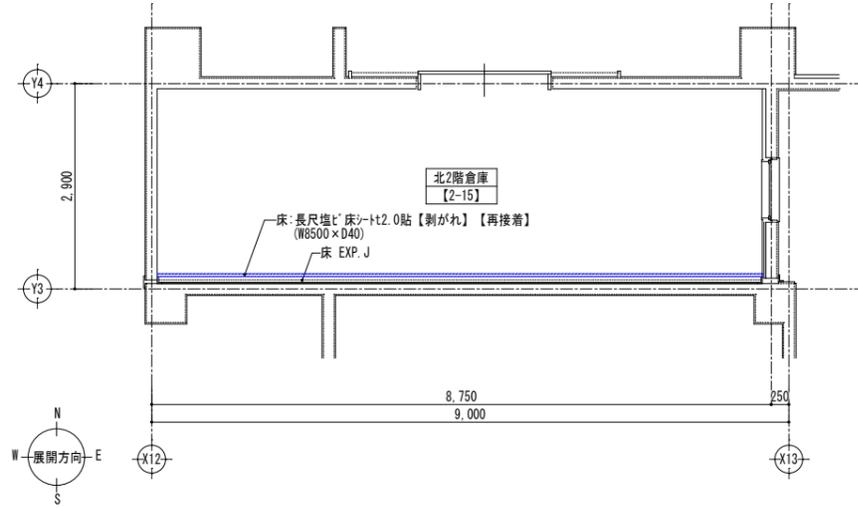
符号	個所数	1	1'
形状		WD	WD
使用ヶ所	WD-1 x 7	WD-1' x 7	WD-1' x 7
型式	技術教室準備室、調理準備室、理科教室、教科書、教科書保管庫		
仕上	引違イ合板アッシュP		
仕上	SOP		
網子	見込寸法	Φ4 壁ガラス、ガラス:Φ370-T	36
器具金物		引手、シリコン錠、戸鼻	
備考		○ _{G1} : 木製ガラス付 680x400, ○ _{G2} : 680x200 (40%)	
符号	個所数	10	

建具表 S=1/100



天井伏図 S=1/50

- 凡例
- LGS下地【既存のまま】
 - GB-Dt9【撤去、新設】【24枚】
 - LGS下地【既存のまま】
 - GB-Dt9【一時取外し、再取付】【3枚】



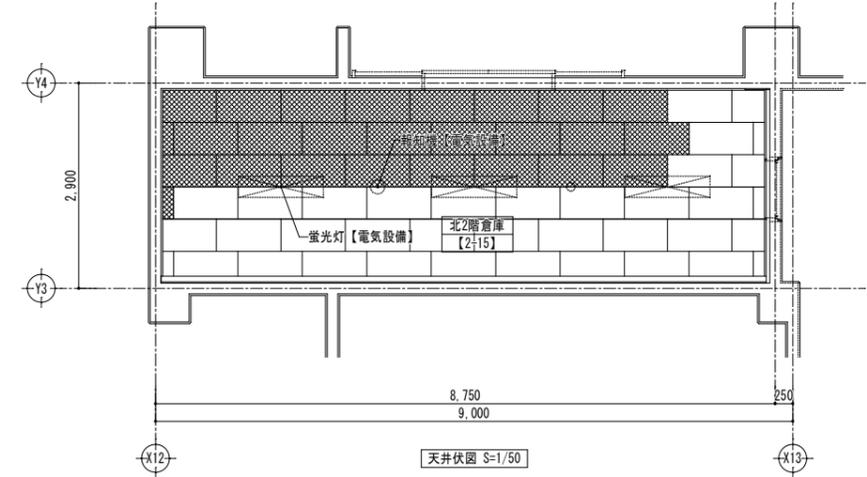
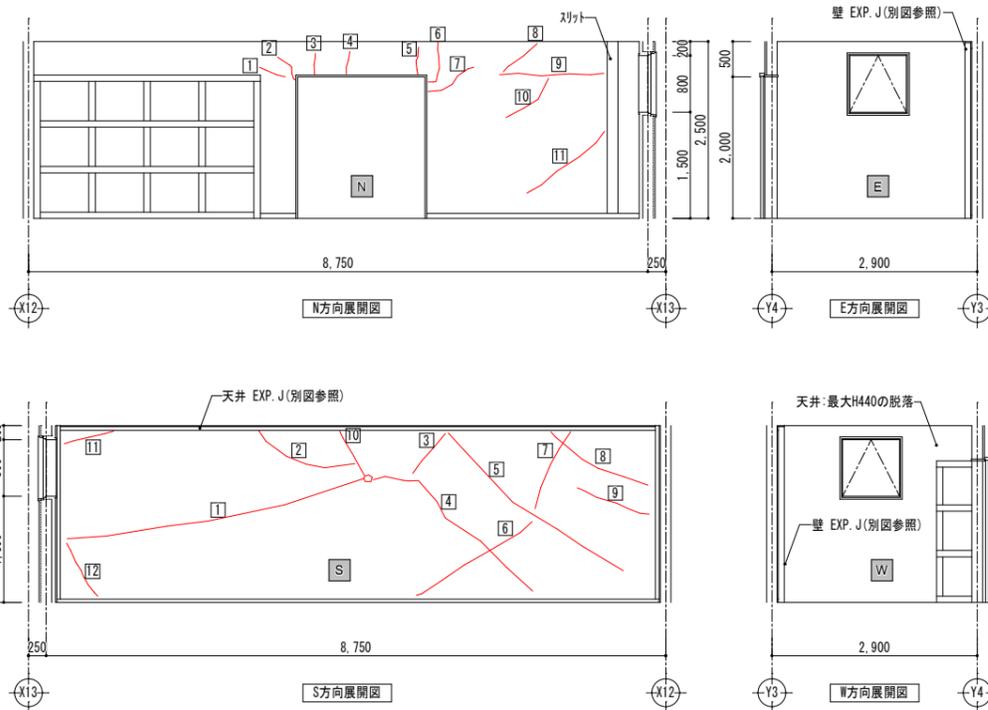
凡例

- ① クラックを示す。
 - ② 浮き・損壊箇所を示す。
- ※せっこうボード・巾木の大きさは寸法参照

復旧方法

- ① クラック
 - ひび割れ部、E* 杉樹注入後、下地調整の上、EP-G塗装
 - ② 浮き・損壊箇所
 - 浮き・欠損部撤去後、E* 杉樹樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
- ※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

室名	北2階倉庫【2-15】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼【破損部復旧】
巾木(腰)	ソフト巾木 H75【既存のまま】
壁	合板型枠コンクリート打放し AEP塗装【クラック補修・破損部復旧】 E面:シヨウトGB-Rt12.0(GL工法) AEP塗装【既存のまま】
天井	LGS下地【破損部復旧】 GB-Dt9.0【破損部復旧】
備考	EXP. J:床用【撤去・新設】

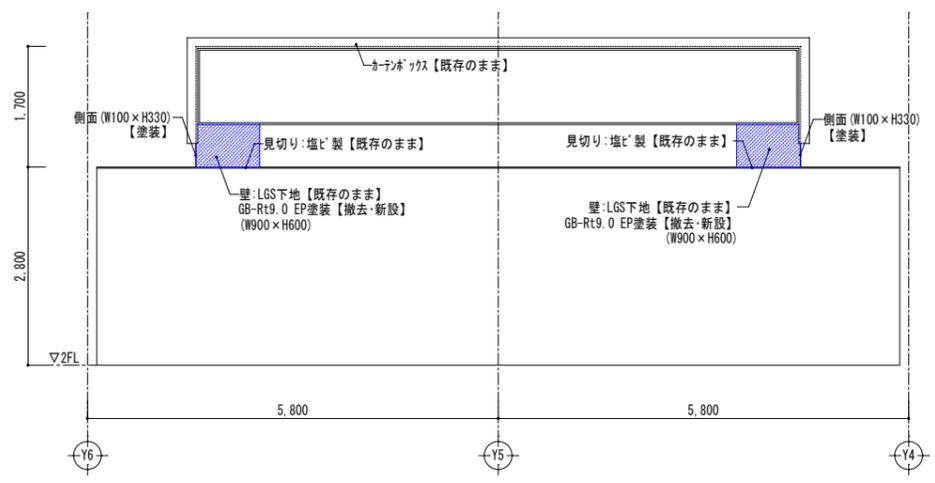
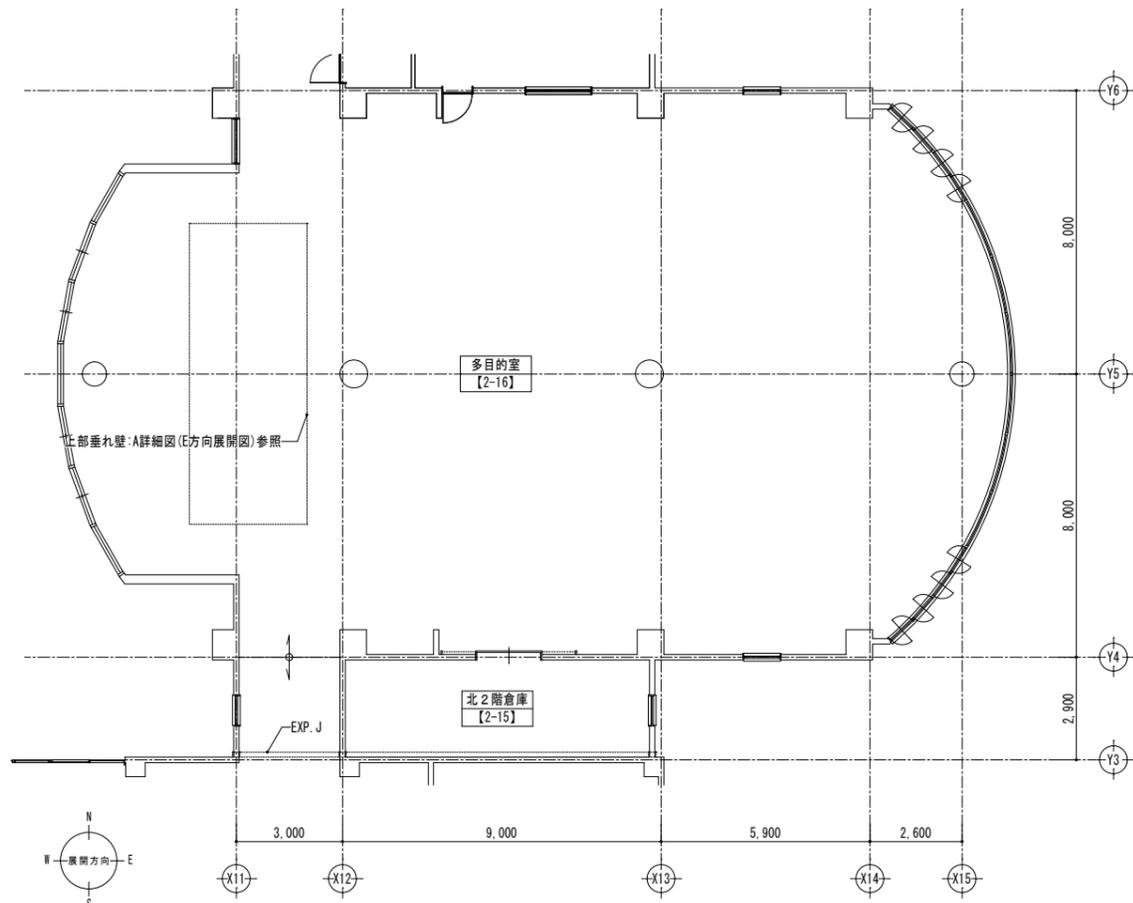


凡例

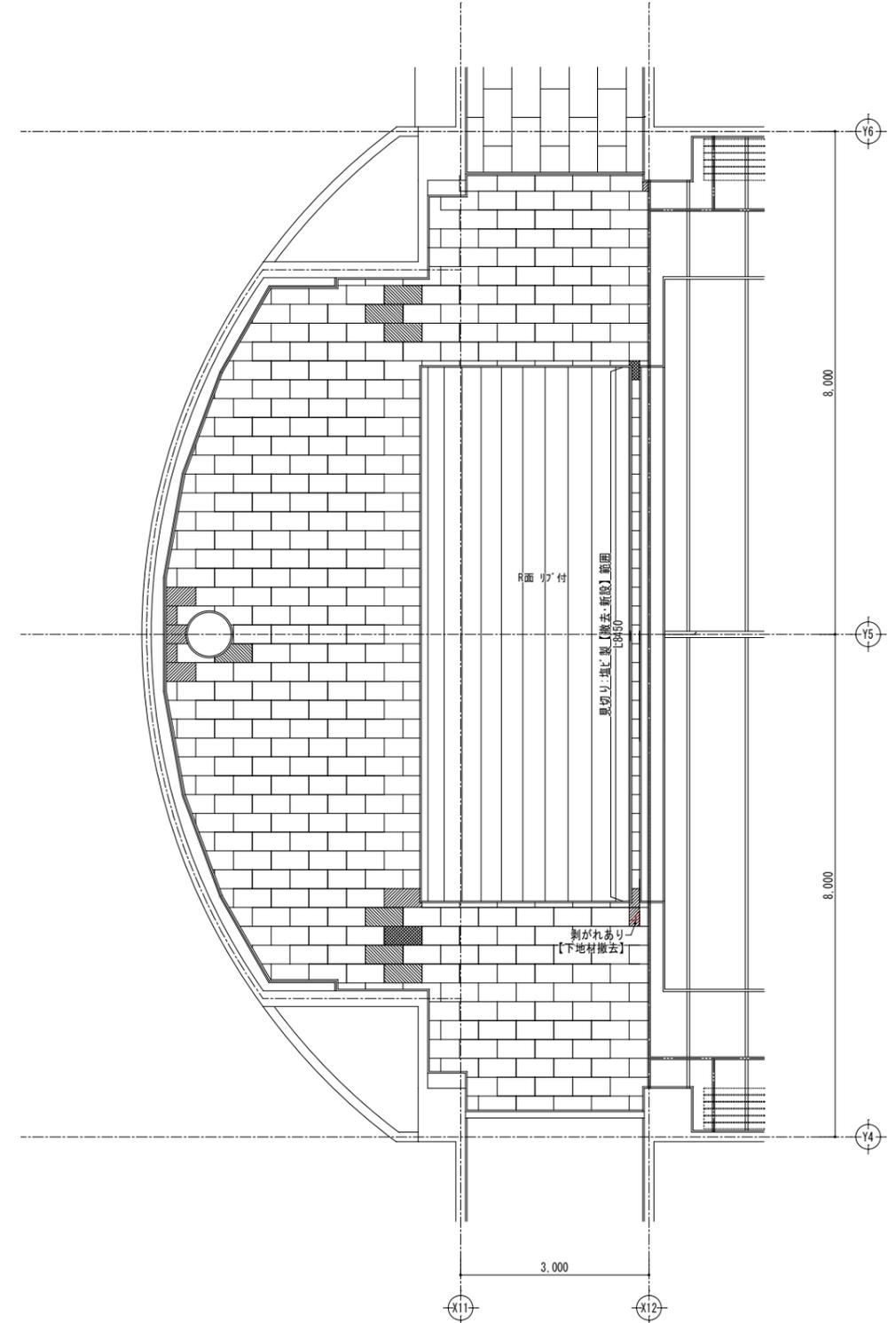
- LGS下地【撤去・新設】
- GB-Dt9【撤去・新設】
- 見切:塩ビ製【撤去・新設】

クラック・損壊リスト				
棟名	南校舎棟			
階数	2階			
室名	北2階倉庫		室番号 2-15	
クラック			浮き・損壊範囲	
壁面方位 N (北面)				
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	L 380			
2	L 350			
3	L 380			
4	L 410			
5	L 500			
6	L 580			
7	L 530			
8	L 580			
9	L 1,110			
10	L 600			
11	L 950			
計	6,370			

壁面方位 S (南面)		
記号	長さ [mm]	面積 [m2]
1	L 4,300	
2	L 1,250	
3	L 630	
4	L 3,600	
5	L 3,420	
6	L 2,600	
7	L 1,110	
8	L 1,530	
9	L 910	
10	L 620	
11	L 600	
12	L 1,160	
計	21,730	
総合計	28,100	



A詳細図:垂れ壁E方向展開図 S=1/50

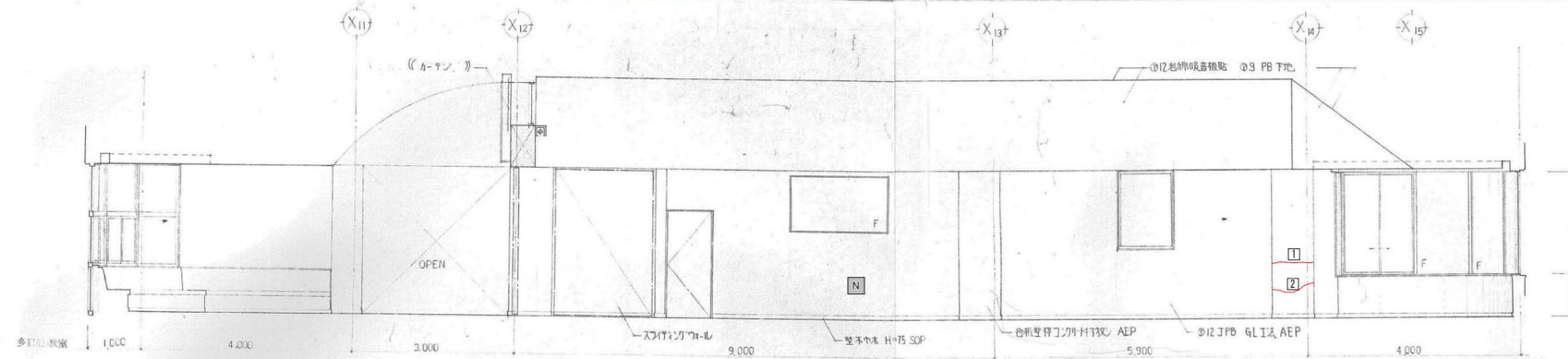


- 凡例
- GB-Dt9下地【既存のまま】
 - 岩綿吸音板t=12.0【撤去・新設】
 - 岩綿吸音板t=12.0【増し締め】
 - GB-Dt9下地【新設のみ】
- ※702ハッチ部は、現況が剥がれ落ちている為、撤去不要とする。

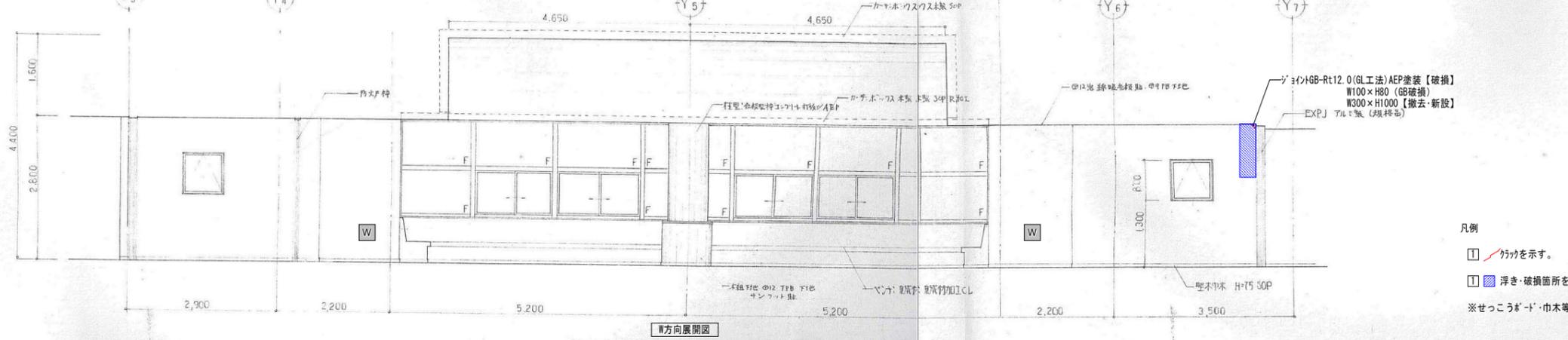
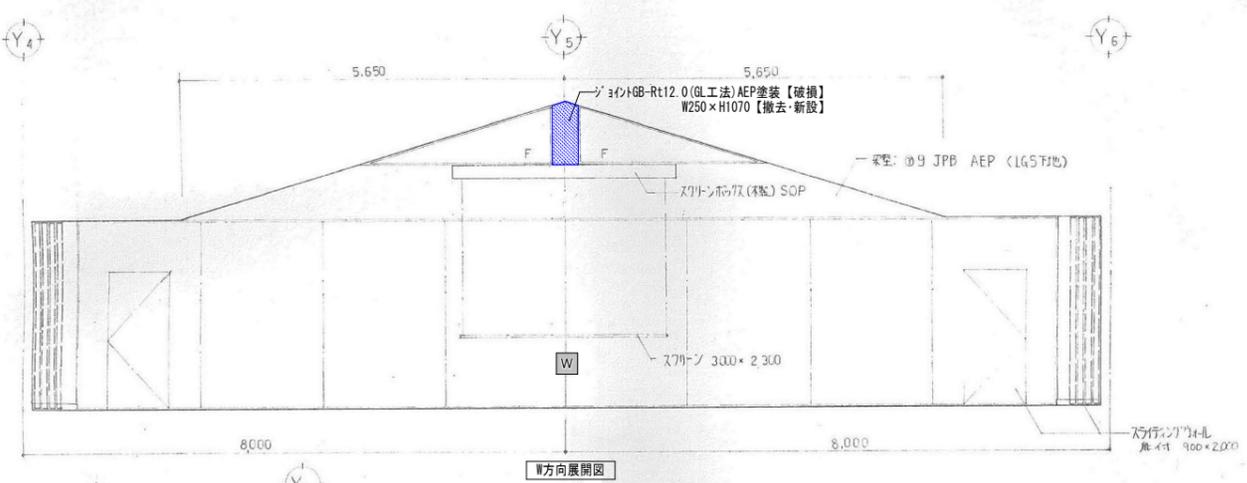
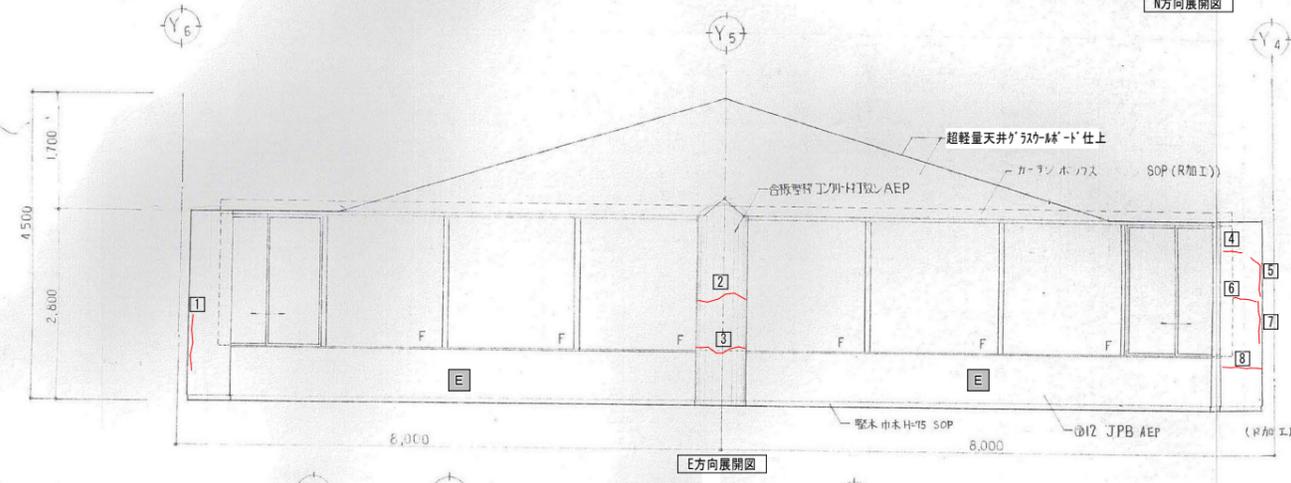
令和3年2月13日
 福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名 南校舎棟 多目的室復旧図(1)【2-16】
 縮尺 S=1:100.50(A3版 50%縮小)

図面種別	A
図面番号	57



室名	多目的室 [2-16]	
床	長尺塩ビ床シート2.0貼	【既存のまま】
巾木(腰)	壁木巾木 SOP H75	【既存のまま】
壁	柱型・N面・S面一部・合板型枠コンクリート打放し AEP塗装 【クラック補修・破損部復旧】	
	N面一部・E面・N面一部: ジョイントGB-Rt12.0 (GL工法) AEP塗装	【既存のまま】
天井	LGS下地	【破損部復旧】
	GB-Dt9.0	【既存のまま】
備考	EXP. J	【撤去・新設】



クラック・破損リスト				
棟名	南校舎棟			
階数	2階			
室名	多目的室	室番号	2-16	
クラック	浮き・破損範囲			
壁面方位 N (北面)				
記号	長さ [mm]	記号	長さ [mm]	面積 [m2]
①	L 780			
②	L 800			
計	1,580			
壁面方位 E (東面)				
①	L 470			
②	L 760			
③	L 730			
④	L 250			
⑤	L 430			
⑥	L 350			
⑦	L 400			
⑧	L 470			
計	3,860			
壁面方位 S (南面)				
①	L 680			
②	L 300			
③	L 300			
④	L 100			
計	1,380			
総合計	6,820			

凡例

- ① クラック
- ② 浮き・破損箇所

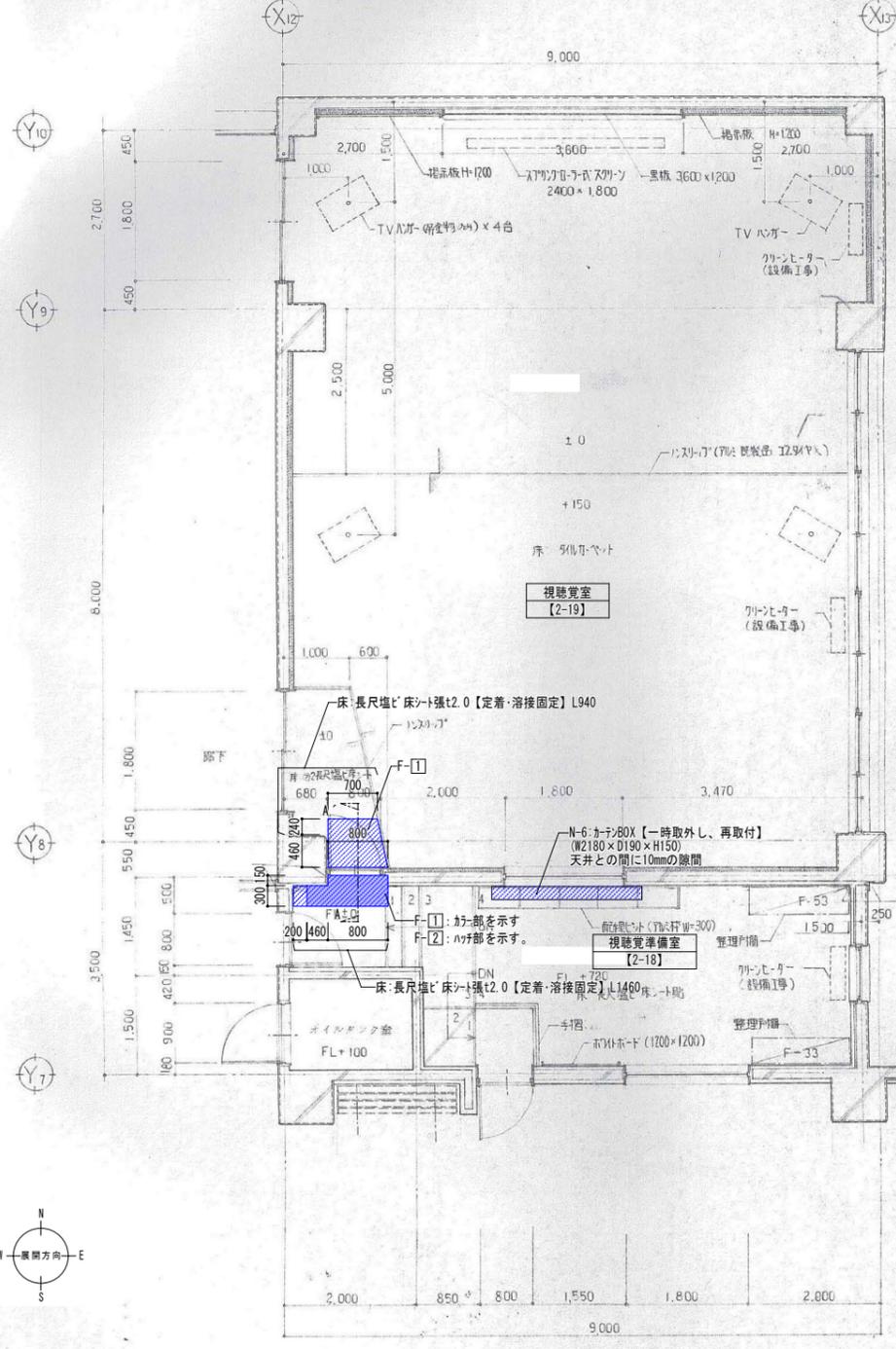
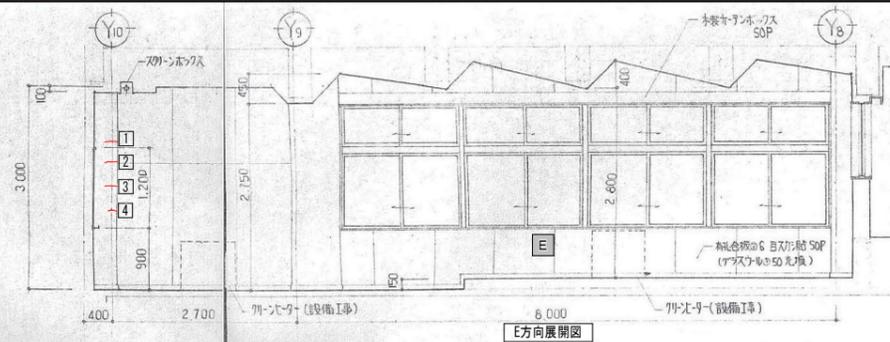
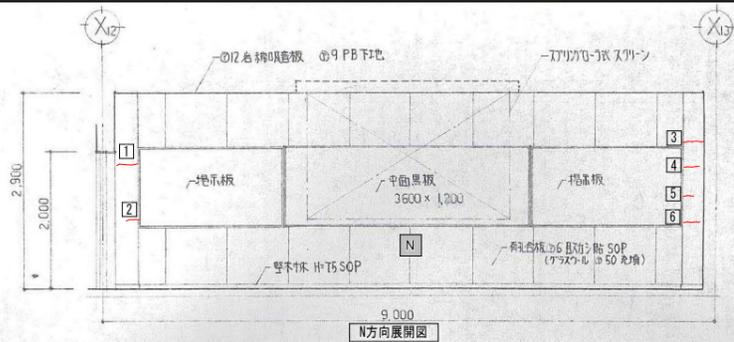
※せっこうボード・巾木等の大きさは寸法参照

復旧方法	
① クラック	ひび割れ部、I ^h 杉樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
② 浮き・破損箇所	浮き・破損部撤去後、I ^h 杉樹脂注入を充填後、下地調整の上、EP-G塗装
	※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
	※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

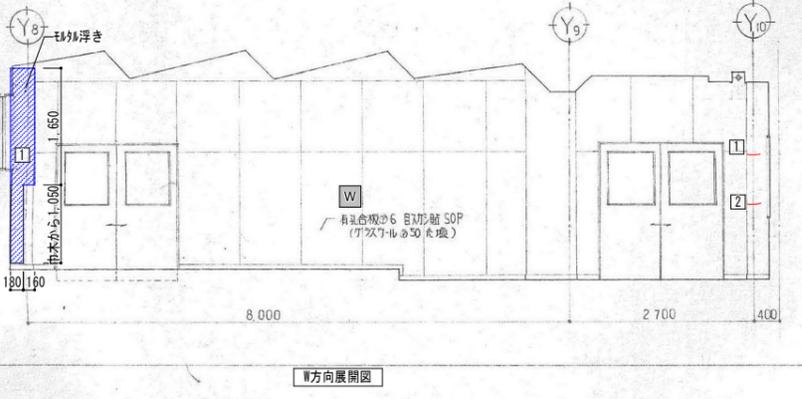
令和3年2月13日
福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名	南校舎棟 多目的室復旧図(2) [2-16]	図面種別	A
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号	58

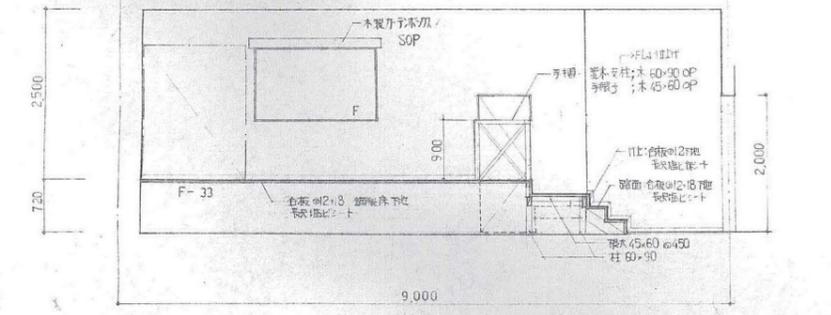
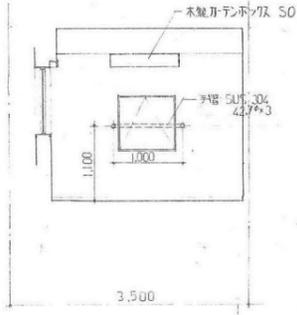
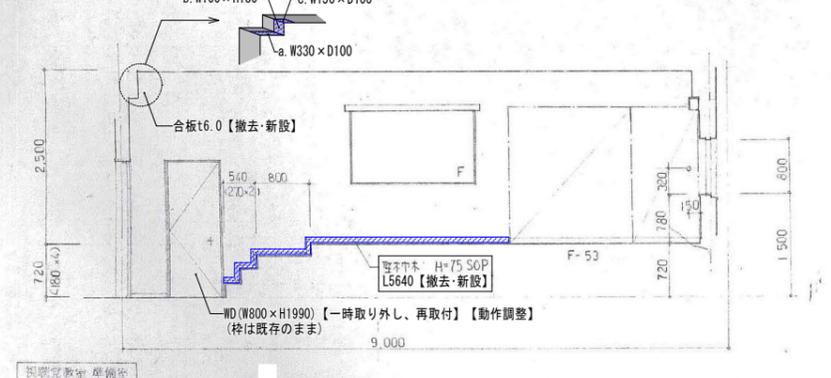
室名	視聴覚室【2-19】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼【破損部復旧】 (鋼製床下地、一部塩ビ下地)
中木(腰)	堅木中木 SOP H75【破損部復旧】
壁	有孔合板t6.0 SOP塗装(7'52'-t50充填)【破損部復旧】
天井	LGS下地【既存のまま】 GB-Rt9.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼【既存のまま】
備考	



クワック破損リスト			
棟名	南校舎棟		
階数	2階		
室名	視聴覚室	室番号	2-19
クワック 浮き・破損範囲			
壁面方位 N (北面)			
記号	長さ(mm)	記号	長さ(mm)
1	L 200		
2	L 100		
3	L 500		
4	L 300		
5	L 100		
6	L 400		
計	1,600		
壁面方位 E (東面)			
1	L 100		
2	L 100		
3	L 100		
4	L 50		
計	350		
壁面方位 W (西面)			
1	L 100	1	寸法参照 = 0.75%
2	L 100		
計	200	計	0.75%
総合計	2,150	総合計	0.80



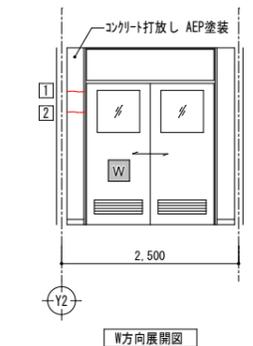
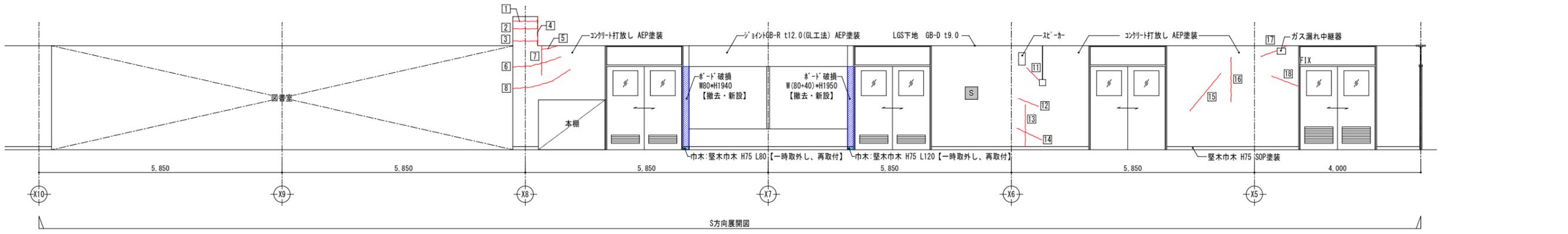
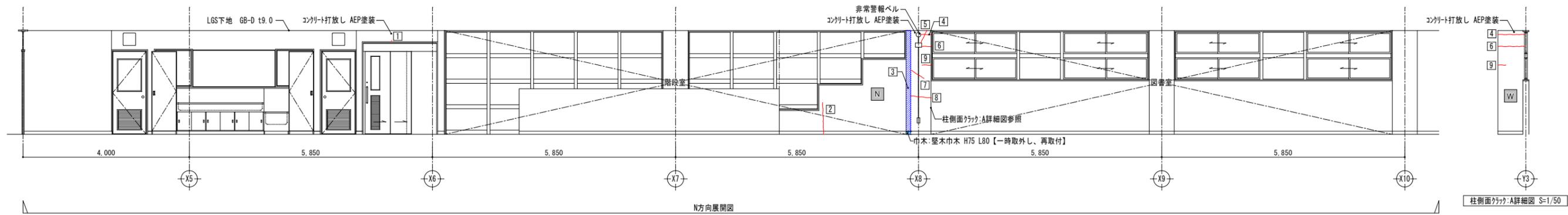
室名	視聴覚準備室【2-18】
床	長尺塩ビ床シート2.0貼【破損部復旧】 (鋼製床下地、一部塩ビ下地)
中木(腰)	堅木中木 SOP H75【破損部復旧】
壁	合板t6.0 SOP塗装(7'52'-t50充填)【破損部復旧】
天井	LGS下地【既存のまま】 GB-Rt9.0下地 岩綿吸音板t=12.0貼【既存のまま】
備考	EXP. J【一時取り外し、再取付】 建具【動作調整】



凡例	① クワックを示す。	復旧方法
	② 浮き・破損箇所を示す。	①クワック
	※せつこうボード・中木の大きさは寸法参照	ひび割れ部、埃・樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
		②浮き・破損箇所
		浮き・破損部撤去後、埃・樹脂注入を充填後、
		下地調整の上、EP-G塗装
		※EP-G塗装はクワックより両幅100mmの範囲とする。
		※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

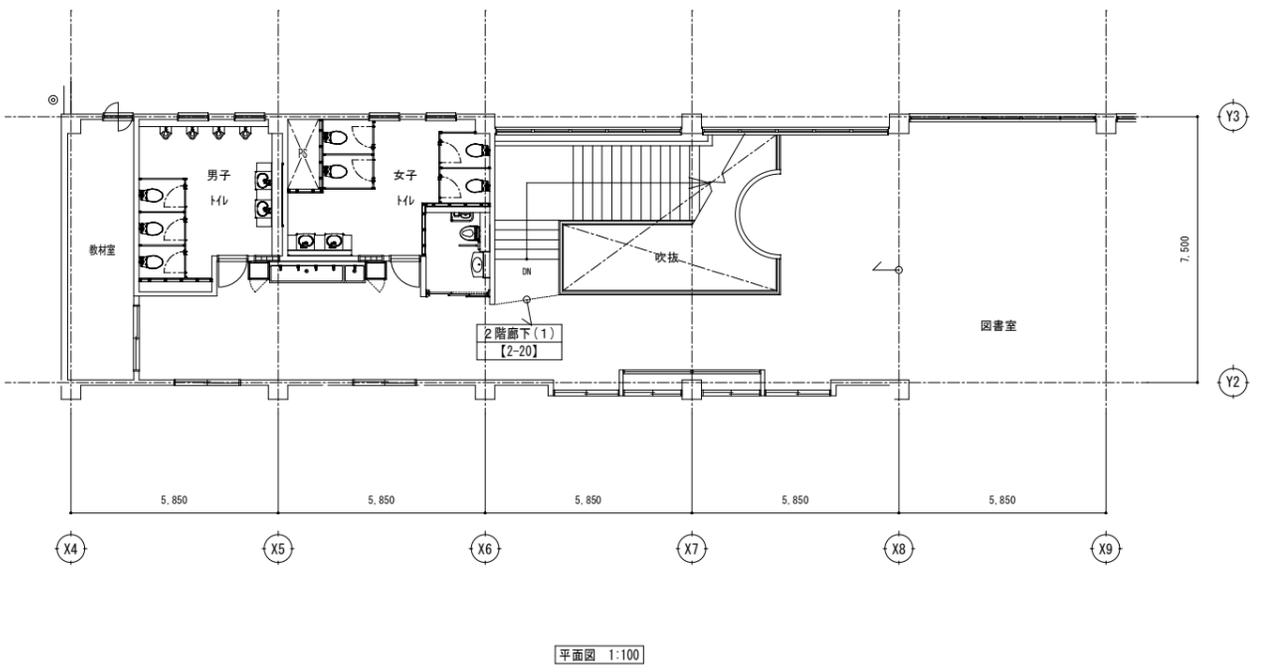
床:長尺塩ビ床シート2.0【撤去・新設】
 塩ビt40 金ゴ押し【撤去・新設】
 軽量コナリ-t120【撤去・新設】
 コナリ-t130【既存のまま】

床:長尺塩ビ床シート2.0【撤去・新設】
 塩ビt40 金ゴ押し【撤去・新設】
 軽量コナリ-t120【既存のまま】
 コナリ-t130【既存のまま】



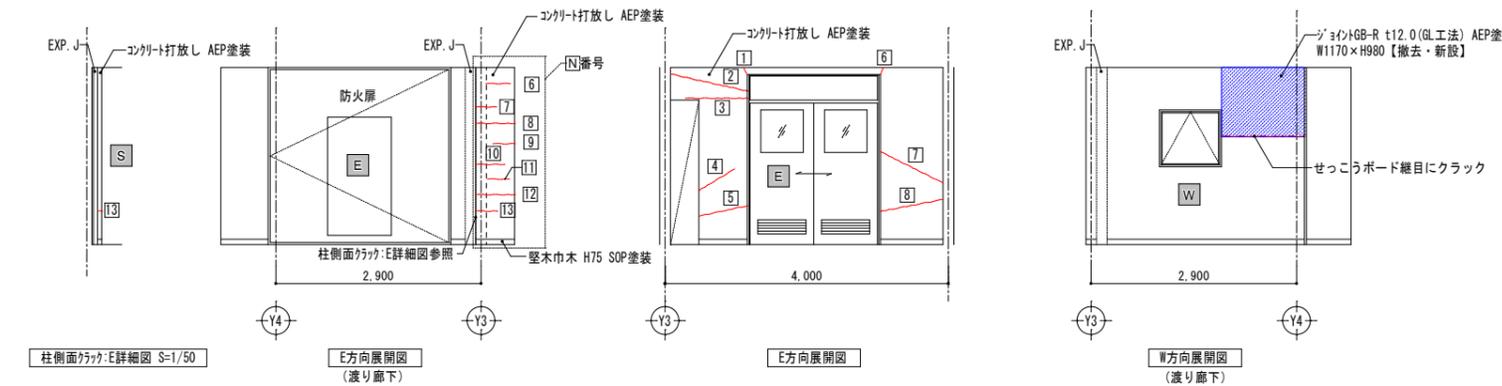
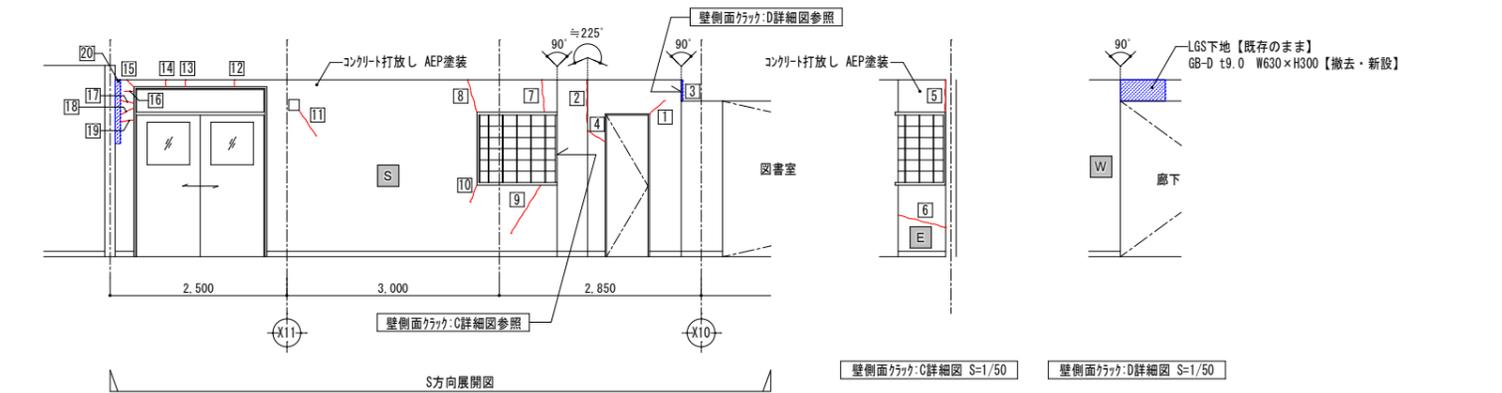
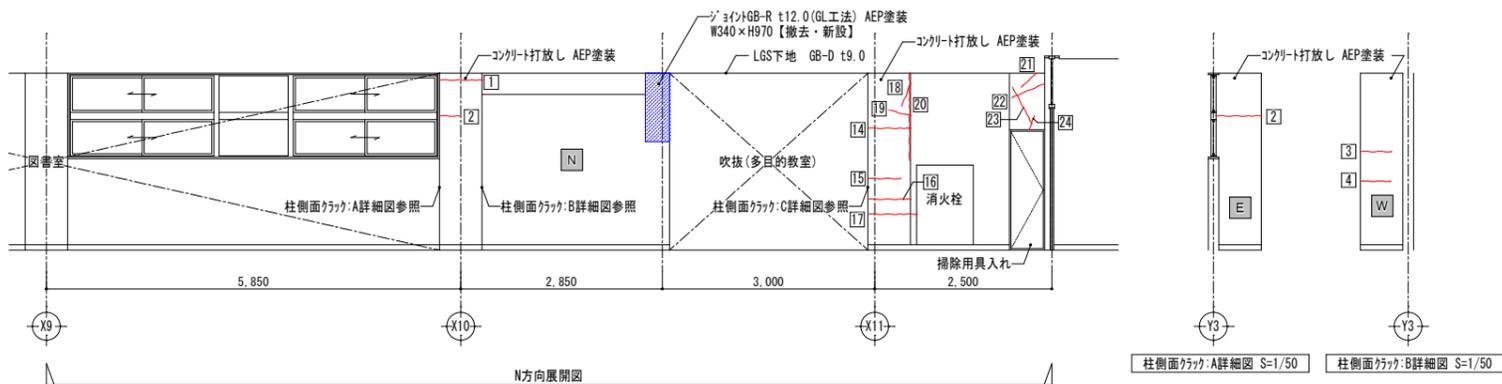
室名	2階廊下(1) [2-20]	
床	長尺塩ビ床シートt2.0貼	【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装	【一部取外し、再取付】
壁	ジョイントGB-R t12.0 (GL工法) AEP塗装	【破損部復旧】
	コンクリート打放し AEP塗装	【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地 GB-D t9.0	【既存のまま】
備考		【破損部復旧】

- 凡例
- ① クラックを示す。
 - ② 浮き・破損箇所を示す。
- 復旧方法
- ① クラック
 - ひび割れ部、Eポキシ樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装
 - ② 浮き・破損箇所
 - 浮き・破損部撤去後、Eポキシ樹脂モルタルを充填後、下地調整の上、EP-G塗装
 - ※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
 - ※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

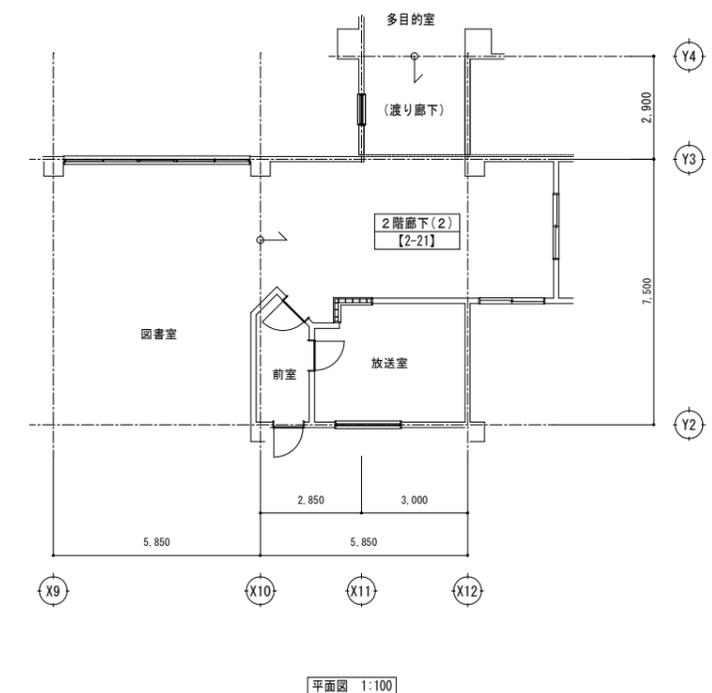


クラック・破損リスト			
棟名	南棟		
階数	2階廊下(1)		
室名	廊下		
壁面方位	W(西面)		
クラック			
記号	長さ(mm)	記号	浮き・破損範囲
1	L 220		長さ(mm) 面積[m2]
2	L 220		
小計	440		0
壁面方位 S(南面)			
クラック			
記号	長さ(mm)	記号	浮き・破損範囲
1	L 460		長さ(mm) 面積[m2]
2	L 460		
3	L 460		
4	L 840		
5	L 500		
6	L 950		
7	L 490		
8	L 1,360		
小計	10,270		0
壁面方位 N(北面)			
クラック			
記号	長さ(mm)	記号	浮き・破損範囲
1	L 40		長さ(mm) 面積[m2]
2	L 750		
3	W 110 × H 2,500		= 0.275
4	L 620		
5	L 350		
6	L 610		
7	L 400		
8	L 500		
9	L 340		
小計	3,610		0.275
合計	14,320		0.28





クラック・破損リスト				壁面方位 N(北面)		浮き・破損範囲		
棟名	南棟	クラック		記号	長さ(mm)	記号	長さ(mm)	面積[m2]
階数	2階			1	L 590			
室名	廊下(2)			2	L 730			
壁面方位	E(東面)			3	L 220			
		クラック		4	L 300			
記号	長さ(mm)	記号	長さ(mm)	面積[m2]		5		欠番
1	L 110							
2	L 980			6	L 190			
3	L 770			7	L 250			
4	L 450			8	L 600			
5	L 560			9	L 410			
6	L 90			10	L 400			
7	L 810			11	L 200			
8	L 1,010			12	L 140			
小計	4,780			13	L 300			
壁面方位 W(西面)		クラック		14	L 590			
記号	長さ(mm)	記号	長さ(mm)	面積[m2]		15		欠番
1	L 530							
小計	0			16	L 370			
壁面方位 S(南面)		クラック		17	L 530			
記号	長さ(mm)	記号	長さ(mm)	面積[m2]		18		L 170
1	L 110							
2	L 620			19	L 340			
3	L 290			20	L 1,450			
4	L 740			21	L 300			
5	L 550			22	L 410			
6	L 550			23	L 500			
7	L 730			24	L 200			
8	L 750			合計	9,480			0
9	L 500			合計	20,280			0.06
10	L 190							
11	L 320							
12	L 100							
13	L 100							
14	L 100							
15	L 110							
16	L 140							
17	L 220							
18	L 280							
19	L 170							
20	W 70 × H 910							0.0637
小計	6,020							0.0637



凡例

① クラックを示す。
 ② 浮き・破損箇所を示す。

復旧方法

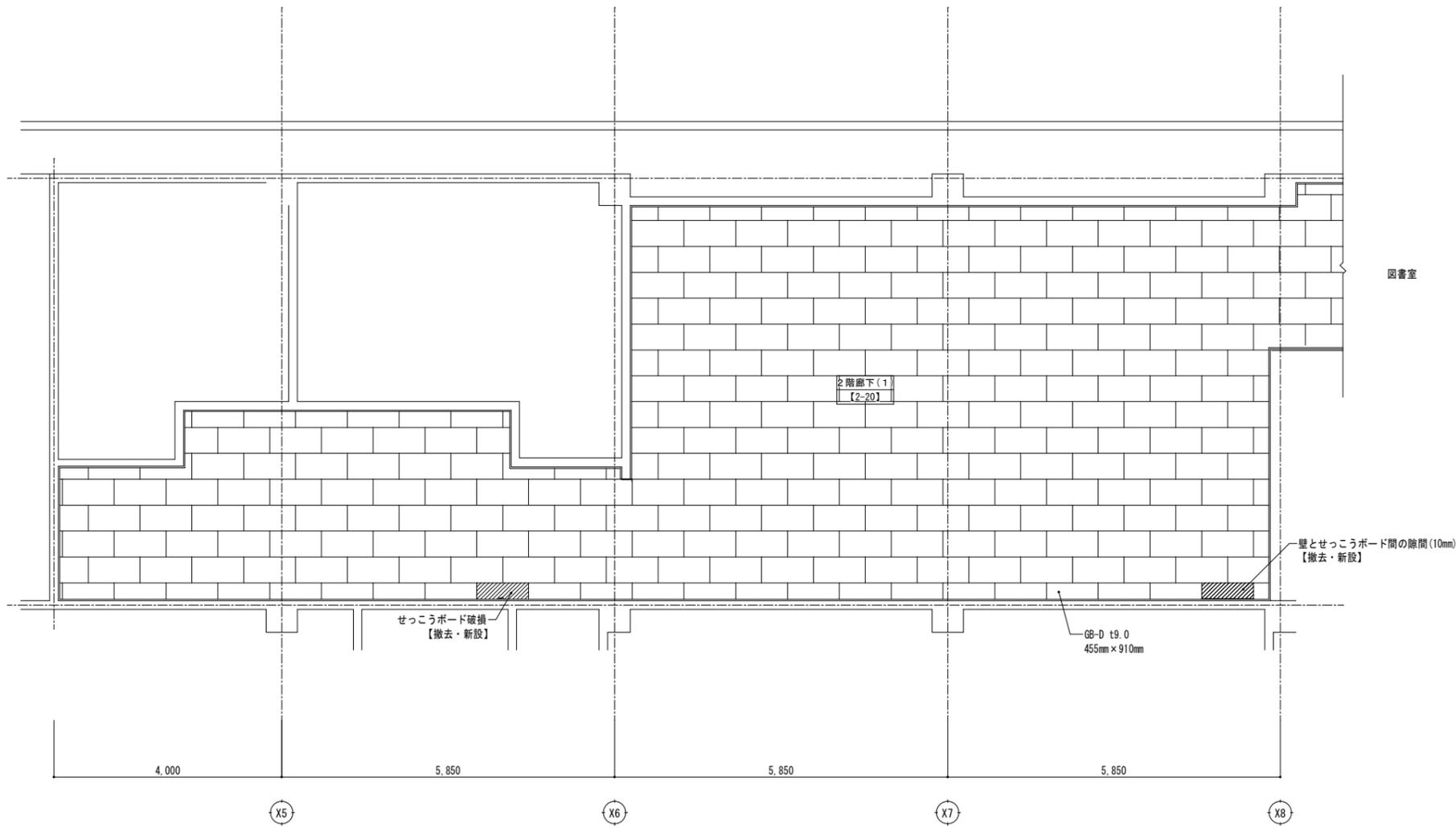
① クラック
 ひび割れ部、珪矽樹脂注入後、下地調整の上、EP-G塗装

② 浮き・破損箇所
 浮き・破損部撤去後、珪矽樹脂を充填後、下地調整の上、EP-G塗装

※EP-G塗装はクラックより両幅100mmの範囲とする。
 ※特記がない限り、上記の復旧方法とする。

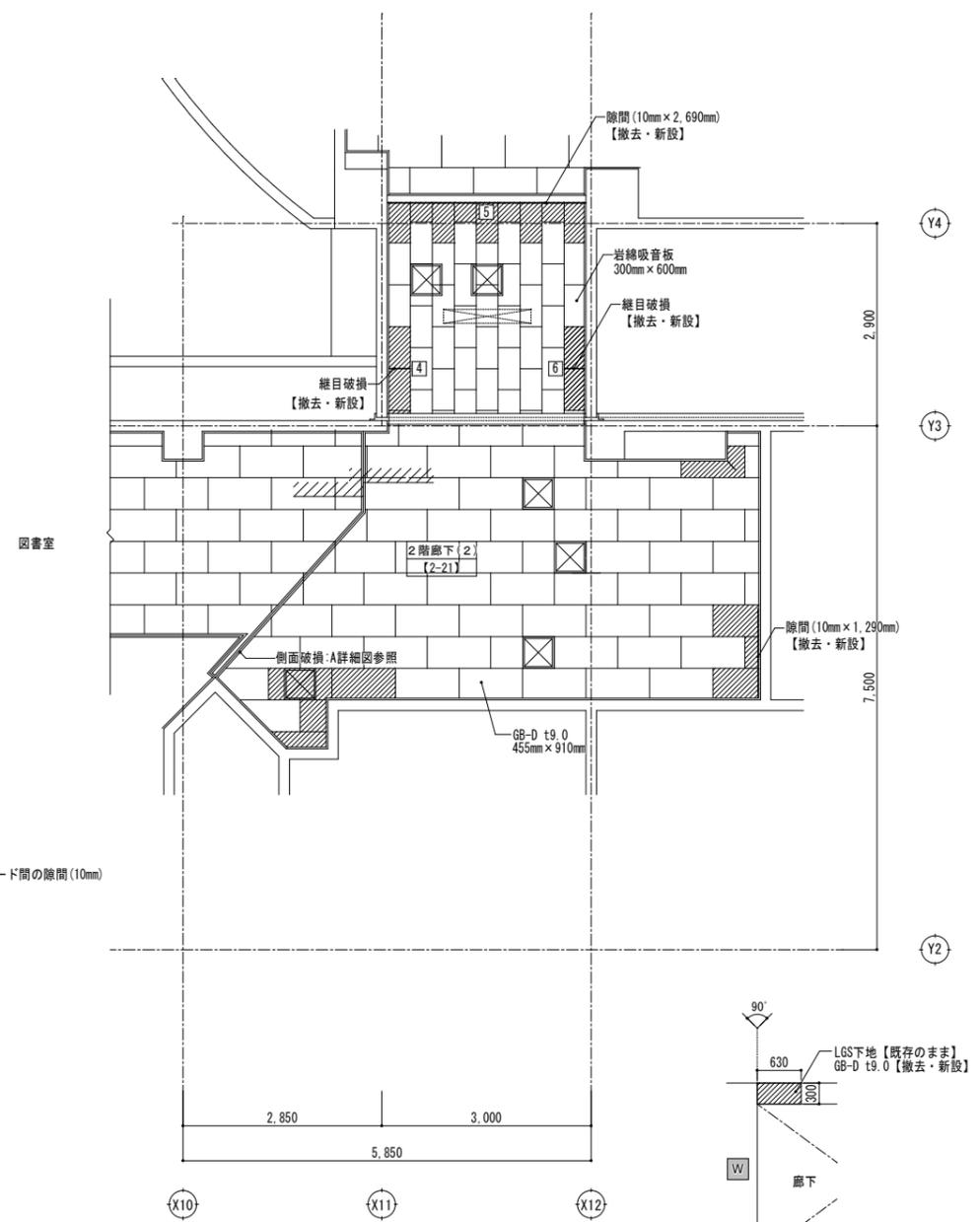
室名	2階廊下(2) [2-21]	
床	長尺塩ビ床シート貼	【既存のまま】
巾木(腰)	堅木巾木 H75 SOP塗装	【既存のまま】
壁	ジョイントGB-R t12.0(GL工法) AEP塗装	【破損部復旧】
	コンクリート打放し AEP塗装	【クラック補修・破損部復旧】
天井	LGS下地 GB-D t9.0	【既存のまま】
		【破損部復旧】
備考		





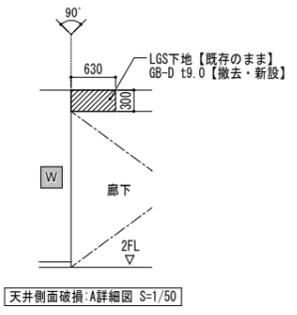
2階 廊下(1) 天井伏図 S=1/50

凡例
 LGS下地【既存のまま】
 GB-D t9.0【撤去・新設】【2枚】
 見切・塩ビ製【撤去・新設】



2階 廊下(2) 天井伏図 S=1/50

凡例
 LGS下地【既存のまま】
 GB-D t9.0【撤去・新設】【8枚】
 岩綿吸音板【撤去・新設】【14枚】
 見切・塩ビ製【撤去・新設】



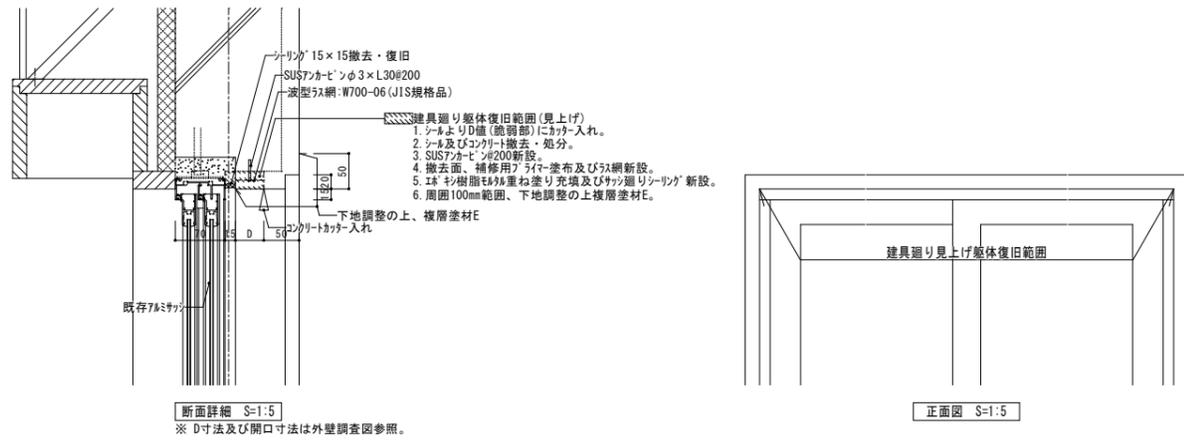
天井側面破損:A詳細図 S=1/50

令和3年2月13日
 福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

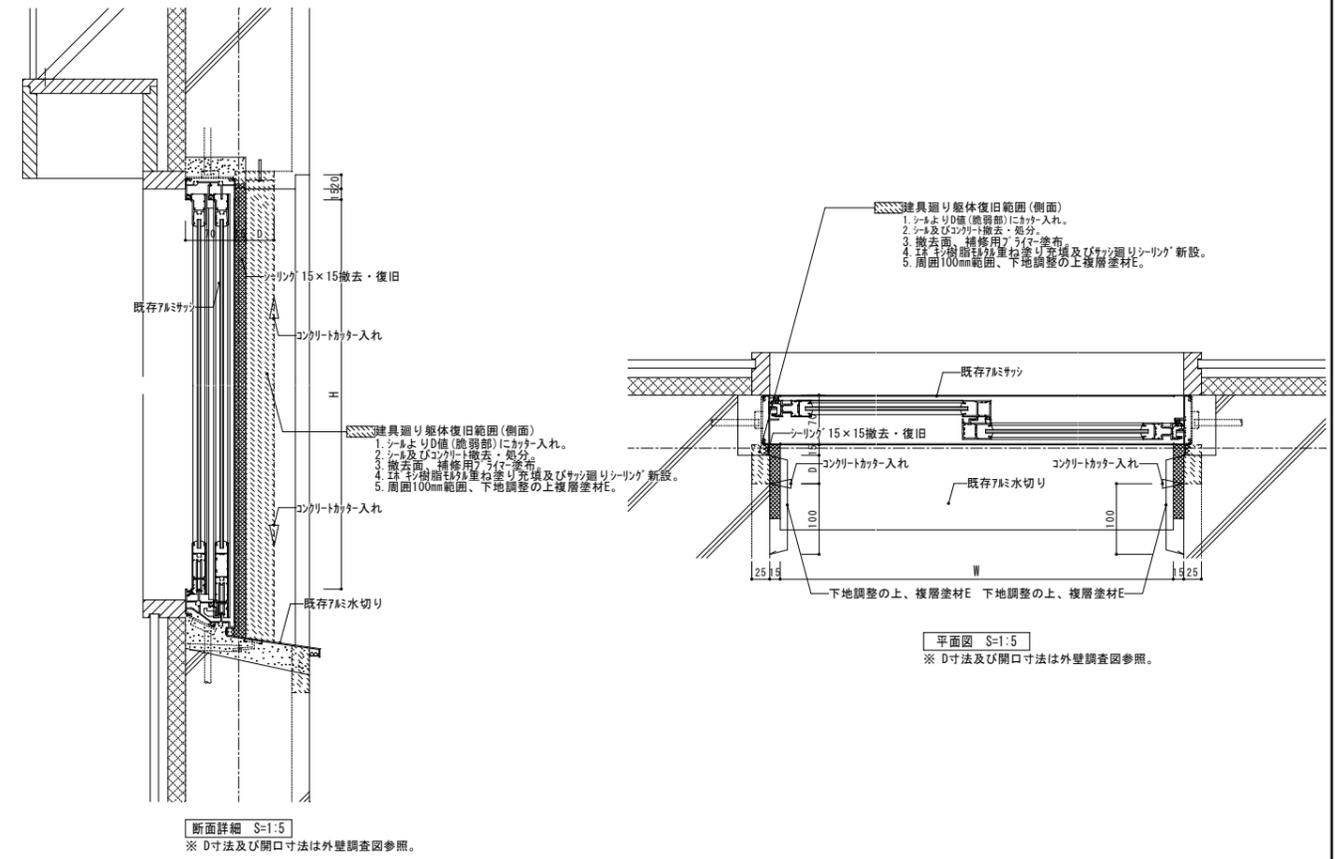
図面名 南校舎棟
 2階廊下復旧図(3)【2-20, 2-21】
 縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小)

図面種別 A
 図面番号 62

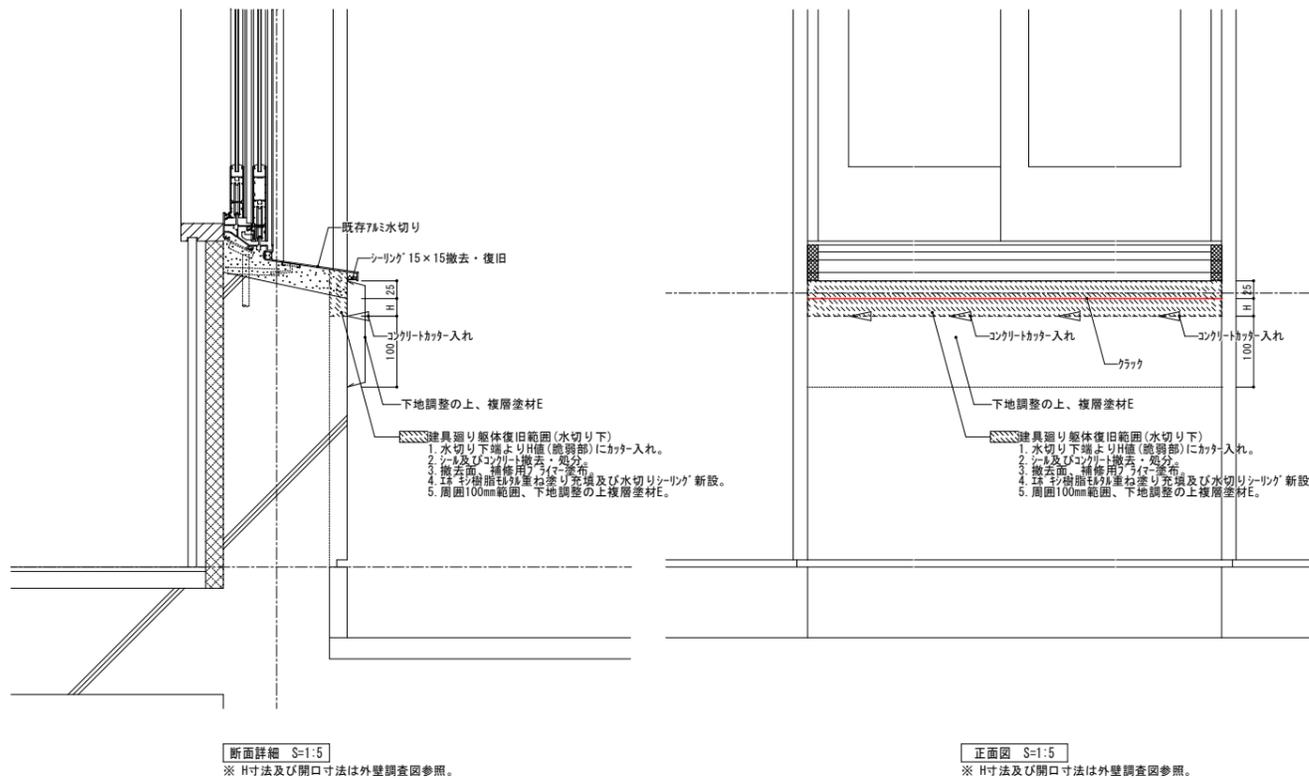
【RC-A】 建具廻り見上げ躯体復旧詳細図



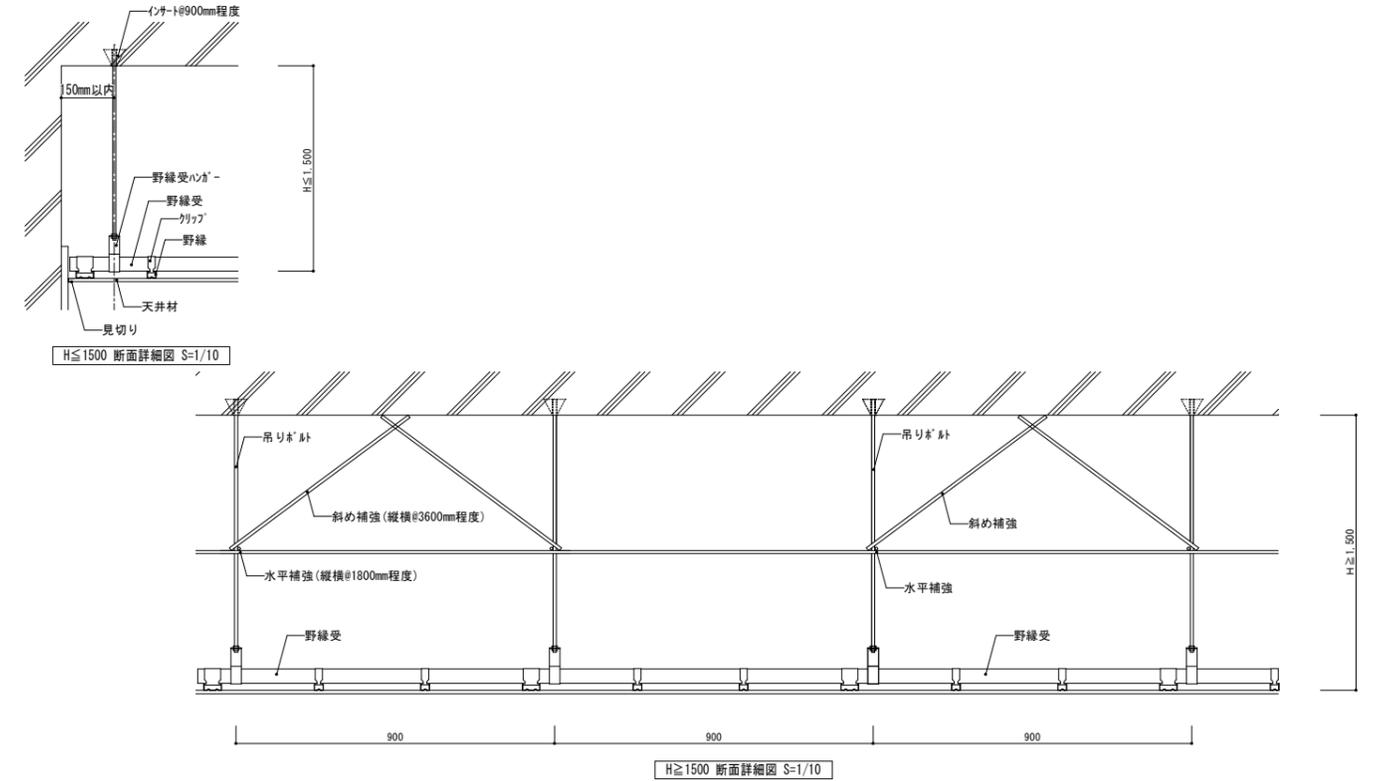
【RC-B】 建具廻り側面躯体復旧詳細図

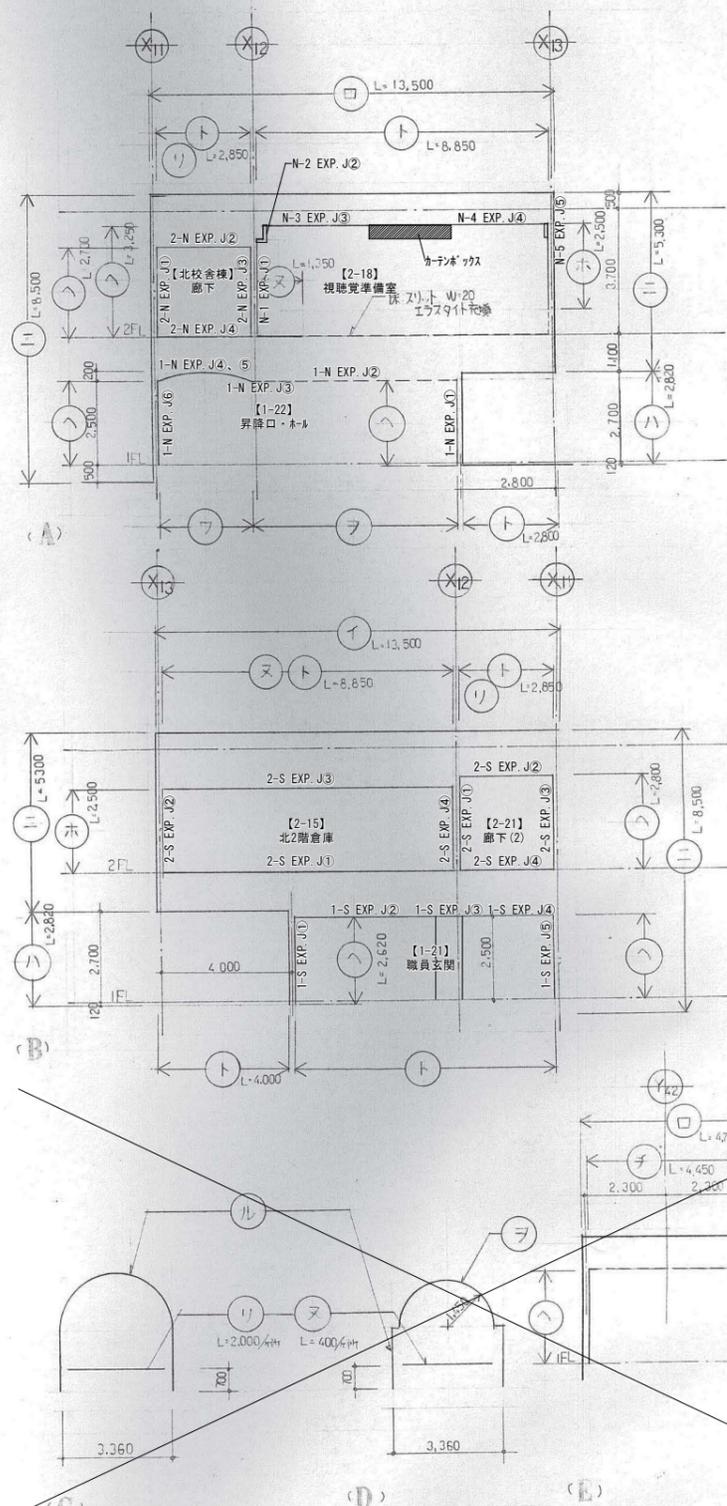
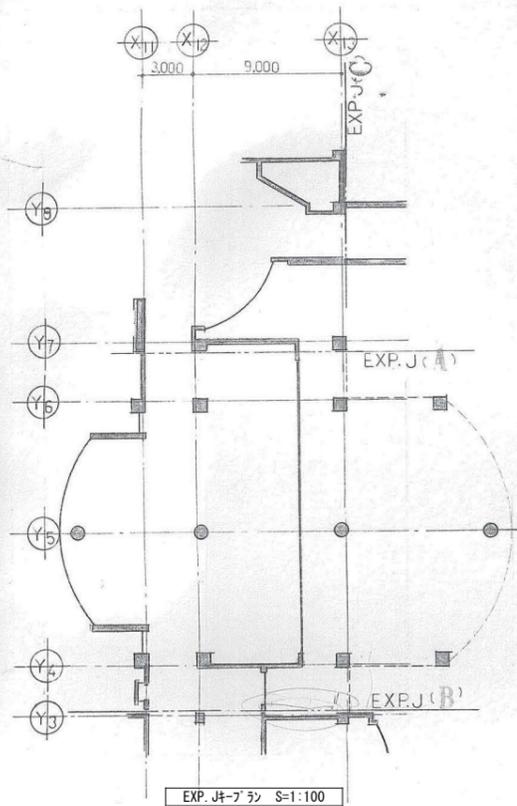


【RC-C】 建具廻り水切り下躯体復旧詳細図



天井下地補強標準図





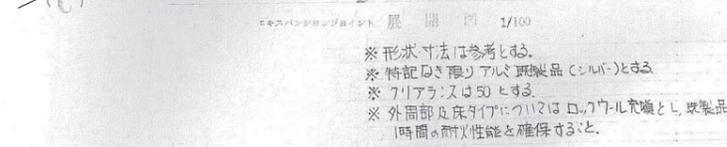
内部EXP.リスト							
階	室名	場所	符号	形状	長さ (実測値)	状況	復旧方法
1階	職員玄関	壁	1-S EXP. J.1	2,600	-	-	撤去・新設
		天井	1-S EXP. J.2	3,560	-	-	撤去・新設
		天井	1-S EXP. J.3	600	-	-	撤去・新設
		天井	1-S EXP. J.4	2,590	-	-	撤去・新設
		壁	1-S EXP. J.5	2,480	-	-	撤去・新設
		壁	1-N EXP. J.1	2,600	-	-	撤去・新設
1階	昇降口・ホ-ル	天井	1-N EXP. J.2	5,380	垂み	-	撤去・新設
		天井	1-N EXP. J.3	740	脱落・変形	-	撤去・新設
		天井	1-N EXP. J.4, 5	2,860	脱落	-	撤去・新設
		壁	1-N EXP. J.6	2,580	脱落	-	撤去・新設
		壁	2-S EXP. J.1	8,500	脱落	-	撤去・新設
		壁	2-S EXP. J.2	2,700	-	-	撤去・新設
2階	北2階倉庫	天井	2-S EXP. J.3	8,500	-	-	撤去・新設
		天井	2-S EXP. J.4	2,690	-	-	撤去・新設
		壁	2-S EXP. J.1	2,780	-	-	撤去・新設
		壁	2-S EXP. J.2	2,660	脱落・変形	-	撤去・新設
		壁	2-S EXP. J.3	2,770	脱落・変形	-	撤去・新設
		壁	2-S EXP. J.4	2,660	-	-	撤去・新設
2階	廊下(2)	壁	1-S EXP. J.1	2,730	-	-	撤去・新設
		壁	N-2 EXP. J.2	630	脱落・変形	-	撤去・新設
		天井	N-3 EXP. J.3	2,990	脱落・変形	-	撤去・新設
		天井	N-4 EXP. J.4	2,750	-	-	撤去・新設
		壁	N-5 EXP. J.5	140	脱落	-	撤去・新設
		壁	2-N EXP. J.1	2,670	変形	-	撤去・新設
2階	視聴覚準備室	壁	2-N EXP. J.2	2,710	脱落・変形	-	撤去・新設
		天井	2-N EXP. J.3	2,690	変形・変形	-	撤去・新設
		天井	2-N EXP. J.4	2,710	-	-	撤去・新設
		壁	2-N EXP. J.1	2,670	-	-	撤去・新設
		壁	2-N EXP. J.2	2,710	-	-	撤去・新設
		壁	2-N EXP. J.3	2,690	-	-	撤去・新設
2階	【北校舎棟】廊下	壁	2-N EXP. J.1	2,670	-	-	撤去・新設
		壁	2-N EXP. J.2	2,710	-	-	撤去・新設
		壁	2-N EXP. J.3	2,690	-	-	撤去・新設
		壁	2-N EXP. J.4	2,710	-	-	撤去・新設
		壁	2-N EXP. J.1	2,670	-	-	撤去・新設
		壁	2-N EXP. J.2	2,710	-	-	撤去・新設

改修特記事項 (外部・内部共通)

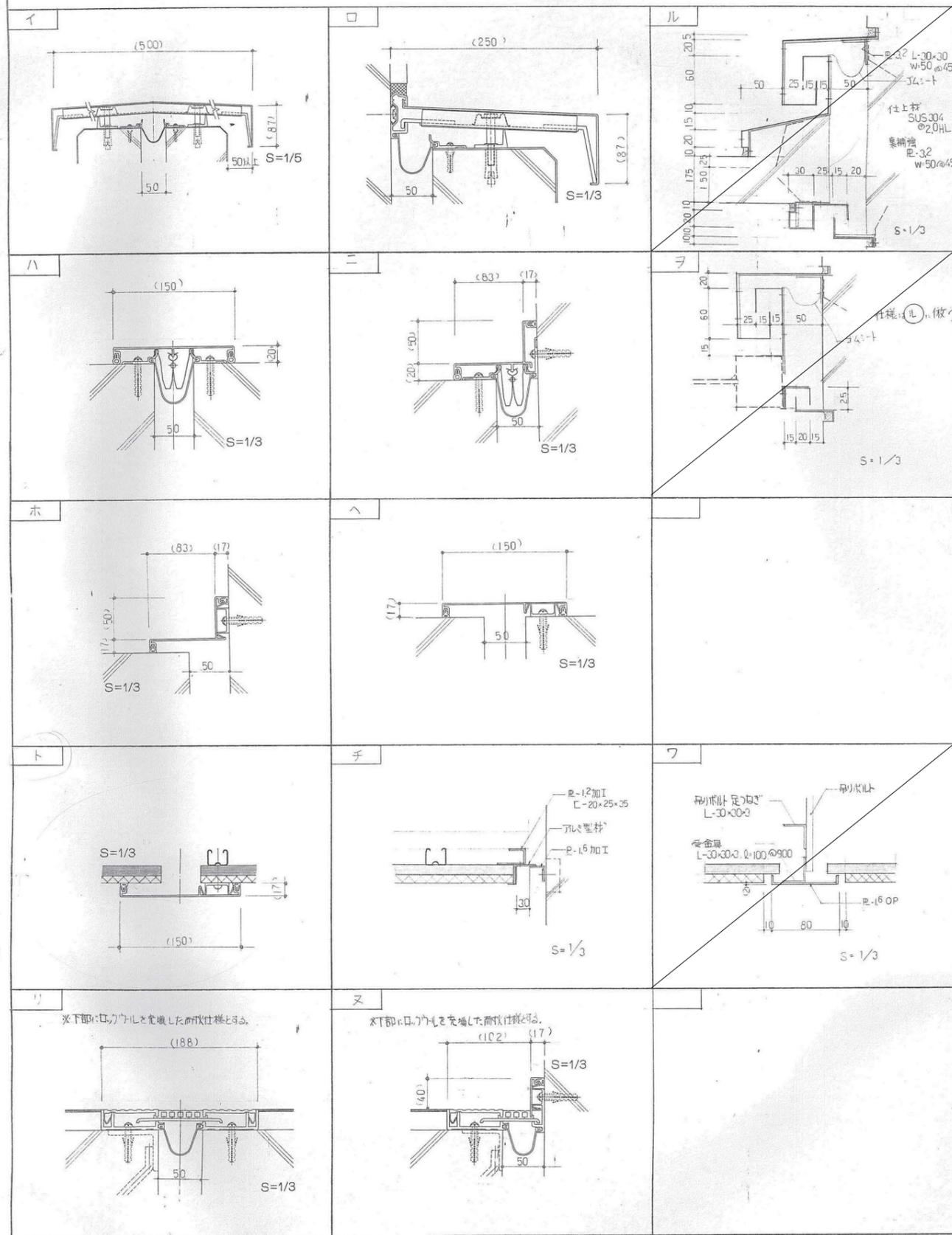
1. 現地調査により、各状況は表記の通り。
2. 外観上問題ないものも、取り外すと、再設置が出来ない。
3. 製品が古く、規格・寸法が合わず、部品等が無い部分復旧は困難。
4. 1~3により、撤去新設とする。
5. 復旧工事にあたり、現況を良く調査すること。

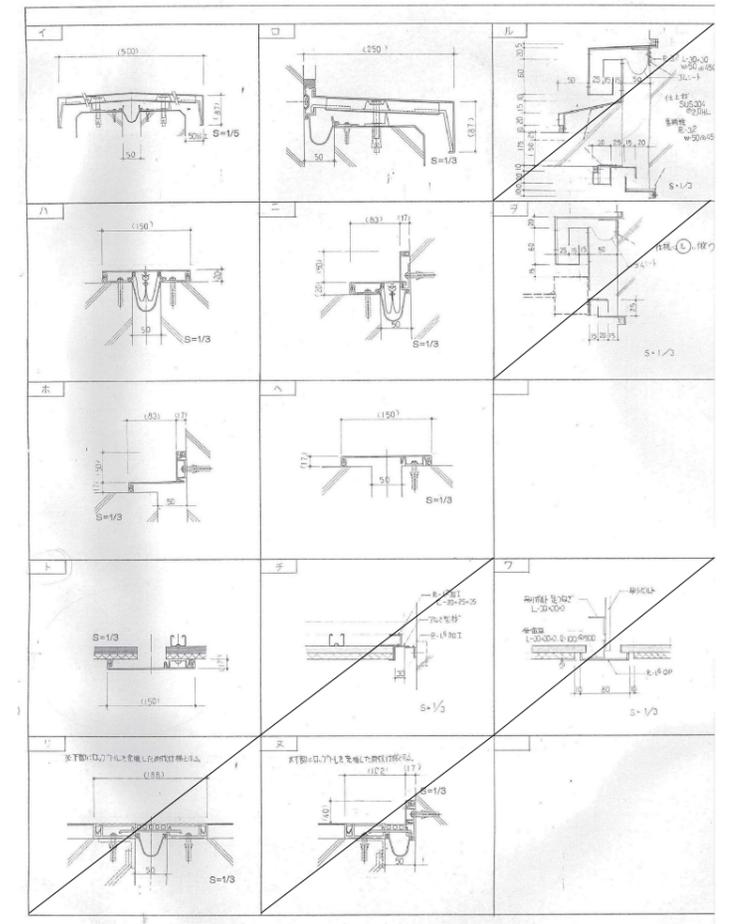
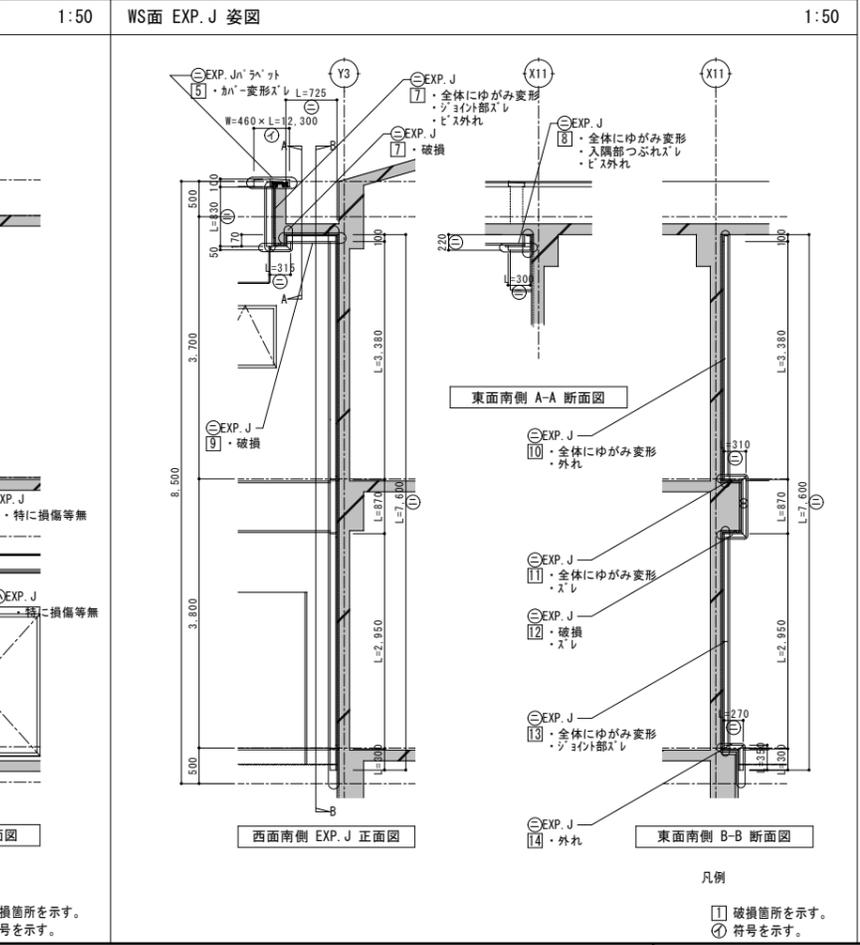
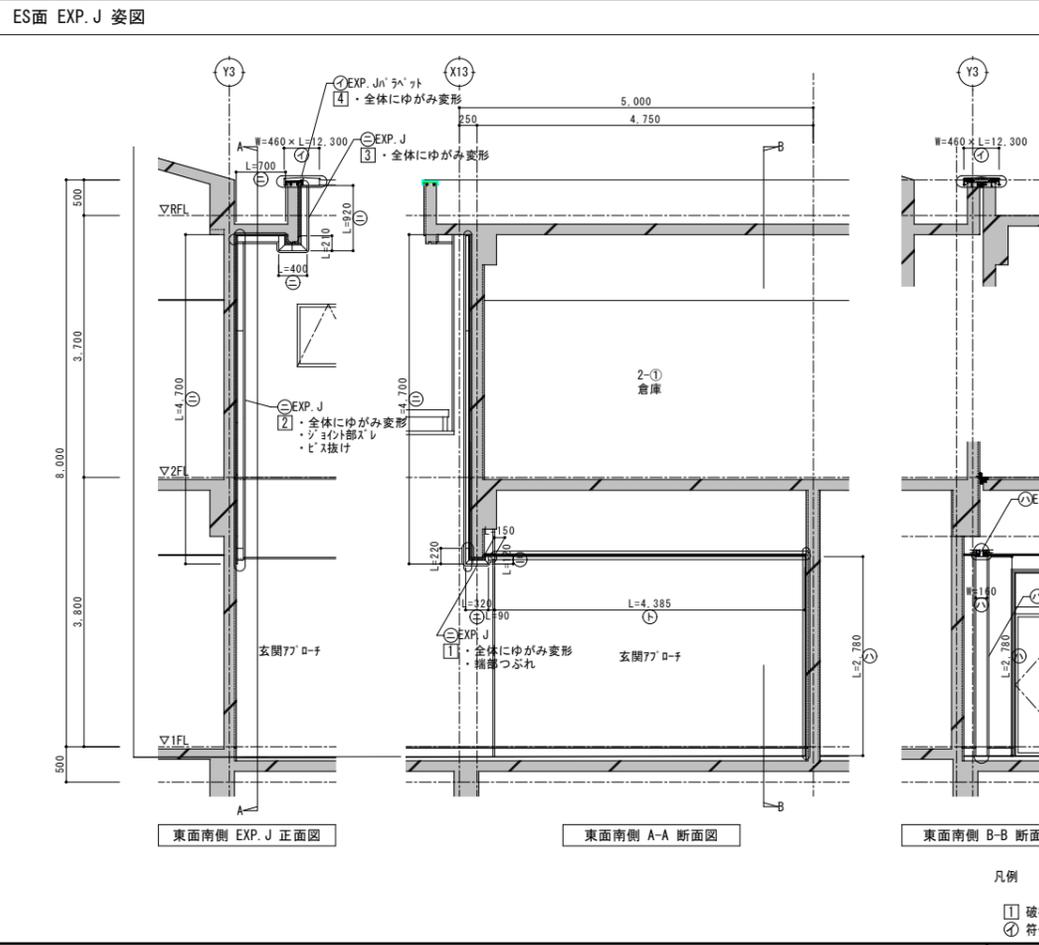
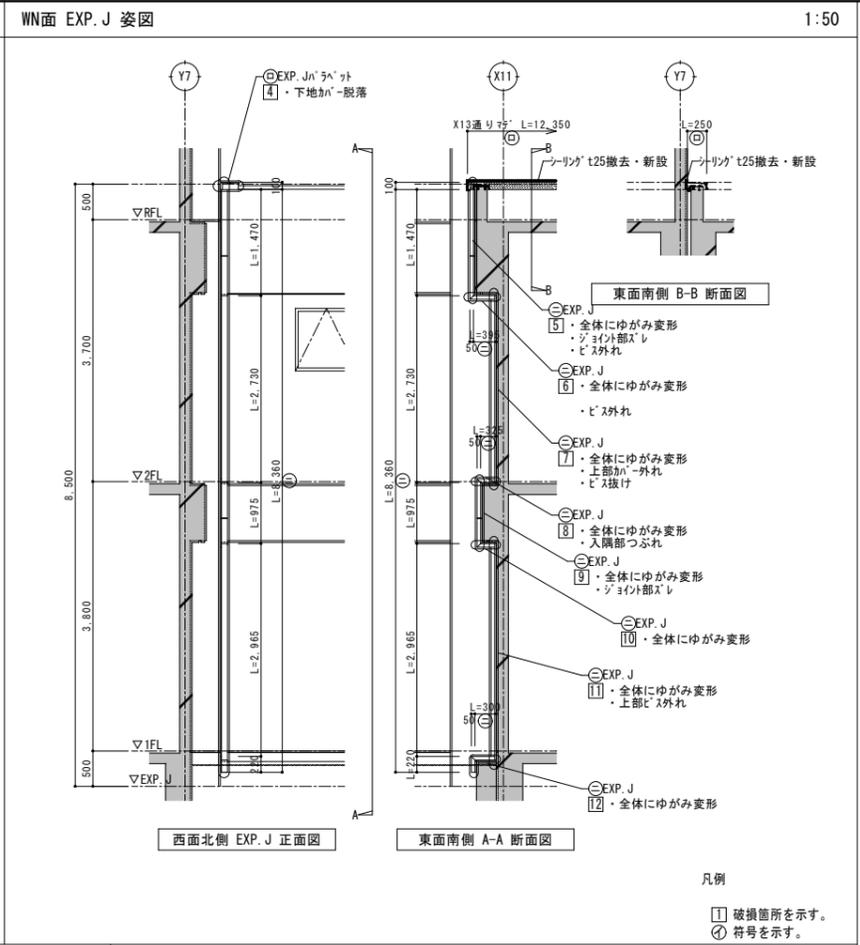
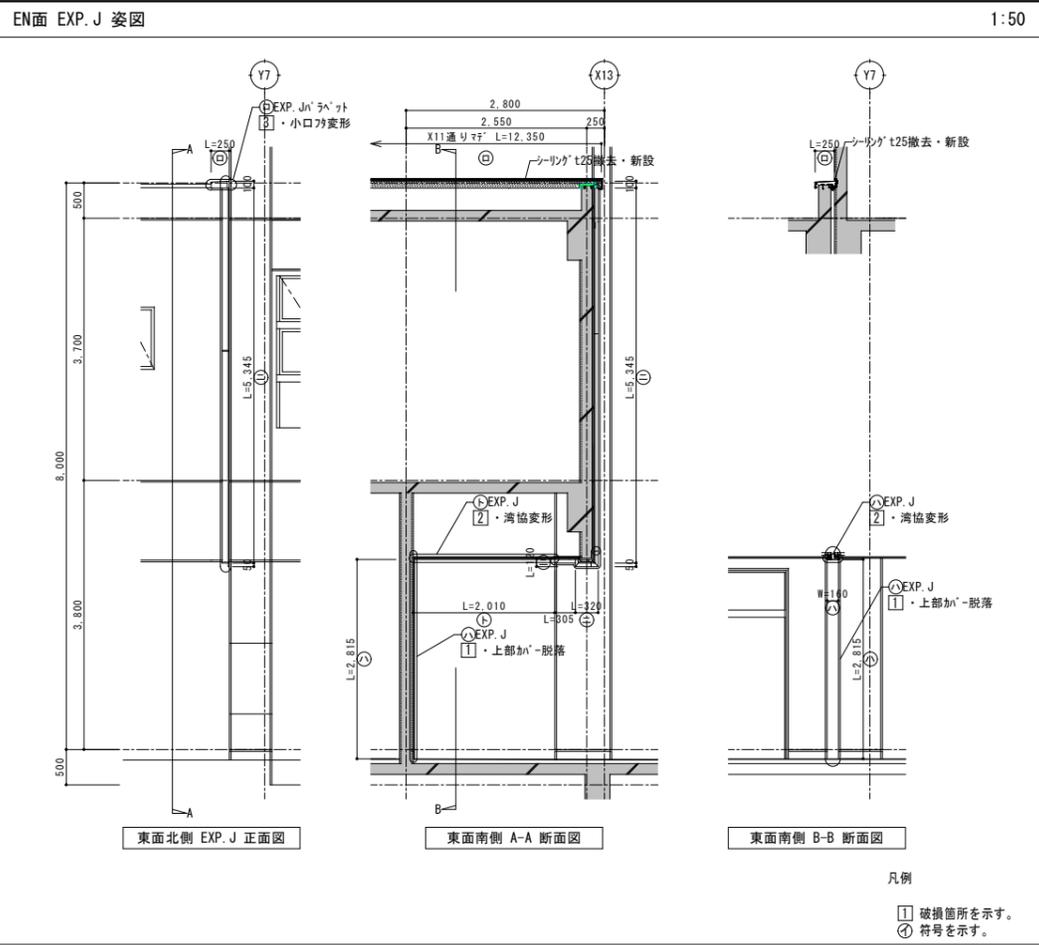
鉄骨コンクリート仕様の (外部・内部共通)

1. 形状・寸法は現況に合わせる。
2. 材質は7系鉄骨 (SMC) とする。
3. 耐力は50mm。
4. 1時間耐火性能を有する。



※形状寸法は参考とする。
 ※特記なき限りアルミ珪藻土 (SILV) とする。
 ※7系鉄骨は50とする。
 ※外周部及び90°については、ローケル充填とし、珪藻土製品は耐火1時間耐火性能を確保すること。

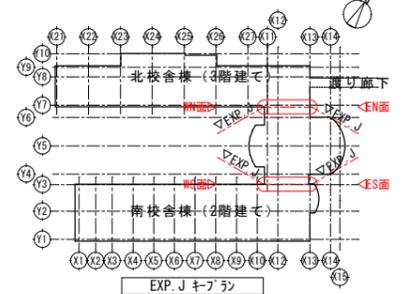


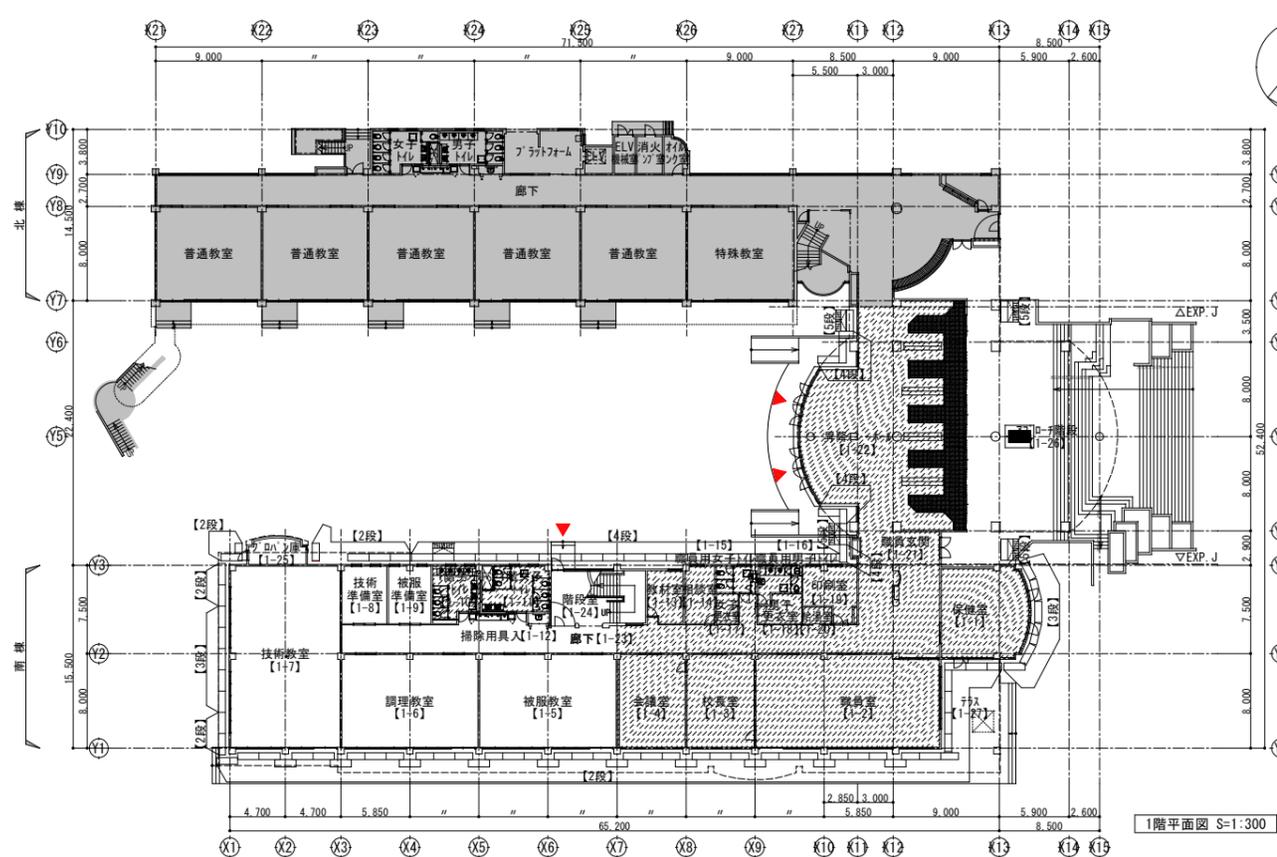
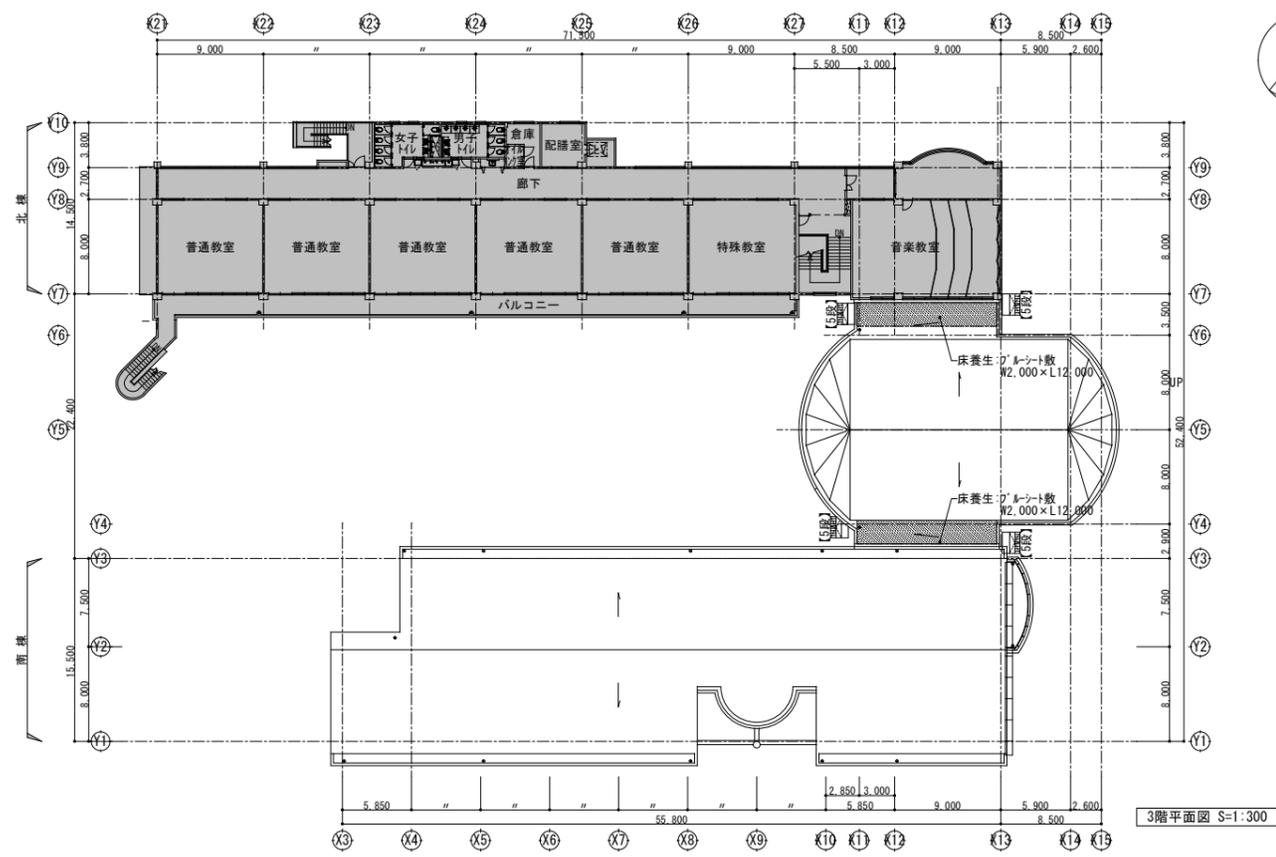
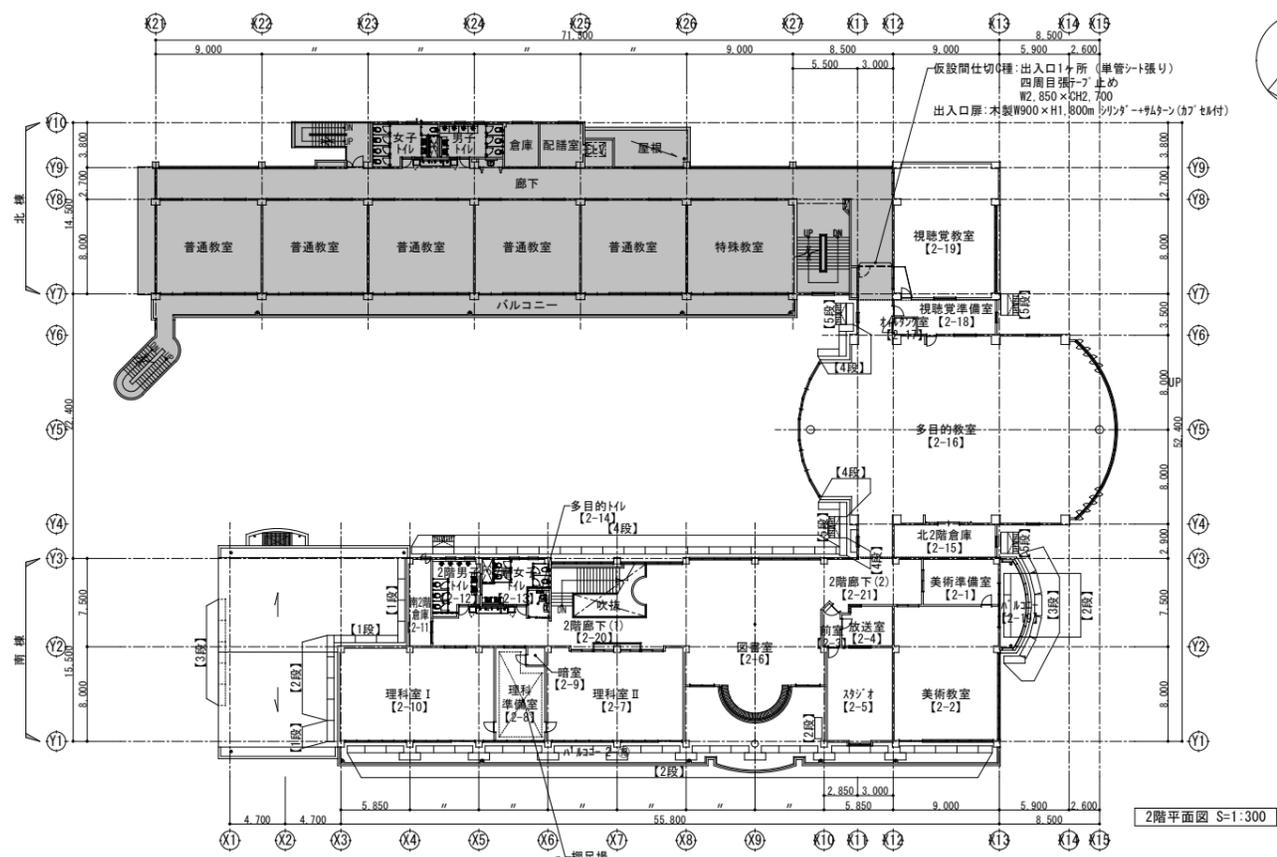


外部EXP. Jリスト

室名	場所	符号	形状	長さ (実測値)	状況	復旧方法
北校舎棟	Y7通り EN面 EXP. J	屋根	口	12,350	小口がみ変形	撤去・新設
		天井	二	305	撤去	撤去・新設
		天井	ト	2,010	清濁変形	撤去・新設
		壁	ハ	2,185	撤去	撤去・新設
		壁	ニ	5,785	撤去	撤去・新設
北校舎棟	Y7通り WN面 EXP. J	壁	ニ	9,705	歪み・変形	撤去・新設
				(1,470)	歪み・変形	撤去・新設
				(395)	歪み・変形	撤去・新設
				(2,750)	歪み・変形	撤去・新設
				(325)	歪み・変形	撤去・新設
北校舎棟	Y3通り ES面 EXP. J	屋根	イ	12,300	歪み・変形	撤去・新設
		天井	ト	4,385	撤去	撤去・新設
		壁	ニ	7,470	歪み・変形	撤去・新設
				(920)	歪み・変形	撤去・新設
				(400)	歪み・変形	撤去・新設
南校舎棟	Y3通り WS面 EXP. J	壁	ハ	2,780	撤去	撤去・新設
		壁	ニ	10,830	歪み・変形	撤去・新設
				(830)	歪み・変形	撤去・新設
				(315)	歪み・変形	撤去・新設
				(300)	歪み・変形	撤去・新設

- 改修特記事項 (外部・内部共通)
- 現地調査により、各状況は表記の通り。
 - 外観上問題ないものも、取り外すと、再設置が出来ない。
 - 製品が古く、規格・寸法が合わず、部品等がないため部分復旧は困難。
 - 1~3により、撤去新設とする。
 - 復旧工事にあたり、現況を良く調査すること。
- イナック ソンゾウポイント仕様 (外部・内部共通)
- 形状・寸法は現況に合わせる。
 - 材質は75系製 (Alⁿ) とする。
 - クリアランス: 50mm。
 - 1時間耐火性能を有する。





特記事項(共通)

- 着工前に工事範囲内の現状を確認すること。
家具類・設備機器・備品などは工事前に学校関係者、監督員立会いの下、現状確認・動作確認を行うこと。
工事に影響がある備品等については学校関係者、監督員と協議の上、移設等十分な養生を行うこと。
- 内部の工事範囲及び作業員通路部分は床・壁及び各部の養生を行うこと。
- 北政倉庫、P10工事は外部階段を使用する。
- その他、現地調査及び現況確認(躯体・仕上等を含む)を十分にを行い、適切に工事を行うこと。
- 工事完了後は現状復旧(補修・クリーニングを含む)を行うこと。
- 工事着手にあたり、総合仮設計画図を提出し、監督員の承諾を得ること。

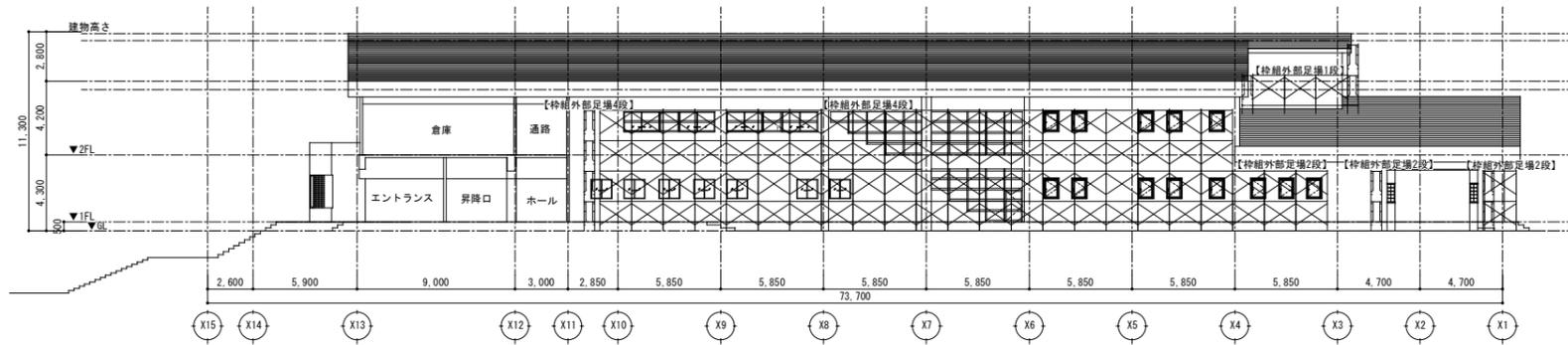
※当仮設計画は参考図とし、現場の状況に応じて、棚足場・脚立足場・単管足場とするなど、施工上の都合に合せ適宜計画の上、施工すること。

- 凡例
- 工事対象外
 - ▨ 土日工事範囲
 - ▨ 枠組木足場(手摺先行枠組足場、W=600)スリット共(昇降階段等含む)
 - ▨ 移動式足場
 - ▲ 工事搬入口

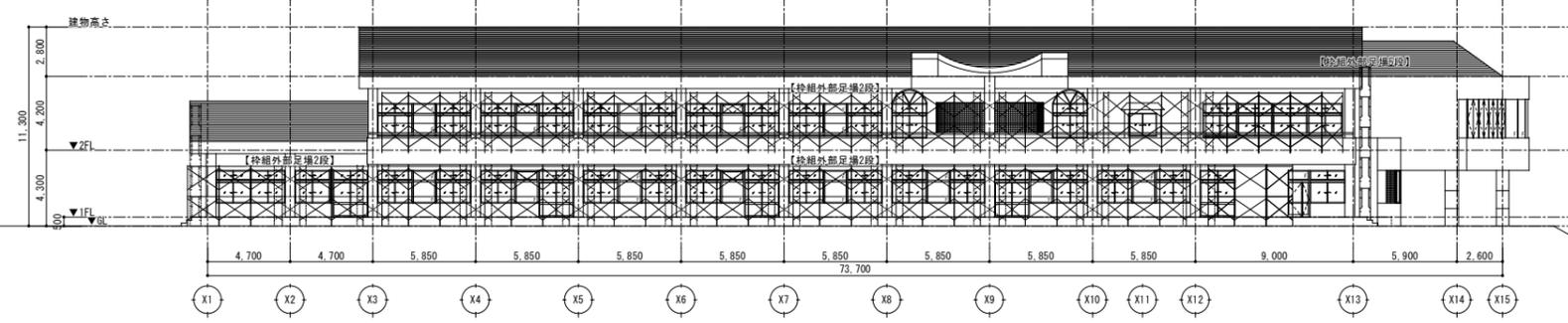
A. 災害復旧工事に伴う内部仕上足場 現状(改修前)の適用室

災害復旧工事に伴う仕上足場の設置室を以下に表記する。
各室にて壁・天井の施工に必要な範囲にて設けるものとする。

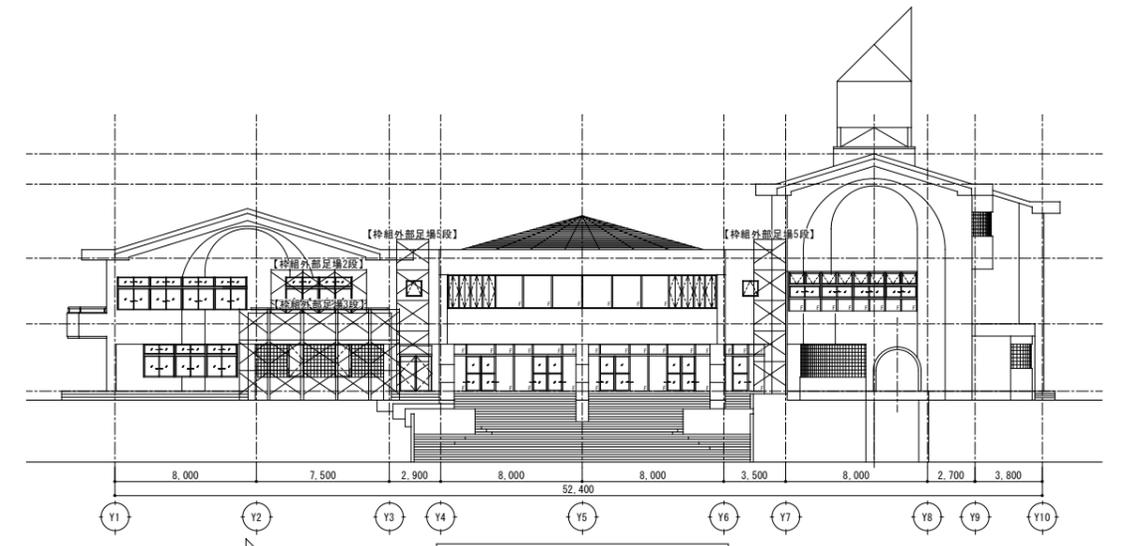
1階	2階
1-① 保健室	2-① 美術準備室
1-② 職員室	2-② 美術教室
1-③ 校長室	2-③ 対象工事なし
1-④ 会議室	2-④ 対象工事なし
1-⑤ 被服教室	2-⑤ スリット
1-⑥ 調理教室	2-⑥ 図書室(枠組木足場)
1-⑦ 技術室(枠組木足場)	2-⑦ 理科教室II
1-⑧ 技術準備室	2-⑧ 理科準備室(枠組木足場)
1-⑨ 被服準備室	2-⑨ 暗室
1-⑩ 男子トイレ	2-⑩ 理科教室I
1-⑪ 女子トイレ	2-⑪ 南2階倉庫
1-⑫ 掃除用具入	2-⑫ 対象工事なし
1-⑬ 教材室	2-⑬ 対象工事なし
1-⑭ 相談室	2-⑭ 対象工事なし
1-⑮ 職員用女子トイレ	2-⑮ 北2階倉庫
1-⑯ 職員用男子トイレ	2-⑯ 多目的教室
1-⑰ 女子更衣室	2-⑰ オールラウンド室
1-⑱ 男子更衣室	2-⑱ 視聴覚準備室
1-⑲ 印刷室	2-⑲ 視聴覚教室
1-⑳ 湯沸室	2-⑳ 2階廊下(1)
1-㉑ 職員玄関	2-㉑ 2階廊下(2)
1-㉒ 昇降口・キル	
1-㉓ 廊下	
1-㉔ 階段室	
1-㉕ プラント庫	



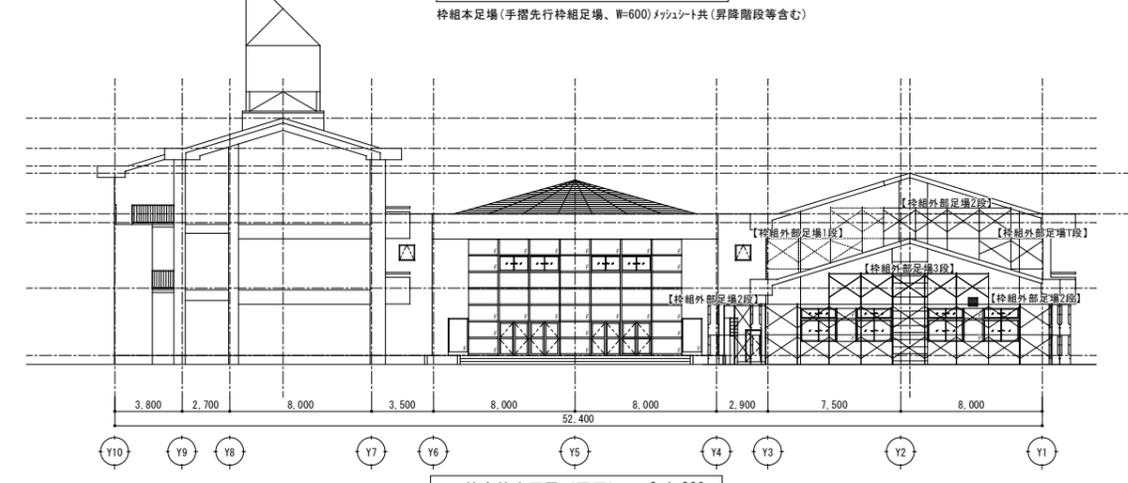
南側校舎棟立面図1 (北面) S=1:200
 枠組本足場(手摺先行枠組足場、W=600)メッシュト共(昇降階段等含む)



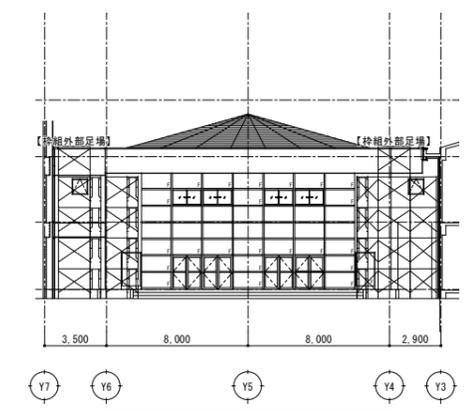
南側校舎棟立面図(南面) S=1:200
 枠組本足場(手摺先行枠組足場、W=600)メッシュト共(昇降階段等含む)



校舎棟立面図(東面) S=1:200
 枠組本足場(手摺先行枠組足場、W=600)メッシュト共(昇降階段等含む)



校舎棟立面図(西面) S=1:200
 枠組本足場(手摺先行枠組足場、W=600)メッシュト共(昇降階段等含む)



校舎棟立面図(西面) S=1:200
 枠組本足場(手摺先行枠組足場、W=600)メッシュト共(昇降階段等含む)

- 特記事項(共通)
- 1) 着工前に工事範囲内の現状を確認すること。
 - 2) 内部の工事範囲及び作業員通路部分は床・壁及び各部の養生を行うこと。
 - 3) 樹木については、原則伐採は行わないこと。但し、足場設置上支障のある樹木については、監督員と協議のこと。
 - 4) 工事完了後は現状復旧(補修・クリーニングを含める)を行うこと。
 - 5) 工事着手にあたり、総合仮設計画図を提出し、監督員の承諾を得ること。
- ※当仮設計画は参考図とし、現場の状況に応じて、棚足場・脚立足場・単管足場とするなど、施工上の都合に合せ適宜計画の上、施工すること。

令和3年2月13日
 福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事設計図

図面名
 【七ヶ浜町立向洋中学校】
 仮設計画図(2)

図面種類
 A
 図面番号
 67

縮尺
 S=1:200(A3版 50%縮小)

電気設備改修工事特記仕様書

1. 工事概要
1. 工事名 令和3年2月13日福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事
2. 工事場所 宮城県宮城郡七ヶ浜町通山一丁目9-18
3. 建物概要
建物名称 構造 階数 延べ面積(m2) 建築面積(m2) 消防法施行令表第1による用途区分 備考
4. 工事項目(○印の付いたものを適用する。)
5. 指定部分 ※なし
6. 構成工期 ※なし
7. 特記事項
(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁審判部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編、平成31年版)」、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編、平成31年版)、国土交通省大臣官庁審判部監修「環境調整等の公共建築設備工事標準図(電気設備工事編、平成31年版)」による。
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。
(3) 特記事項
(1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

23. 他工事との工事区分
24. 保通、結露防止
25. 電線類
26. 合成樹脂製可とう管
27. 二種金属製可とう管
28. 電線本数、管路など
29. インサート
30. 呼び線
31. フラッシュプレート
32. フロアプレート・ベース
33. ハンドホール蓋
34. 支持金物、固定金物
35. あと施工アンカー
36. 接地種の種別・表示等
37. 総合調整
38. 塗装工事
39. 山留め
40. 舗装工事
41. はつり
42. 再使用機器
43. 撤去後の補修等
44. アスベスト
45. 有害物質の取り扱い
1. 工事範囲
2. 電気方式
3. 施工方法
4. 照明器具
5. 防災用照明器具
6. 照度測定
7. ハイテンションアウトレット
8. 人感センサプレート
9. 予備配管
10. 1. 工事範囲
2. 電気方式
3. 施工方法
4. 警報盤
5. 電磁閉路用押印(遠方操作用)
6. 機器への接続
7. 電動機等の接地
8. 送相用コンデンサ
9. 電気自動車充電装置
1. 電気方式
2. 施工場所及び面積

1. 工事範囲
2. 受電部
3. 送電導線
4. 接地種
5. 測定用補助接地
1. 工事範囲
2. 電気方式
3. 引込ケーブル
4. 配電盤
5. 主進断装置
6. 高圧機器類
7. 変圧器
8. 送相用コンデンサ
9. リアクトル
10. 自動力率制御装置
11. 測定用補助接地
1. 直流電源装置
2. 交流無停電電源装置
1. 工事範囲
2. 形式
3. 発電機
4. 原動機
5. 燃料
6. 電気設備
7. 系統系
1. 工事範囲
2. 交換機
3. 電話機への配線
4. ローテーションアウトレット(電形形)
5. 保安用接地
1. 工事範囲及び施工方法
2. 情報表示設備
3. 映像・音響設備
4. 映像・音響設備
5. 拡声設備
6. 誘導・指路設備
7. テレビ共同受信設備
8. テレビ電圧降降
9. 監視カメラ設備
10. 駐車管理制御設備
11. 防犯・入室管理設備
1. 工事範囲
2. 火災報知装置
3. 非常警報装置
4. 自動閉鎖装置
5. ガス漏れ火災警報装置
6. 消火器類

1. 工事範囲
2. 監視制御対象設備
3. 表示操作盤
4. 監視制御装置
1. 工事範囲
2. 電気方式
3. 布設方法
4. 柱上機器
5. 高圧ケーブルの結束処理
6. その他
7. 外灯設備
8. 上下対策
9. 構架シート
10. 予備配管
1. 工事範囲
2. 用途
3. 施工方法
4. 構架シート
表2「機器取付高さ」
表1「完成書類」
1. 完成図書
2. 完成図書
3. 完成図書
4. 完成図書
5. 完成図書(縮小)
6. 完成図書(電子データ)
7. 施工図
8. 機器完成図
9. 機器完成図
10. 機器完成図
11. 機器完成図
12. 機器完成図
13. 機器完成図
14. 機器完成図
15. 機器完成図
16. 機器完成図
17. 機器完成図
18. 機器完成図
19. 機器完成図
20. 機器完成図
21. 機器完成図
22. 機器完成図
23. 機器完成図
24. 機器完成図
25. 機器完成図
26. 機器完成図
27. 機器完成図
28. 機器完成図
29. 機器完成図
30. 機器完成図
31. 機器完成図
32. 機器完成図
33. 機器完成図
34. 機器完成図
35. 機器完成図
36. 機器完成図
37. 機器完成図
38. 機器完成図
39. 機器完成図
40. 機器完成図
41. 機器完成図
42. 機器完成図
43. 機器完成図
44. 機器完成図
45. 機器完成図
46. 機器完成図
47. 機器完成図
48. 機器完成図
49. 機器完成図
50. 機器完成図
51. 機器完成図
52. 機器完成図
53. 機器完成図
54. 機器完成図
55. 機器完成図
56. 機器完成図
57. 機器完成図
58. 機器完成図
59. 機器完成図
60. 機器完成図
61. 機器完成図
62. 機器完成図
63. 機器完成図
64. 機器完成図
65. 機器完成図
66. 機器完成図
67. 機器完成図
68. 機器完成図
69. 機器完成図
70. 機器完成図
71. 機器完成図
72. 機器完成図
73. 機器完成図
74. 機器完成図
75. 機器完成図
76. 機器完成図
77. 機器完成図
78. 機器完成図
79. 機器完成図
80. 機器完成図
81. 機器完成図
82. 機器完成図
83. 機器完成図
84. 機器完成図
85. 機器完成図
86. 機器完成図
87. 機器完成図
88. 機器完成図
89. 機器完成図
90. 機器完成図
91. 機器完成図
92. 機器完成図
93. 機器完成図
94. 機器完成図
95. 機器完成図
96. 機器完成図
97. 機器完成図
98. 機器完成図
99. 機器完成図
100. 機器完成図

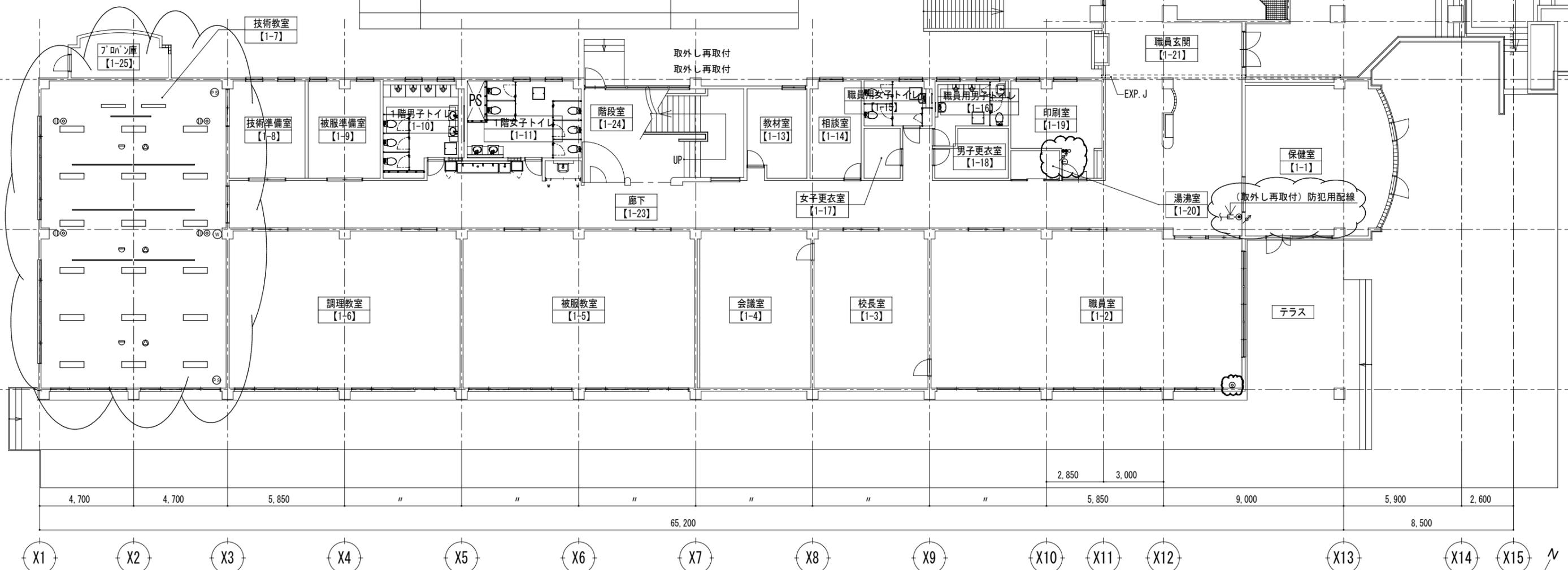
注記

1. 図中  は改修範囲を示す。
2. 建築改修工事に伴い図中の機器の取外し再取付を行う。
3. 取外し前に動作確認を行い再取付け後も正常に動作する事を確認すること。
4. 配管配線は再使用するので天井解体時に配管配線が落下しない様に支持を行うこと。
5. 防犯設備に関する工事は学校が契約を行っている警備会社に施工を依頼すること。

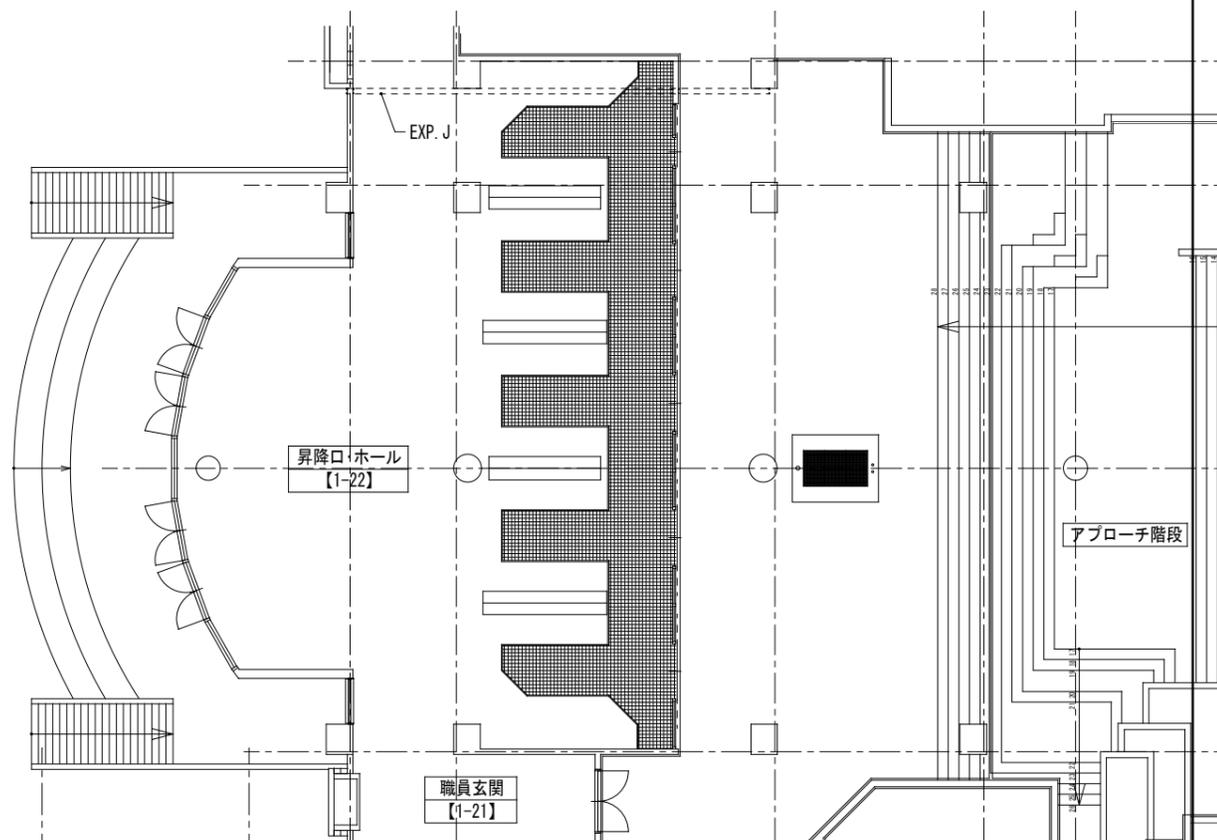
凡例

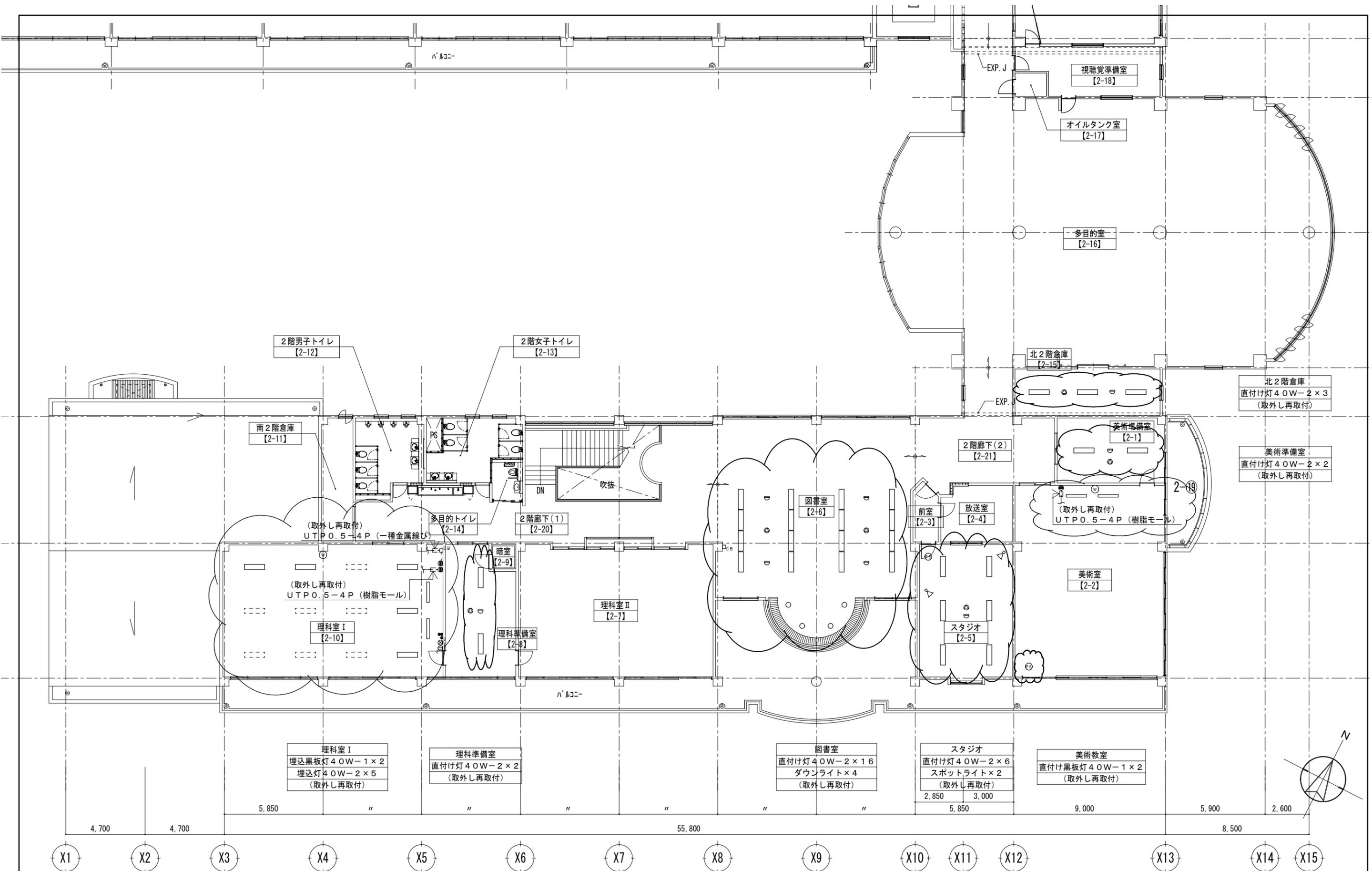
記号	名称	備考
	天井付け照明器具 1灯用	特記無き場合取外し再取付
	天井付け照明器具 2灯用	特記無き場合取外し再取付
	スポットライト	特記無き場合取外し再取付
	ダウンライト	特記無き場合取外し再取付
	埋込スイッチ 1P15A×2	特記無き場合取外し再取付
	埋込スイッチ 1P15A×2+PL	特記無き場合取外し再取付
	埋込スイッチ 3W15A×1	特記無き場合取外し再取付
	直付け配線ダクト2P15A 吊下げコンセント共	特記無き場合取外し再取付
	天井付けコンセント 2P15A×1	特記無き場合取外し再取付
	埋込コンセント 2P15A×2	特記無き場合取外し再取付
	情報コンセント 8極8芯 露出スイッチボックス共	特記無き場合取外し再取付
	無線LANアクセスポイント	特記無き場合取外し再取付
	天井埋込スピーカー	特記無き場合取外し再取付
	音量調節器	特記無き場合取外し再取付
	壁掛型相互式インターホン	特記無き場合取外し再取付
	角ブラックプレート	特記無き場合取外し再取付
	直列ユニット (天井付け)	特記無き場合取外し再取付
	直列ユニット (壁付け)	特記無き場合取外し再取付
	差動式スポット型感知器	特記無き場合取外し再取付
	防犯用空間センサー	特記無き場合取外し再取付
	防犯用ノズルプレート	特記無き場合取外し再取付
	一種金属線び用コーナーボックス	特記無き場合取外し再取付

技術教室
直付け黒板灯40W-1×2
直付け灯40W-2×18
配線ダクト×7本
(取外し再取付)



1階平面図 S=1:100





2階平面図 S=1:100

令和3年2月13日
 福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事 設計図

図面名 電気設備 2階改修図
 縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)

図面種別	E
図面番号	03

機械設備改修工事特記仕様書

1. 工事概要
1. 工事名称 令和3年2月13日福島県沖地震による向洋中学校校舎等災害復旧工事
2. 工事場所 宮城県宮城郡七ヶ浜町山ノ下一丁目9-18
3. 建物概要
4. 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

5. 指定部分
6. 概成工期
7. 設備概要
8. 特記仕様書
9. 特記事項

10. 仕様書
11. 仕様書
12. 仕様書

13. 仕様書
14. 仕様書
15. 仕様書
16. 仕様書
17. 仕様書
18. 仕様書
19. 仕様書
20. 仕様書
21. 仕様書
22. 仕様書
23. 仕様書
24. 仕様書
25. 仕様書
26. 仕様書
27. 仕様書
28. 仕様書
29. 仕様書
30. 仕様書

31. 仕様書
32. 仕様書
33. 仕様書
34. 仕様書
35. 仕様書
36. 仕様書
37. 仕様書
38. 仕様書
39. 仕様書
40. 仕様書
41. 仕様書
42. 仕様書
43. 仕様書
44. 仕様書
45. 仕様書
46. 仕様書
47. 仕様書
48. 仕様書
49. 仕様書
50. 仕様書
51. 仕様書
52. 仕様書
53. 仕様書
54. 仕様書
55. 仕様書
56. 仕様書
57. 仕様書
58. 仕様書
59. 仕様書
60. 仕様書
61. 仕様書
62. 仕様書
63. 仕様書
64. 仕様書
65. 仕様書
66. 仕様書
67. 仕様書
68. 仕様書
69. 仕様書
70. 仕様書
71. 仕様書
72. 仕様書
73. 仕様書
74. 仕様書
75. 仕様書
76. 仕様書
77. 仕様書
78. 仕様書
79. 仕様書
80. 仕様書
81. 仕様書
82. 仕様書
83. 仕様書
84. 仕様書
85. 仕様書
86. 仕様書
87. 仕様書
88. 仕様書
89. 仕様書
90. 仕様書
91. 仕様書
92. 仕様書
93. 仕様書
94. 仕様書
95. 仕様書
96. 仕様書
97. 仕様書
98. 仕様書
99. 仕様書
100. 仕様書

9. 防煙ダンプ
10. 配管材料
11. 弁類
12. 鋼管用伸縮管継手
13. 温度計
14. 耐腐蝕量計
15. オイルタンク
16. 精油量計
17. 注油口及び指示針
18. 消音内貼り
19. 保温
20. 電気工事の範囲
21. 塗装
22. 換気
23. 換気
24. 換気
25. 換気
26. 換気
27. 換気
28. 換気
29. 換気
30. 換気
31. 換気
32. 換気
33. 換気
34. 換気
35. 換気
36. 換気
37. 換気
38. 換気
39. 換気
40. 換気
41. 換気
42. 換気
43. 換気
44. 換気
45. 換気
46. 換気
47. 換気
48. 換気
49. 換気
50. 換気
51. 換気
52. 換気
53. 換気
54. 換気
55. 換気
56. 換気
57. 換気
58. 換気
59. 換気
60. 換気
61. 換気
62. 換気
63. 換気
64. 換気
65. 換気
66. 換気
67. 換気
68. 換気
69. 換気
70. 換気
71. 換気
72. 換気
73. 換気
74. 換気
75. 換気
76. 換気
77. 換気
78. 換気
79. 換気
80. 換気
81. 換気
82. 換気
83. 換気
84. 換気
85. 換気
86. 換気
87. 換気
88. 換気
89. 換気
90. 換気
91. 換気
92. 換気
93. 換気
94. 換気
95. 換気
96. 換気
97. 換気
98. 換気
99. 換気
100. 換気

4. 土間配管
5. 配管材料
6. 排水設備
7. 基礎材
8. 排水設備
9. 排水設備
10. 排水設備
11. 排水設備
12. 排水設備
13. 排水設備
14. 排水設備
15. 排水設備
16. 排水設備
17. 排水設備
18. 排水設備
19. 排水設備
20. 排水設備
21. 排水設備
22. 排水設備
23. 排水設備
24. 排水設備
25. 排水設備
26. 排水設備
27. 排水設備
28. 排水設備
29. 排水設備
30. 排水設備
31. 排水設備
32. 排水設備
33. 排水設備
34. 排水設備
35. 排水設備
36. 排水設備
37. 排水設備
38. 排水設備
39. 排水設備
40. 排水設備
41. 排水設備
42. 排水設備
43. 排水設備
44. 排水設備
45. 排水設備
46. 排水設備
47. 排水設備
48. 排水設備
49. 排水設備
50. 排水設備
51. 排水設備
52. 排水設備
53. 排水設備
54. 排水設備
55. 排水設備
56. 排水設備
57. 排水設備
58. 排水設備
59. 排水設備
60. 排水設備
61. 排水設備
62. 排水設備
63. 排水設備
64. 排水設備
65. 排水設備
66. 排水設備
67. 排水設備
68. 排水設備
69. 排水設備
70. 排水設備
71. 排水設備
72. 排水設備
73. 排水設備
74. 排水設備
75. 排水設備
76. 排水設備
77. 排水設備
78. 排水設備
79. 排水設備
80. 排水設備
81. 排水設備
82. 排水設備
83. 排水設備
84. 排水設備
85. 排水設備
86. 排水設備
87. 排水設備
88. 排水設備
89. 排水設備
90. 排水設備
91. 排水設備
92. 排水設備
93. 排水設備
94. 排水設備
95. 排水設備
96. 排水設備
97. 排水設備
98. 排水設備
99. 排水設備
100. 排水設備

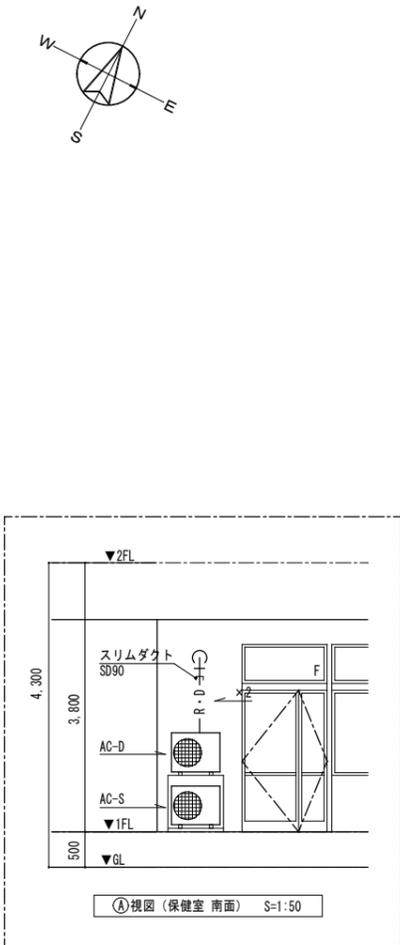
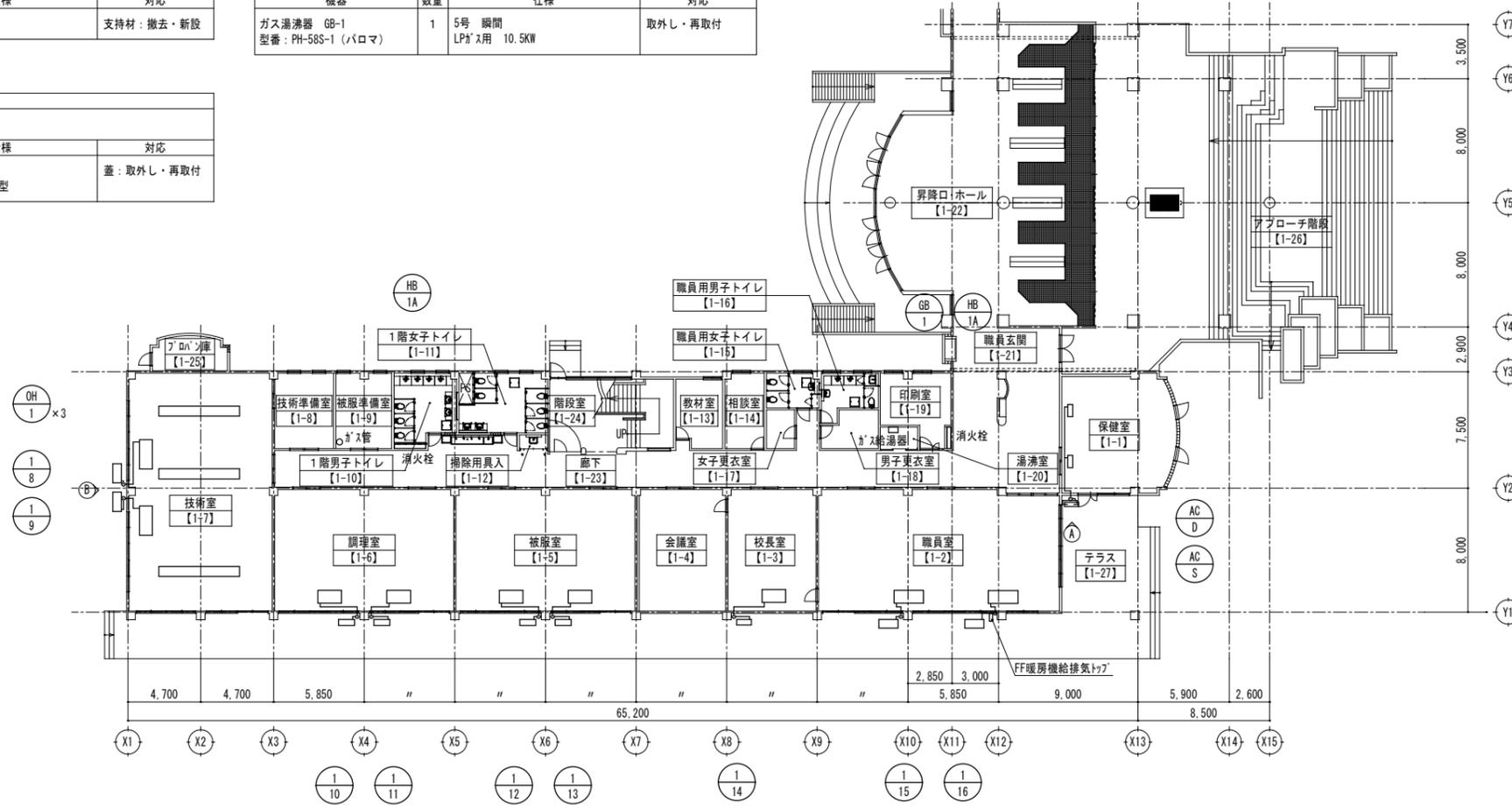
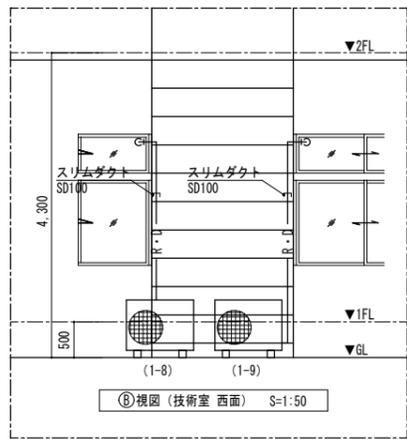
表1「完成書類」
表2「完成書類」
表3「完成書類」
表4「完成書類」
表5「完成書類」
表6「完成書類」
表7「完成書類」
表8「完成書類」
表9「完成書類」
表10「完成書類」
表11「完成書類」
表12「完成書類」
表13「完成書類」
表14「完成書類」
表15「完成書類」
表16「完成書類」
表17「完成書類」
表18「完成書類」
表19「完成書類」
表20「完成書類」
表21「完成書類」
表22「完成書類」
表23「完成書類」
表24「完成書類」
表25「完成書類」
表26「完成書類」
表27「完成書類」
表28「完成書類」
表29「完成書類」
表30「完成書類」
表31「完成書類」
表32「完成書類」
表33「完成書類」
表34「完成書類」
表35「完成書類」
表36「完成書類」
表37「完成書類」
表38「完成書類」
表39「完成書類」
表40「完成書類」
表41「完成書類」
表42「完成書類」
表43「完成書類」
表44「完成書類」
表45「完成書類」
表46「完成書類」
表47「完成書類」
表48「完成書類」
表49「完成書類」
表50「完成書類」
表51「完成書類」
表52「完成書類」
表53「完成書類」
表54「完成書類」
表55「完成書類」
表56「完成書類」
表57「完成書類」
表58「完成書類」
表59「完成書類」
表60「完成書類」
表61「完成書類」
表62「完成書類」
表63「完成書類」
表64「完成書類」
表65「完成書類」
表66「完成書類」
表67「完成書類」
表68「完成書類」
表69「完成書類」
表70「完成書類」
表71「完成書類」
表72「完成書類」
表73「完成書類」
表74「完成書類」
表75「完成書類」
表76「完成書類」
表77「完成書類」
表78「完成書類」
表79「完成書類」
表80「完成書類」
表81「完成書類」
表82「完成書類」
表83「完成書類」
表84「完成書類」
表85「完成書類」
表86「完成書類」
表87「完成書類」
表88「完成書類」
表89「完成書類」
表90「完成書類」
表91「完成書類」
表92「完成書類」
表93「完成書類」
表94「完成書類」
表95「完成書類」
表96「完成書類」
表97「完成書類」
表98「完成書類」
表99「完成書類」
表100「完成書類」

注記: 機器及びシステム参考図について
2. 本図面中、機器及びシステムの品名・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状
3. 諸元及びシステム構成等も参照して記載している
4. これらのものについては、その品質・性能が図面と同品もしくはそれ以上のものを使用
5. するものとする。

室名 【1-9】 被服準備室			
劣化 壁、天井材破損			
機器	数量	仕様	対応
ガス管	1	SGP 32A	支持材：撤去・新設

室名 【1-20】 湯沸室			
劣化 壁クラック			
機器	数量	仕様	対応
ガス湯沸器 GB-1 型番：PH-58S-1 (パロマ)	1	5号 瞬間 LPガス用 10.5KW	取外し・再取付

室名 【1-23】 廊下			
劣化 壁クラック			
機器	数量	仕様	対応
屋内消火栓箱 HB1A	2	火報併設型 W750×H1300、埋込型	蓋：取外し・再取付



室名 【1-7】 技術室			
劣化 壁クラック			
機器	数量	仕様	対応
空調室外機 1-8 型番：RAS-GP112RSH1 (日立)	1	床置き、冷：10.0KW、暖：11.2KW 冷媒：9.5φ (液)・15.9φ (ガス) ドレン：20VP	取外し・再取付 (冷媒管：撤去・新設) (ドレン管：再利用) (スリムダクト：再利用)
空調室内機 1-8 型番：RPC-GP112K (日立)	1	壁掛け	
空調室外機 1-9 型番：RAS-GP112RSH1 (日立)	1	床置き、冷：10.0KW、暖：11.2KW 冷媒：9.5φ (液)・15.9φ (ガス) ドレン：20VP	取外し・再取付 (冷媒管：撤去・新設) (ドレン管：再利用) (スリムダクト：再利用)
空調室内機 1-9 型番：RPC-GP112K (日立)	1	壁掛け	
劣化 天井材破損			
機器	数量	仕様	対応
灯油焚天理輻射暖房機 OH-1	3	14000kcal/h 1φ*100*120W	フェース入替 取外し・再取付

室名 【1-5】 被服室			
劣化 壁、柱クラック			
機器	数量	仕様	対応
空調室外機 1-12 型番：RAS-GP80RSH1 (日立)	1	床置き、冷：7.1KW、暖：8.0KW 冷媒：9.5φ (液)・15.9φ (ガス) ドレン：20VP	取外し・再取付 (冷媒管：撤去・新設) (ドレン管：再利用) (スリムダクト：再利用)
空調室外機 1-13 型番：RAS-GP80RSH1 (日立)	1	床置き、冷：7.1KW、暖：8.0KW 冷媒：9.5φ (液)・15.9φ (ガス) ドレン：20VP	取外し・再取付 (冷媒管：撤去・新設) (ドレン管：再利用) (スリムダクト：再利用)

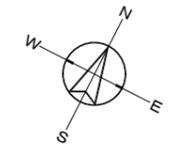
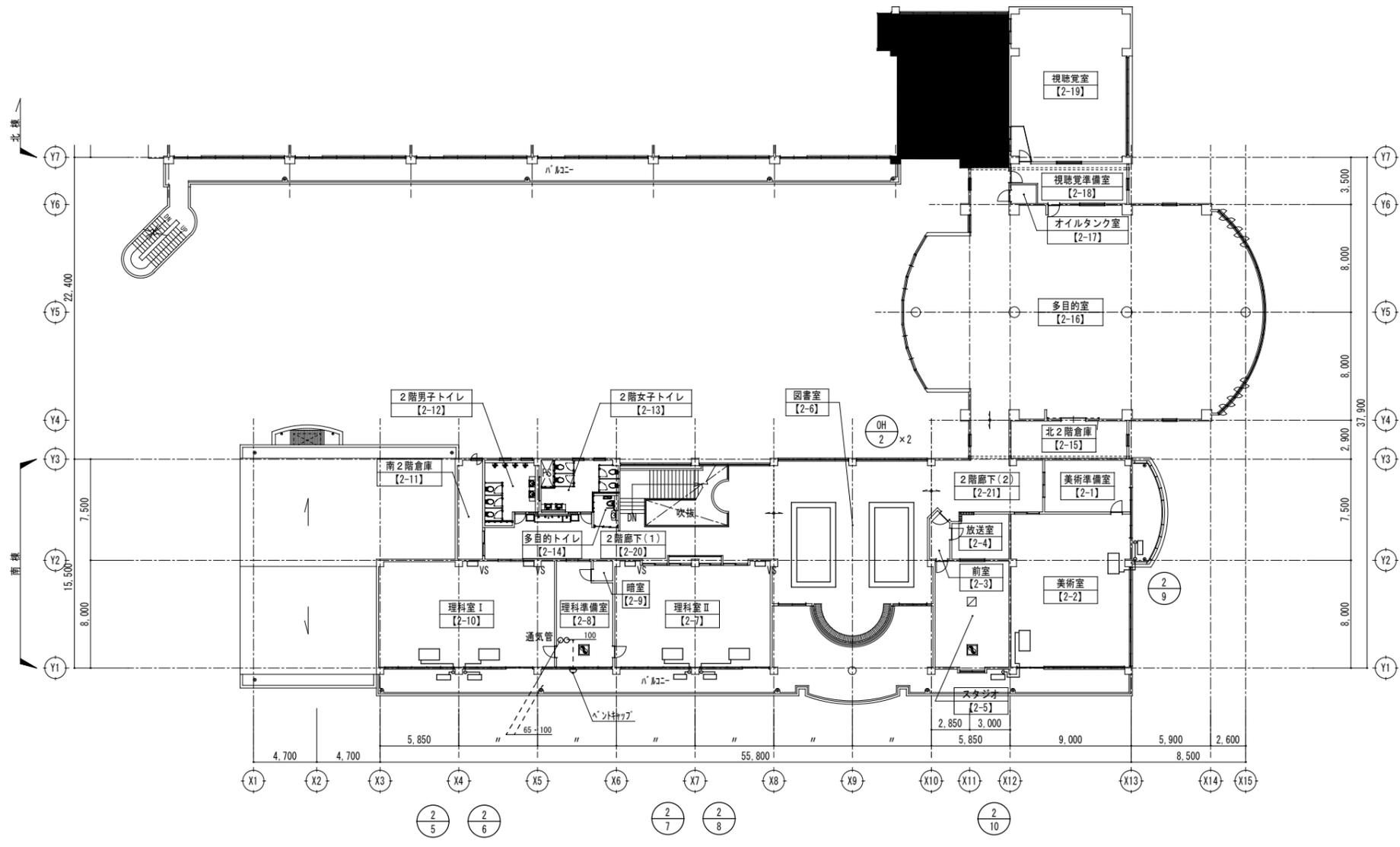
室名 【1-6】 調理室			
劣化 壁、柱クラック			
機器	数量	仕様	対応
空調室外機 1-10 型番：RAS-GP80RSH1 (日立)	1	床置き、冷：7.1KW、暖：8.0KW 冷媒：9.5φ (液)・15.9φ (ガス) ドレン：20VP	取外し・再取付 (冷媒管：撤去・新設) (ドレン管：再利用) (スリムダクト：再利用)
空調室外機 1-11 型番：RAS-GP80RSH1 (日立)	1	床置き、冷：7.1KW、暖：8.0KW 冷媒：9.5φ (液)・15.9φ (ガス) ドレン：20VP	取外し・再取付 (冷媒管：撤去・新設) (ドレン管：再利用) (スリムダクト：再利用)

室名 【1-2】 職員室			
劣化 壁クラック			
機器	数量	仕様	対応
空調室外機 1-15 型番：RAS-GP112RSH1 (日立)	1	床置き、冷：10.0KW、暖：11.2KW 冷媒：9.5φ (液)・15.9φ (ガス) ドレン：20VP	取外し・再取付 (冷媒管：撤去・新設) (ドレン管：再利用) (スリムダクト：再利用)
空調室外機 1-16 型番：RAS-GP112RSH1 (日立)	1	床置き、冷：10.0KW、暖：11.2KW 冷媒：9.5φ (液)・15.9φ (ガス) ドレン：20VP	取外し・再取付 (冷媒管：撤去・新設) (ドレン管：再利用) (スリムダクト：再利用)
FF暖房機給排気トップ用 保護ガード	1	200φ	取外し・再取付

室名 【1-3】 校長室			
劣化 壁クラック			
機器	数量	仕様	対応
空調室外機 1-14 型番：RAS-GP63RSH1 (日立)	1	床置き、冷：5.6KW、暖：6.3KW 冷媒：6.4φ (液)・12.7φ (ガス) ドレン：20VP	取外し・再取付 (冷媒管：撤去・新設) (ドレン管：再利用) (スリムダクト：再利用)

室名 【1-1】 保健室			
劣化 壁クラック			
機器	数量	仕様	対応
空調室外機 AC-D 型番：R2SMES (ダウケイ)	1	床置き、冷：2.5KW、暖：2.8KW 冷媒：6.4φ (液)・9.5φ (ガス) ドレン：ドレンホース	取外し・再取付 (冷媒管：撤去・新設) (ドレン管：再利用) (スリムダクト：再利用)
空調室内機 AC-D 型番：F25MTES-W (ダウケイ)	1	壁掛け	
空調室外機 AC-S 型番：AU-2204CY (シャープ)	1	床置き、冷：2.2KW、暖：2.5KW 冷媒：6.4φ (液)・9.5φ (ガス) ドレン：ドレンホース	取外し・再取付 (冷媒管：撤去・新設) (ドレン管：再利用) (スリムダクト：再利用)
空調室内機 AC-S 型番：AC-2204C-W (シャープ)	1	壁掛け	

(特記) 空調機の取外し・再取付に係る配管切断位置は、別紙参考図を参照。
 空調室内・外連絡配線は既存再利用とする。
 図書室 OH-2 (フェース) の取外し・再取付は別紙参考図を参照し、必要に応じて機器本体の調整 (取外し・再取付) を行う。



2階平面図 S=1:200

室名 【2-10】理科室Ⅰ			
劣化 壁、柱クラック			
機器	数量	仕様	対応
空調室外機 2-5 型番:RAS-GP8ORSH1 (日立)	1	床置き、冷:7.1KW、暖:8.0KW 冷媒:9.5φ(液)・15.9φ(ガス) ドレン:20VP	取外し・再取付 (冷媒管:撤去・新設) (ドレン管:再利用) (スリット:再利用)
空調室外機 2-6 型番:RAS-GP8ORSH1 (日立)	1	床置き、冷:7.1KW、暖:8.0KW 冷媒:9.5φ(液)・15.9φ(ガス) ドレン:20VP	取外し・再取付 (冷媒管:撤去・新設) (ドレン管:再利用) (スリット:再利用)
制気口 VS	2	650×300、750CMH	取外し・再取付

室名 【2-7】理科室Ⅱ			
劣化 壁、柱クラック			
機器	数量	仕様	対応
空調室外機 2-7 型番:RAS-GP63RSH1 (日立)	1	床置き、冷:5.6KW、暖:6.3KW 冷媒:6.4φ(液)・12.7φ(ガス) ドレン:20VP	取外し・再取付 (冷媒管:撤去・新設) (ドレン管:再利用) (スリット:再利用)
空調室外機 2-8 型番:RAS-GP63RSH1 (日立)	1	床置き、冷:5.6KW、暖:6.3KW 冷媒:6.4φ(液)・12.7φ(ガス) ドレン:20VP	取外し・再取付 (冷媒管:撤去・新設) (ドレン管:再利用) (スリット:再利用)
制気口 VS	2	650×300、750CMH	取外し・再取付

室名 【2-8】理科準備室			
劣化 天井材破損			
機器	数量	仕様	対応
換気扇	1	天井埋込型 200φ×260m3/h×8mmAg×56w、100V	取外し・再取付
通気管	2	硬質塩化ビニル管 65・100A	配管支持材:撤去・新設
ペントキャップ	1	100φ	外壁貫通部補修

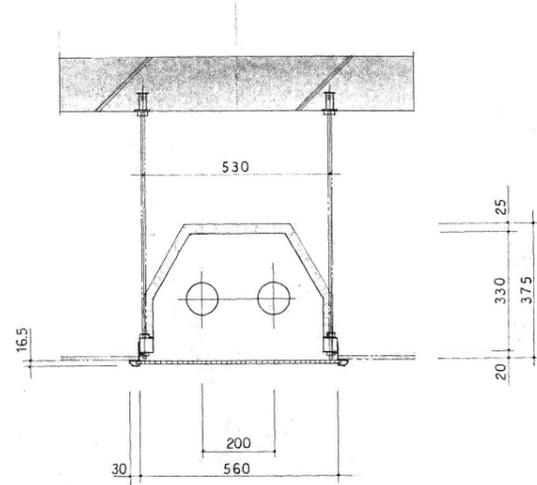
室名 【2-5】スタジオ			
劣化 天井材破損			
機器	数量	仕様	対応
換気扇	1	天井埋込型 200φ×380m3/h×4mmAg×56w、100V	取外し・再取付
制気口 VHS	1	350×350	取外し・再取付

室名 【2-6】図書室			
劣化 天井材破損			
機器	数量	仕様	対応
灯油焚天埋射暖房機 OH-2	2	18000kcal/h 1φ×100V×37W	フェース入替 取外し・再取付

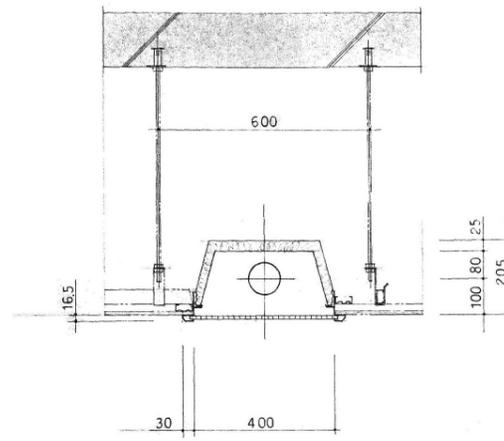
室名 【2-2】美術室			
劣化 壁、柱クラック 天井材破損			
機器	数量	仕様	対応
空調室外機 2-9 型番:RAS-GP8ORSH1 (日立)	1	床置き、冷:7.1KW、暖:8.0KW 冷媒:9.5φ(液)・15.9φ(ガス) ドレン:20VP	取外し・再取付 (冷媒管:撤去・新設) (ドレン管:再利用) (スリット:再利用)
空調室内機 2-9 型番:RPC-GP80K (日立)	1	天吊り	
空調室外機 2-10 型番:RAS-GP8ORSH1 (日立)	1	床置き、冷:7.1KW、暖:8.0KW 冷媒:9.5φ(液)・15.9φ(ガス) ドレン:20VP	取外し・再取付 (冷媒管:撤去・新設) (ドレン管:再利用) (スリット:再利用)
空調室内機 2-10 型番:RPC-GP80K (日立)	1	天吊り	転倒防止付:撤去・新設

(特記) 空調機の取外し・再取付に係る配管切断位置は、別紙参考図を参照。
 図書室 OH-2 (フェース) の取外し・再取付は別紙参考図を参照し、必要に応じて機器本体の調整 (取外し・再取付) を行う。
 空調室内・外連絡配線は既存再利用とする。

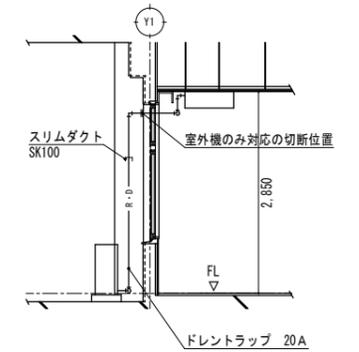
技術室 灯油焚天埋輻射暖房機 (OH-1) 放熱部断面詳細図 (参考) S=1:10



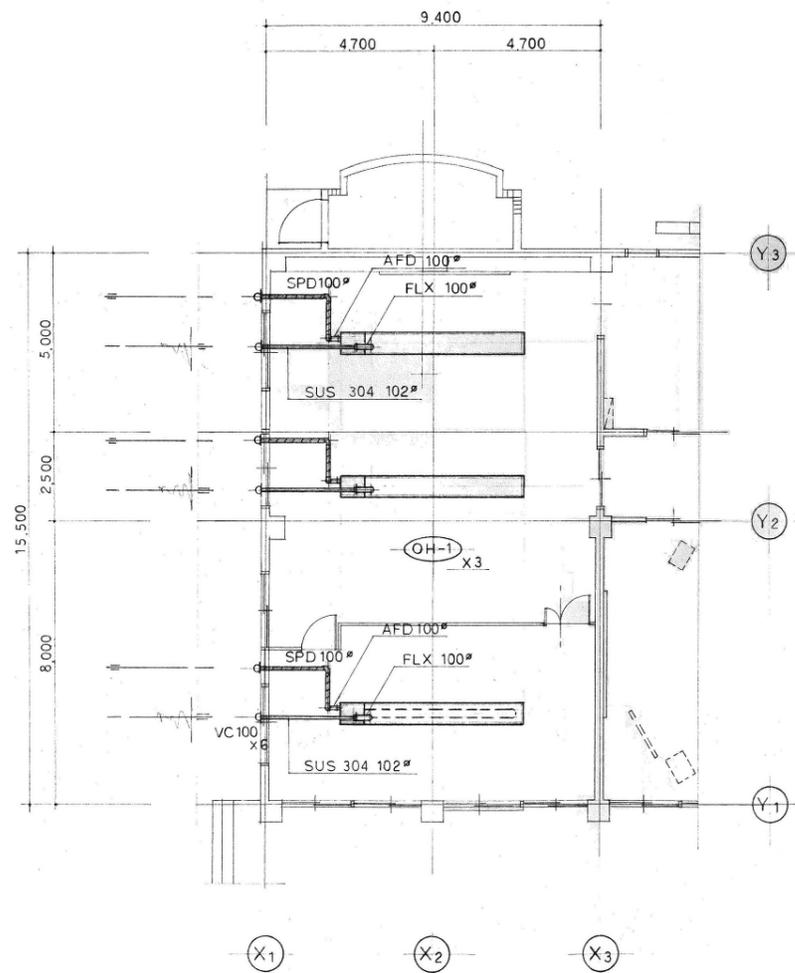
図書室 灯油焚天埋輻射暖房機 (OH-2) 放熱部断面詳細図 (参考) S=1:10



空調機器設置断面図 (参考) S=1:50



技術室 灯油焚天埋輻射暖房機 (OH-1) 平面図 (参考) S=1:100



図書室 灯油焚天埋輻射暖房機 (OH-2) 平面図 (参考) S=1:100

